

令和7年度 妊産婦メンタルヘルスケア推進に関するアンケート調査

調査期間 令和8年3月～5月
調査対象 全国の分娩取扱い施設
発送数 1,858件（有効総数1,840件）
回答数 1,281件（回答率68.9%）

日本産婦人科医会 母子保健部会

締め切り：2026年4月30日

《施設番号》 《施設名》

(FAX：03-6682-4177)

迅速に集計処理を行うため、できるだけWebでの回答をお願いします。
回答フォームは、医会ホームページ【ホーム＞産婦人科医会のこと＞部会別資料＞母子保健部会】からアクセスできます。右記QRコードからでもできます。
FAX利用時（FAX：03-6682-4177）は回答記入した用紙のみ返してください。



妊産婦メンタルヘルスクエア推進に関するアンケート調査

ご注意 ※ 2026年3月1日時点の状況について回答してください

妊産婦のメンタルヘルスチェックについて

Q01-1. 貴施設において妊産婦のメンタルヘルスチェックを行っていますか？

- ☐ 行っている
☐ 行っていない → Q05へ

Q01-2. 貴施設における以下の時期ごとの妊産婦のメンタルヘルスチェックの実施状況を教えてください

1.妊娠中	2.産後2週間	3.産後1ヵ月
☐ 全員に行っている ☐ 必要と思われる患者のみ ☐ 行っていない	☐ 全員に行っている ☐ 必要と思われる患者のみ ☐ 行っていない	☐ 全員に行っている ☐ 必要と思われる患者のみ ☐ 行っていない

Q02. 貴施設には妊産婦のメンタルヘルスチェックやケアを行う専門職（精神科医、心理士、カウンセラー等）はいますか？

- ☐ はい ☐ いいえ

Q03. 妊娠中や産後（健診以外）に行ったメンタルヘルスチェックやケアに対して、料金を請求していますか？

- ☐ はい
☐ いいえ → Q05へ

Q04. 妊娠中や産後（健診以外）に行ったメンタルヘルスチェックやケアに対して、請求している場合には、1回あたりの実際の請求額と、あれば公費補助額、適当と考える請求額についてご記入ください。（※なしの場合は0円）（※ハイリススク妊産婦連携指導料を除く）

	妊娠中	産後
請求額	円	円
公費補助額	円	円
考える理想の請求額	円	円

精神科との連携について

Q05. 貴施設の精神科医の勤務状況を教えてください

- ☐ 常勤
☐ 非常勤 → Q07へ
☐ なし → Q07へ

《施設番号》 《施設名》

Q06. 貴施設の精神科病床について教えてください

- ☐ 有床 ☐ 無床

Q07. 精神科医との連携について教えてください

- ☐ 連携している（方法を以下より選択 複数回答可）
☐ 自院の精神科にコンサルトする
☐ 地域に精神科と連携するシステムがある
☐ 個人的にお願いできる精神科医がいる
☐ 患者の精神科主治医と連携する
☐ 精神科との連携に関するマニュアルがある
☐ 決まった相談窓口がある
☐ 決まった受け入れ施設がある
☐ 紹介可能な施設のリストがある
☐ ネットワーク会議を定期的に開催している
☐ その他（ ）

☐ 精神疾患合併妊産婦は紹介しているので連携することはない → Q14へ

Q08. 精神疾患合併妊産婦の診療において、精神科医以外に連携している職種について教えてください

地域保健師	☐ 必ず連携する	☐ 必要時に連携する	☐ 連携していない
心理士	☐ 必ず連携する	☐ 必要時に連携する	☐ 連携していない
精神保健福祉士	☐ 必ず連携する	☐ 必要時に連携する	☐ 連携していない
行政職員	☐ 必ず連携する	☐ 必要時に連携する	☐ 連携していない
その他（ ）	☐ 必ず連携する	☐ 必要時に連携する	☐ 連携していない

Q09. 緊急時に即日対応でみてもらえる精神科関連施設がありますか？

- ☐ ある
☐ ない → Q11へ

Q10. 緊急時に即日対応でみてもらえる精神科関連施設を教えてください（複数回答可）

- ☐ 精神科クリニック ☐ 総合病院精神科 ☐ 精神医療センター
☐ 大学病院精神科 ☐ 精神保健福祉センター ☐ 保健所
☐ その他（ ）

Q11. 緊急ではない症例を精神科に紹介した場合の待機期間はどれくらいのことが多いですか？

待機期間 約（ ）日

Q12. 精神科への紹介・連携時に問題となっていると感じる点はありますか？（複数回答可）

- ☐ 受け入れ先が少ない（ない）
☐ 明確な紹介方法、ルートがない
☐ 緊急を要する状態の妊婦への対応が不十分
☐ 夜間・休日の対応が不十分
☐ 精神科受診日までの待機時間が長い
☐ 情報共有が困難
☐ 精神科医の知識・認識に不足がある
☐ 本人や家族の受診拒否
☐ その他（ ）

《施設番号》 《施設名》

Q13. ハイリスク妊産婦連携指導料の算定は行っていますか？

☐ 算定している ☐ 算定していない

要支援妊産婦について

Q14. 要支援妊産婦の割合を教えてください

☐ ほとんどいない ➡ Q18 へ
☐ 5%未満 ☐ 5～10%未満 ☐ 10%～30%未満 ☐ 30%以上

Q15. 要支援妊産婦の対応はできていますか？

☐ 自院でほぼ対応できている ☐ 他の施設と連携・紹介することで対応できている
☐ 十分には対応できていない
☐ その他 ()

Q16. 精神疾患合併妊娠／精神疾患以外の「特定妊婦」を受け入れていますか？
(該当するものにチェックして下さい)

	受け入れている	場合によっては受け入れている	受け入れていない
精神疾患合併妊娠			
精神疾患以外の「特定妊婦」			

Q17. 要支援妊産婦を他施設・他機関に情報提供や紹介するにあたって困ることがありますか？
(該当するものにチェックして下さい)

	しばしば困っている	困ることは少ない	自院が受け入れている	その他
産科				
精神科				
行政				

MCMC 研修会について

Q18. 貴施設のある都道府県では日本産婦人科医会による「母と子のメンタルヘルス研修会(MCMC 研修会)」が開催されていますか？

☐ 定期的に開催されている ☐ 不定期に開催されている ☐ 開催されていない
☐ 把握していない

Q19. MCMC 研修会に貴施設のスタッフ参加したことはありますか？

☐ はい ☐ いいえ ☐ 把握していない

産後ケア事業について

Q20. 産後ケア事業を行っていますか？

☐ 行っている ☐ 行っていない ➡ Q33 へ

Q21. 産後ケア事業について、行っている種類を教えてください (複数回答可)

☐ アウトリーチ(訪問)型 ☐ デイサービス型 ☐ 宿泊型

＜施設番号＞ ＜施設名＞

Q22. 現在産後ケア事業を受託している自治体の数を教えてください
※令和4年4月より産後ケア事業はすべての自治体の努力義務になっております

市区町村

Q23. 受託している自治体の数は増加傾向にありますか？

☐ 増加傾向にある ☐ かわらない

Q24. 産後ケア利用の対象期間は産後1年までに延長されましたが、貴施設ではいつまでとしていますか？

アウトリーチ型 (☐～2か月 ☐～4か月 ☐～6か月 ☐～12か月 ☐それ以上 ☐行っていない)
デイサービス型 (☐～2か月 ☐～4か月 ☐～6か月 ☐～12か月 ☐それ以上 ☐行っていない)
宿泊型 (☐～2か月 ☐～4か月 ☐～6か月 ☐～12か月 ☐それ以上 ☐行っていない)

Q25. 産後ケア利用対象期間はどのくらいが適当と考えますか？

☐ 産後4か月までよい ☐ 産後1年までよい
☐ 産後1年以上も対象にしたほうがよい
☐ その他 ()

Q26. 産後ケアの実際の利用者は月平均何人いますか？ ※令和7年度1年間の月平均

アウトリーチ型 () 人
デイサービス型 () 人
宿泊型 () 人

Q27. 自施設で産後ケアを繰り返し利用される利用者の割合はどの程度ですか？
※令和7年度全体で

アウトリーチ型 () %
デイサービス型 () %
宿泊型 () %

Q28. 里帰り出産で産後ケア事業の利用者はいますか？

☐ いる ☐ いない ➡ Q30 へ

Q29. 里帰り出産の利用者の占める割合はどの程度ですか？ ※令和7年度全体で

アウトリーチ型 () %
デイサービス型 () %
宿泊型 () %

Q30. 産後ケア事業の収益性はありますか？

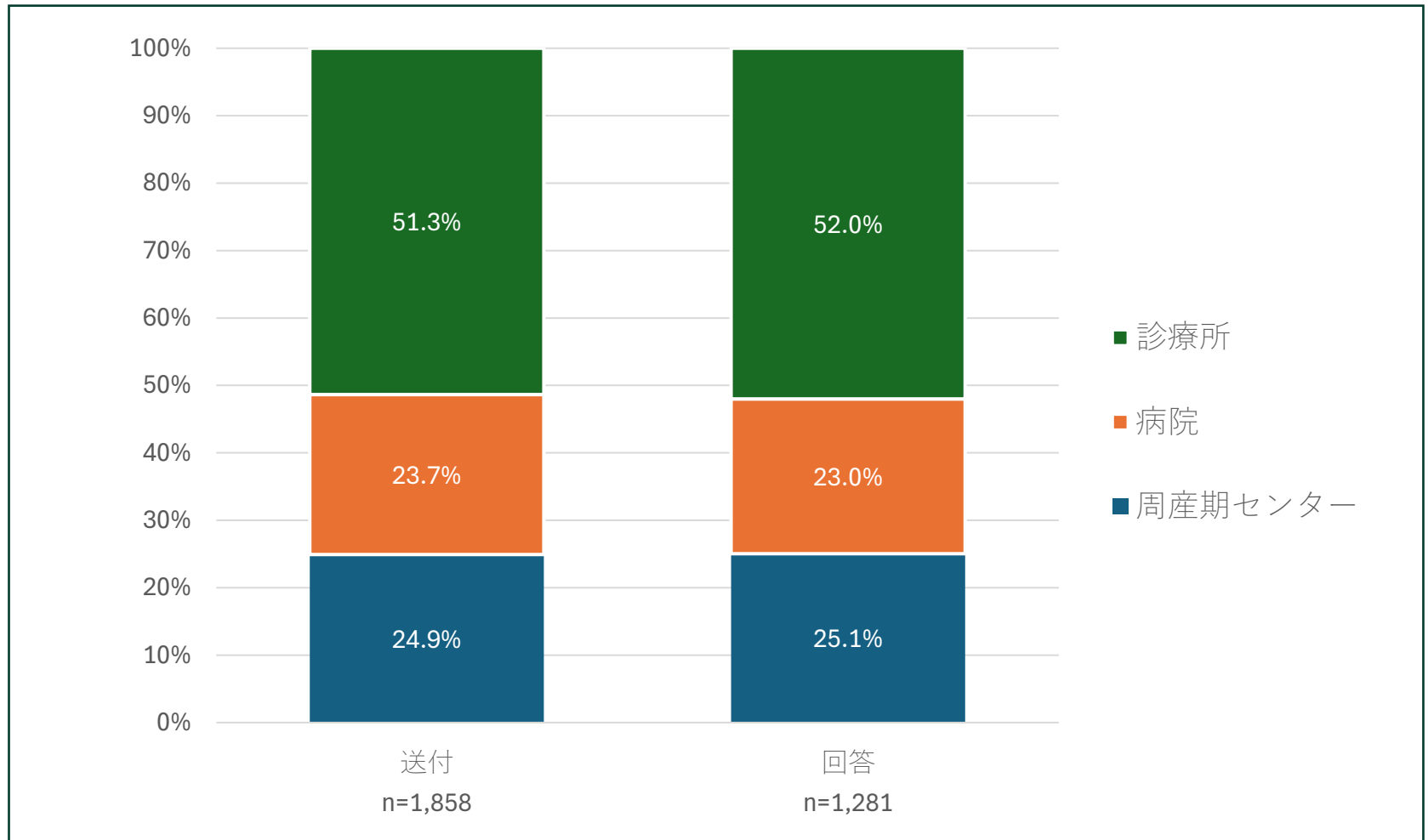
☐ ある ☐ ややある ☐ どちらともいえない
☐ あまりない ☐ ない

Q31. 産後ケアの利用希望者を断ることはありますか？

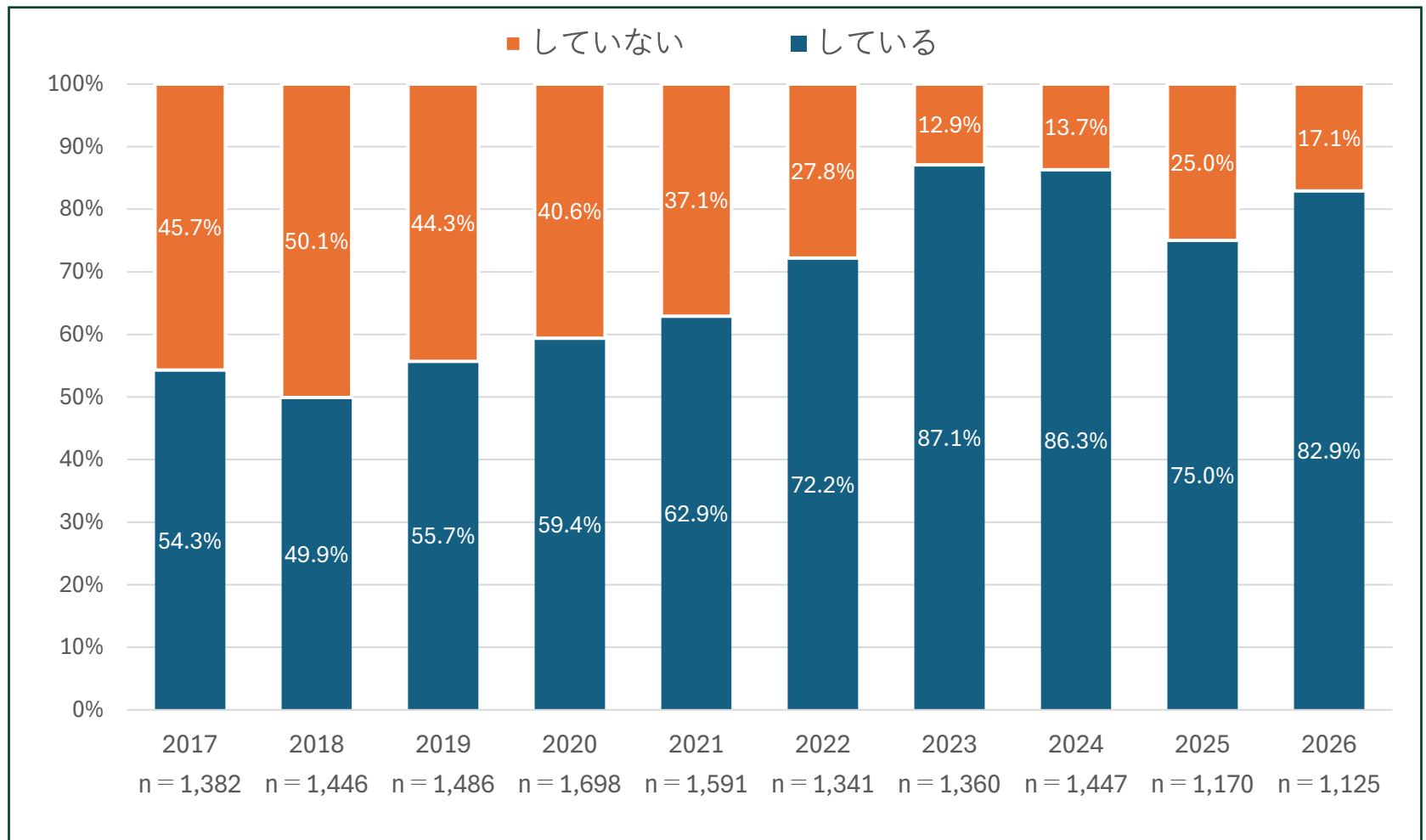
☐ ある ☐ ない ➡ Q33 へ

＜施設番号＞ ＜施設名＞

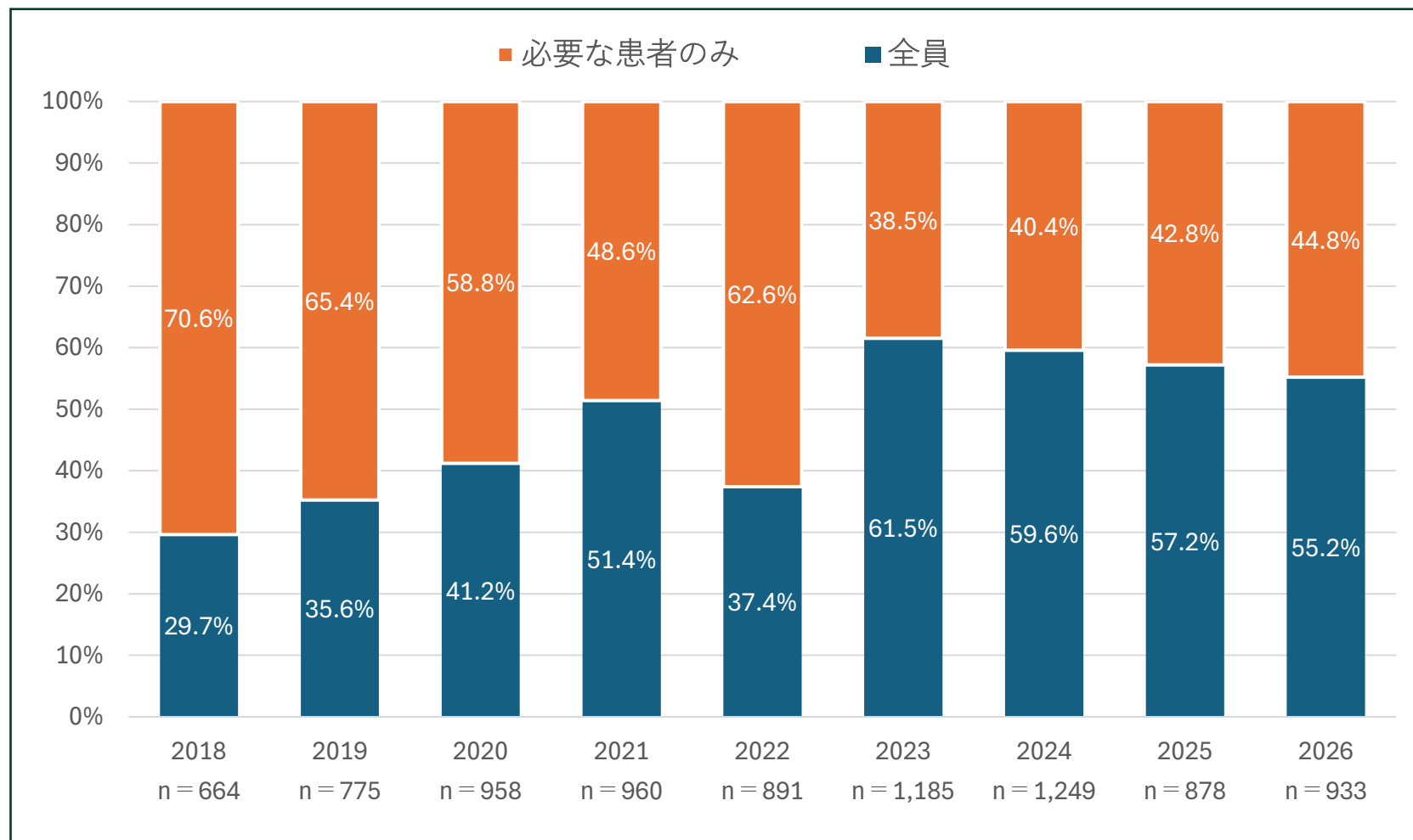
回答施設の区分



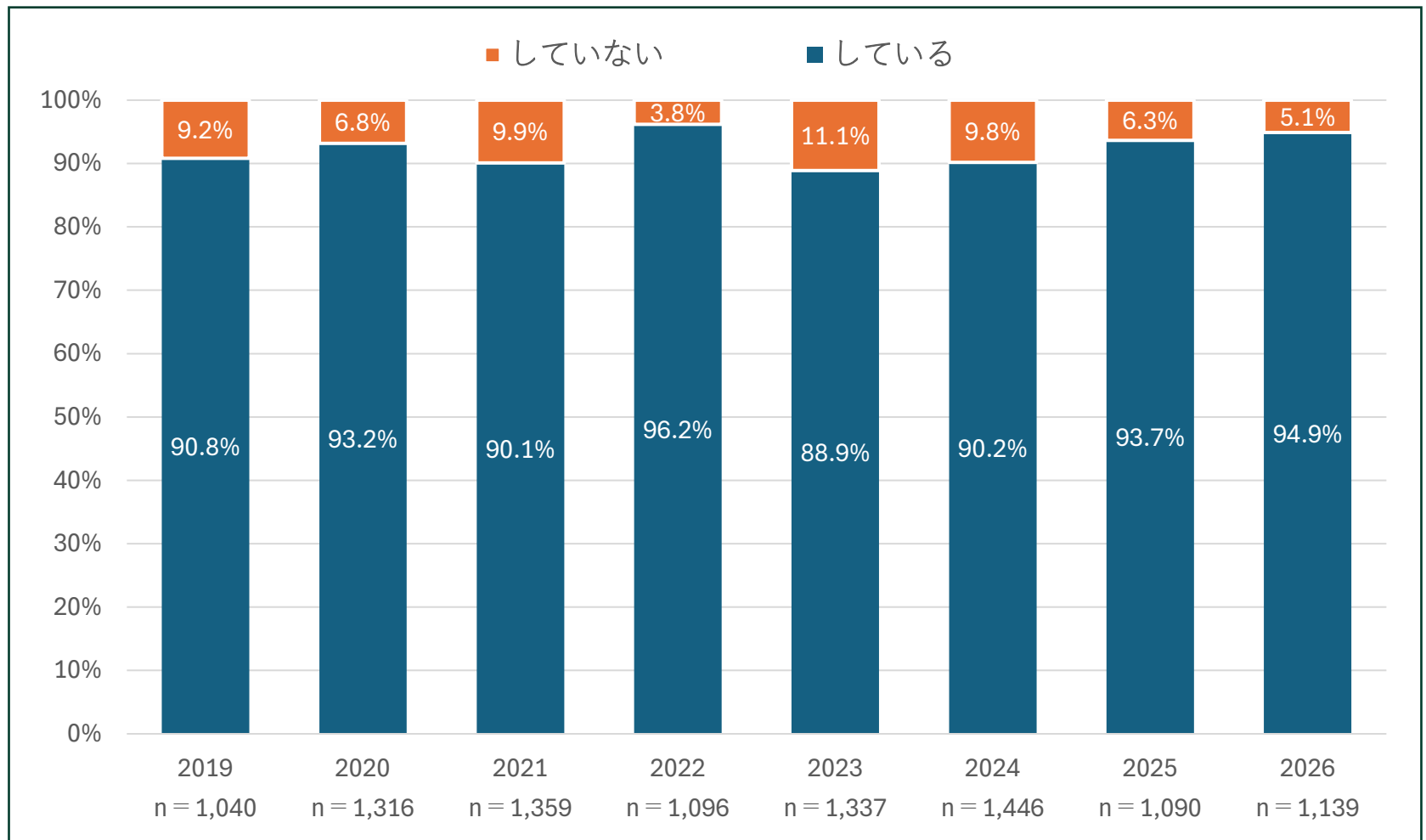
妊娠中のメンタルヘルスチェックの有無



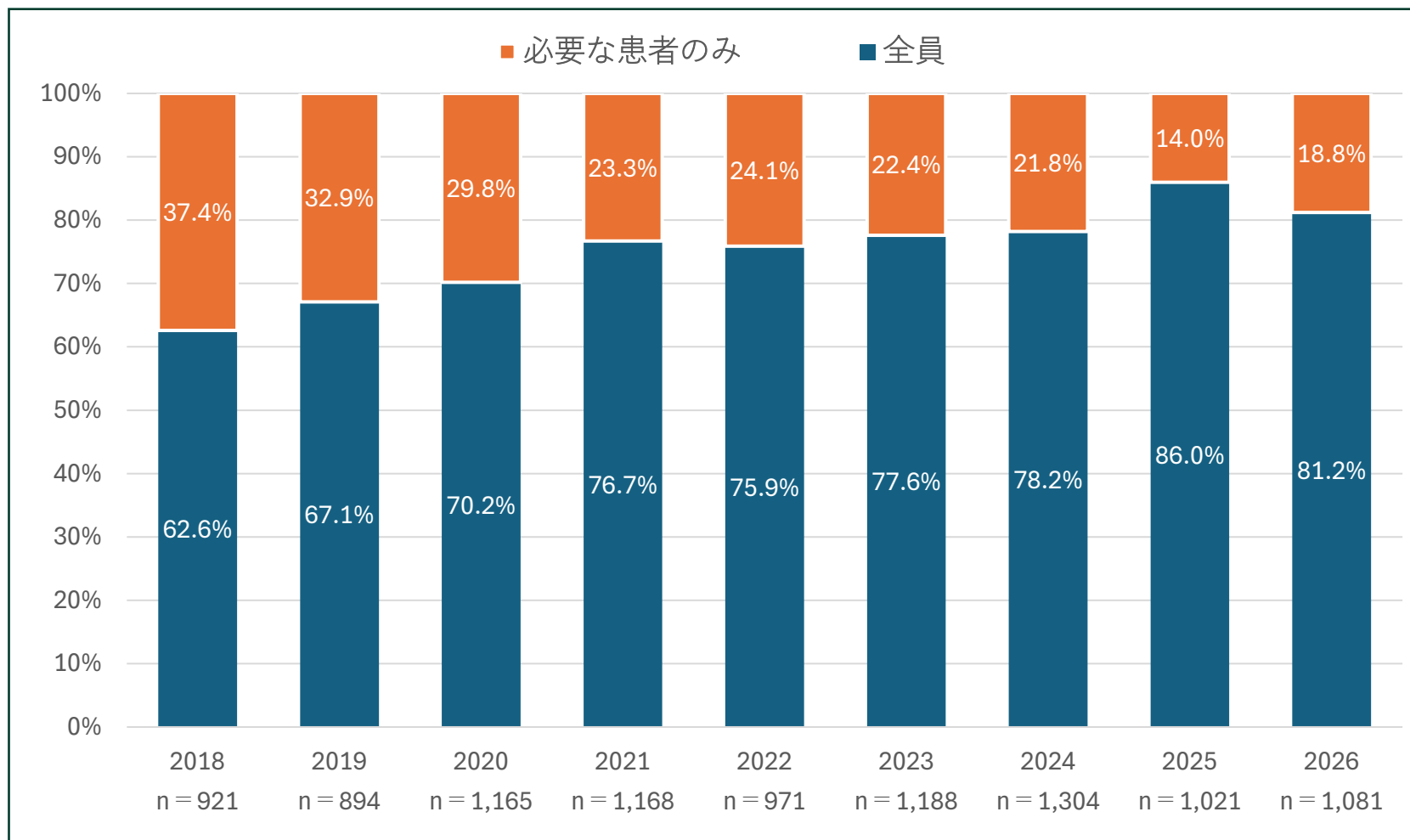
妊娠中のメンタルヘルスチェック評価の対象



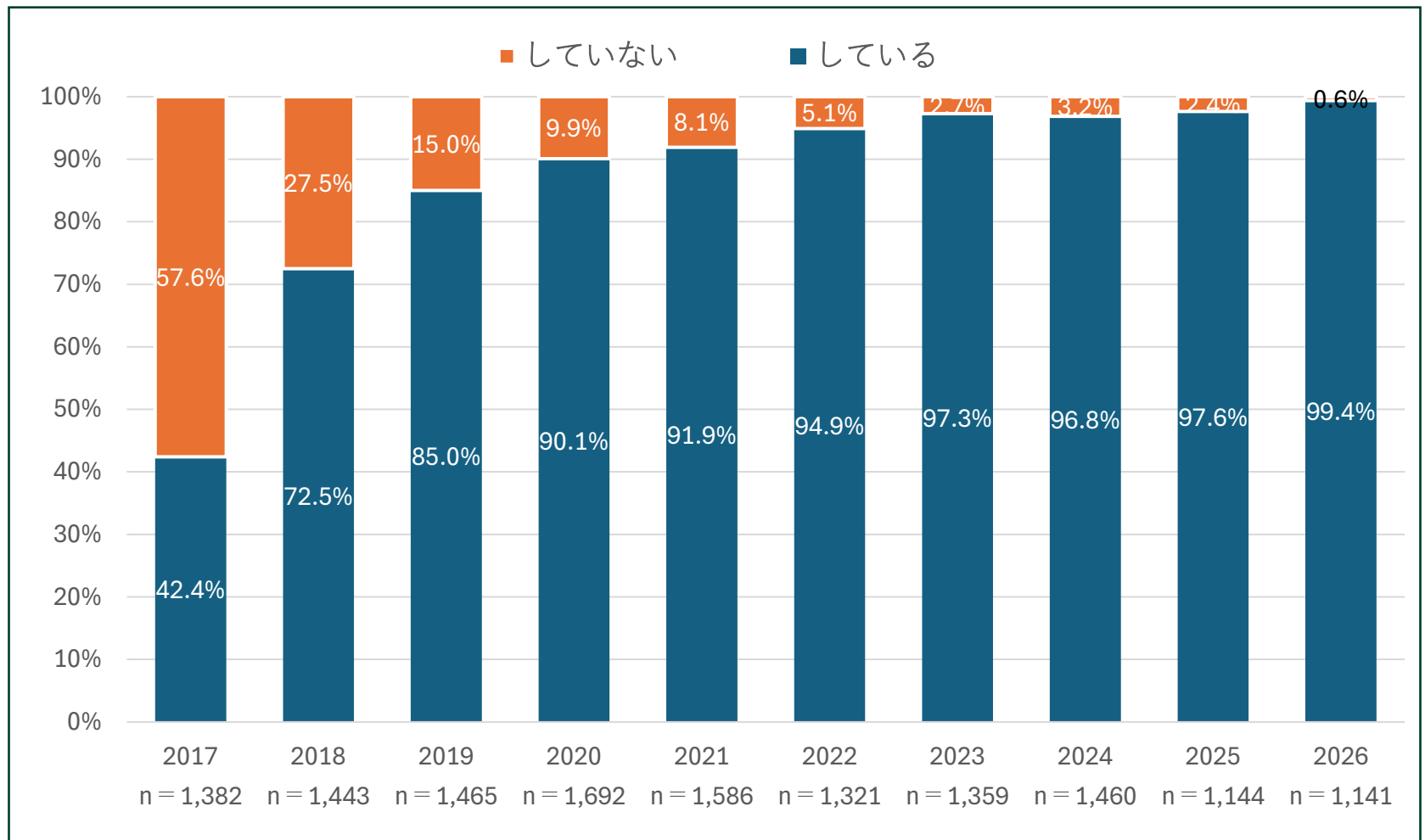
産後2週間のメンタルヘルスチェックの有無



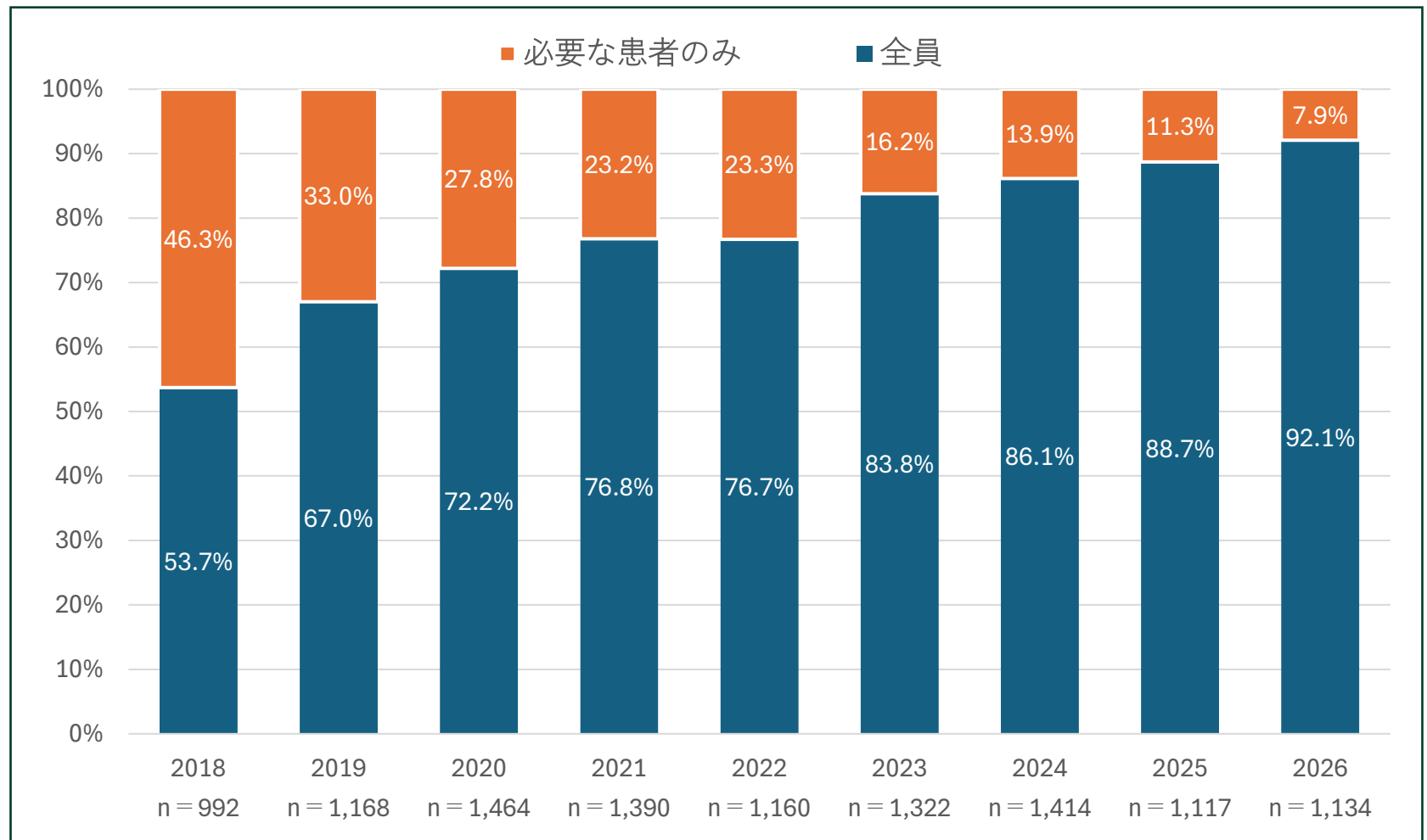
産後2週間のメンタルヘルスチェック評価の対象



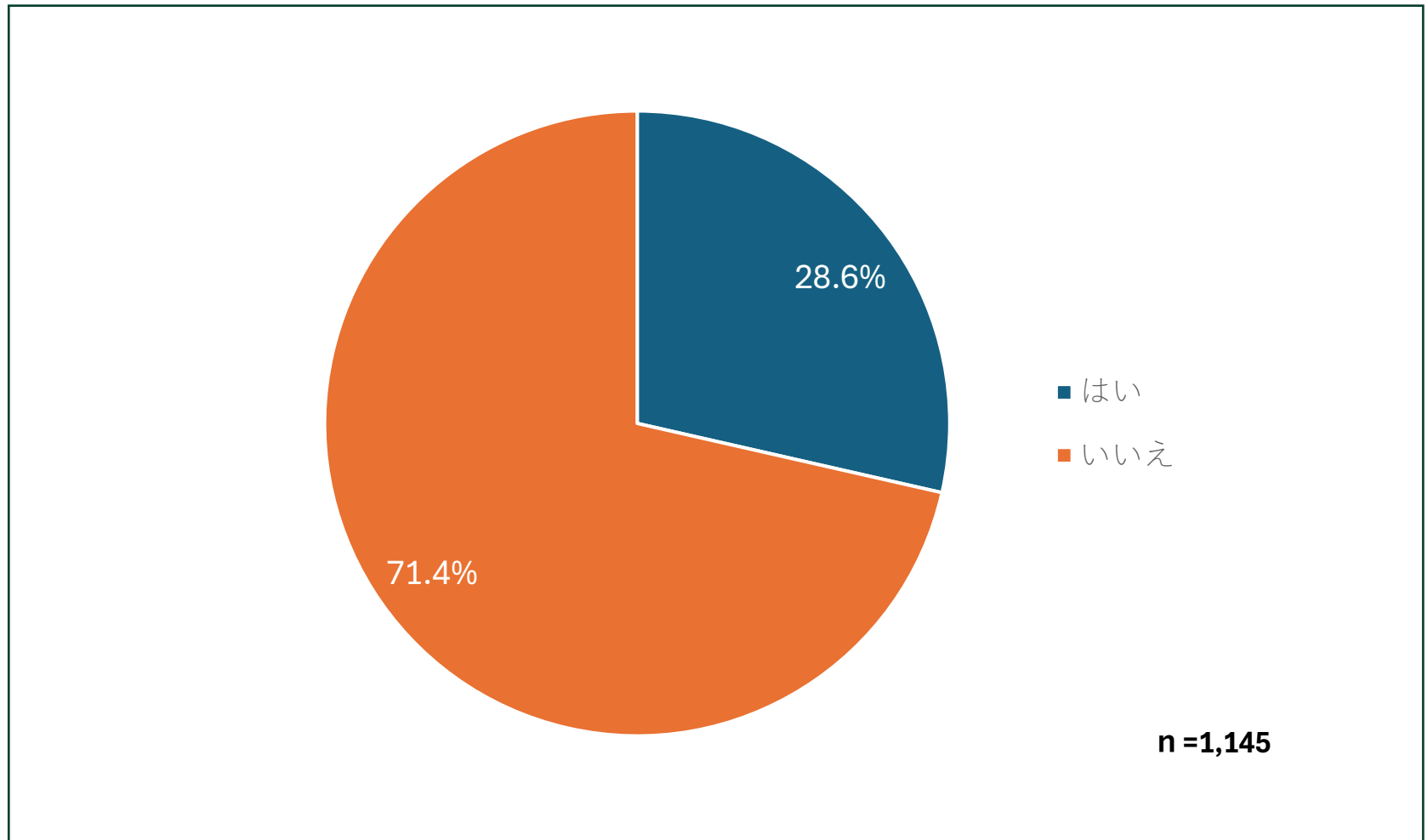
産後1カ月のメンタルヘルスチェックの有無



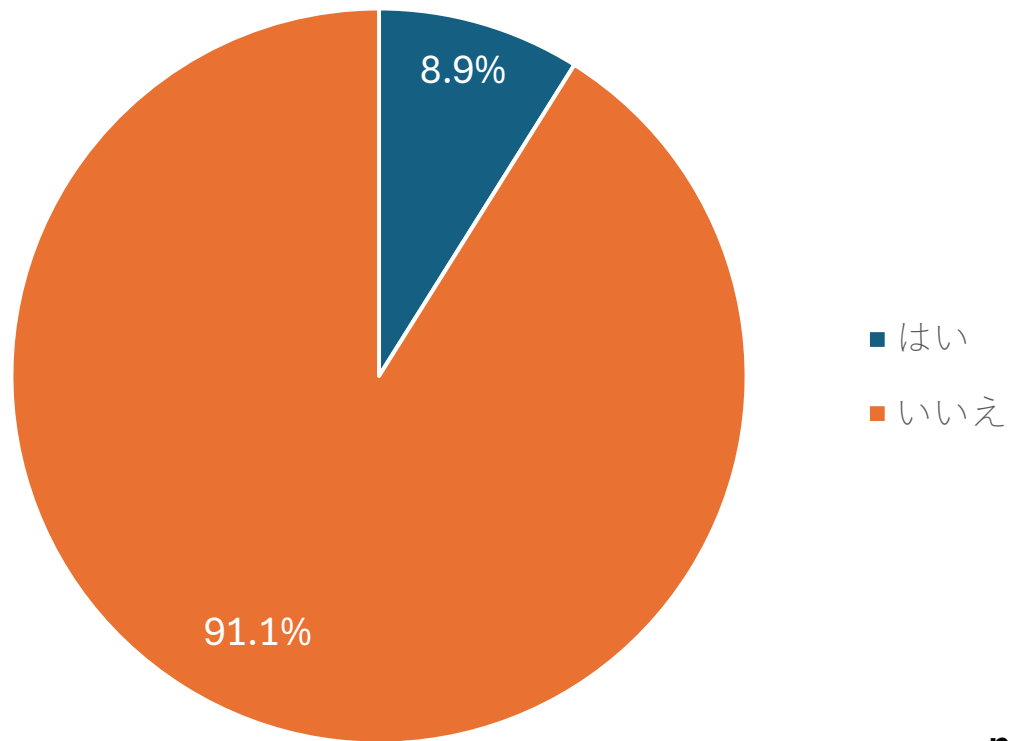
産後1カ月のメンタルヘルスチェック評価の対象



専門職の存在

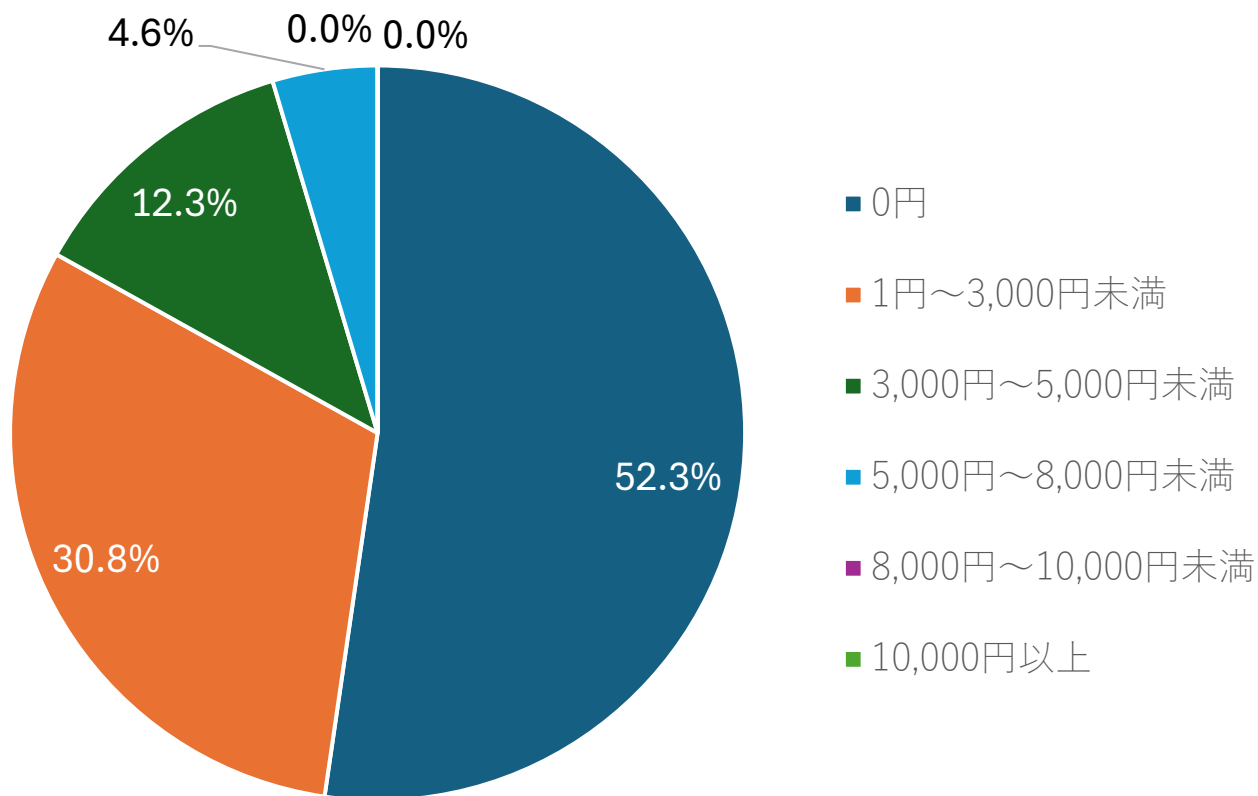


料金請求



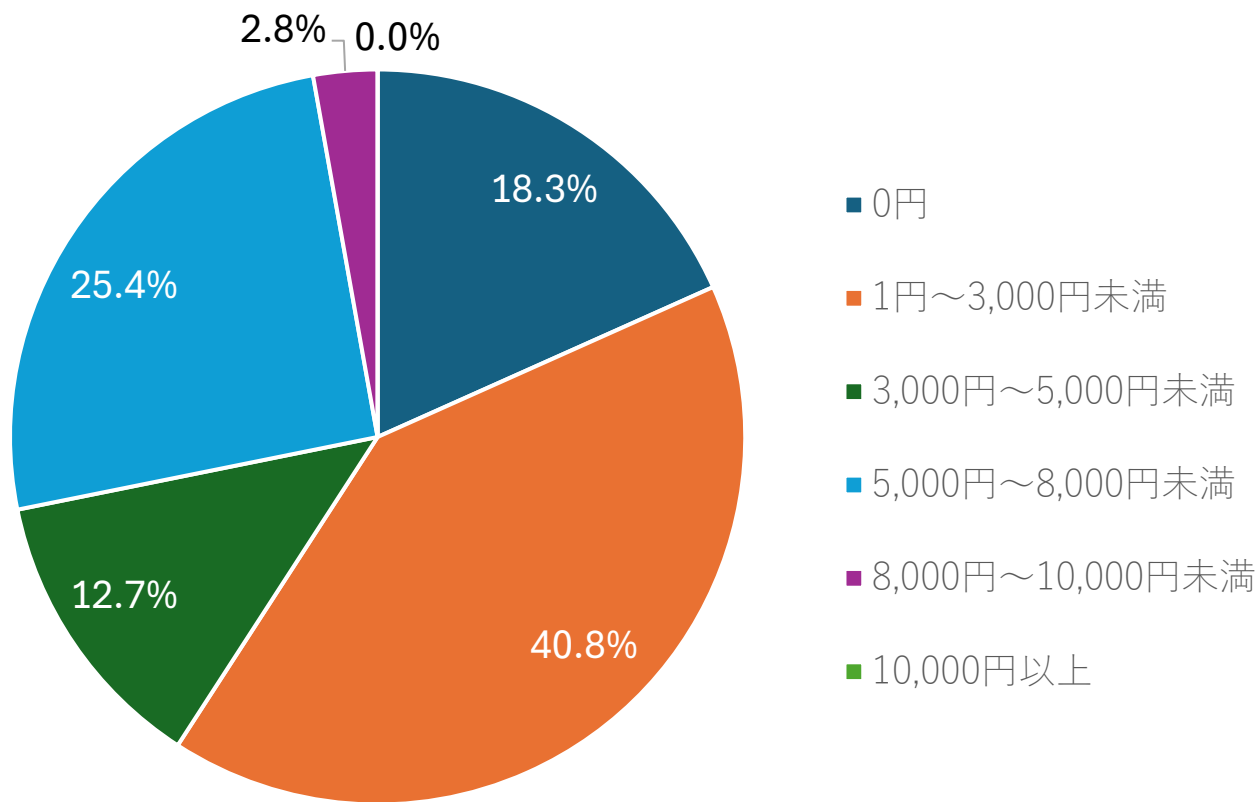
n = 1,143

請求額／妊娠中



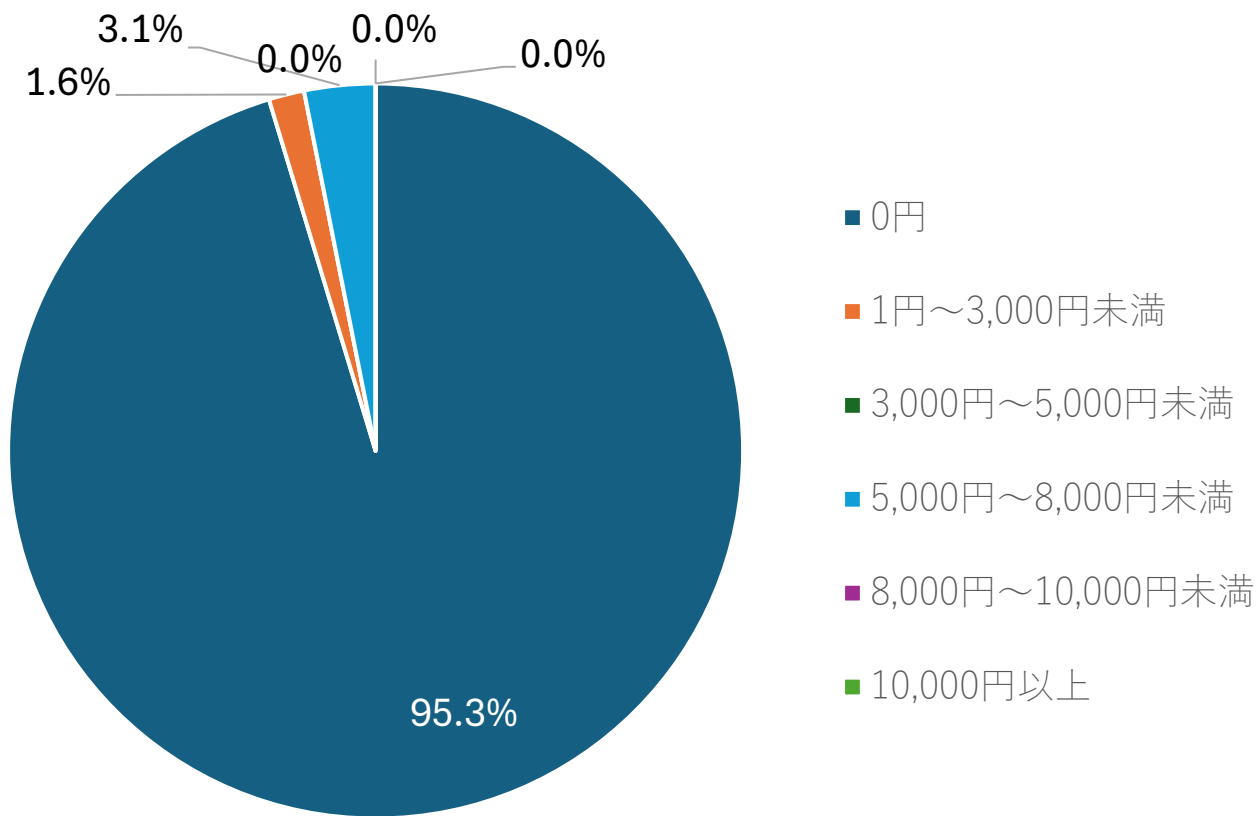
n = 65

請求額／産後



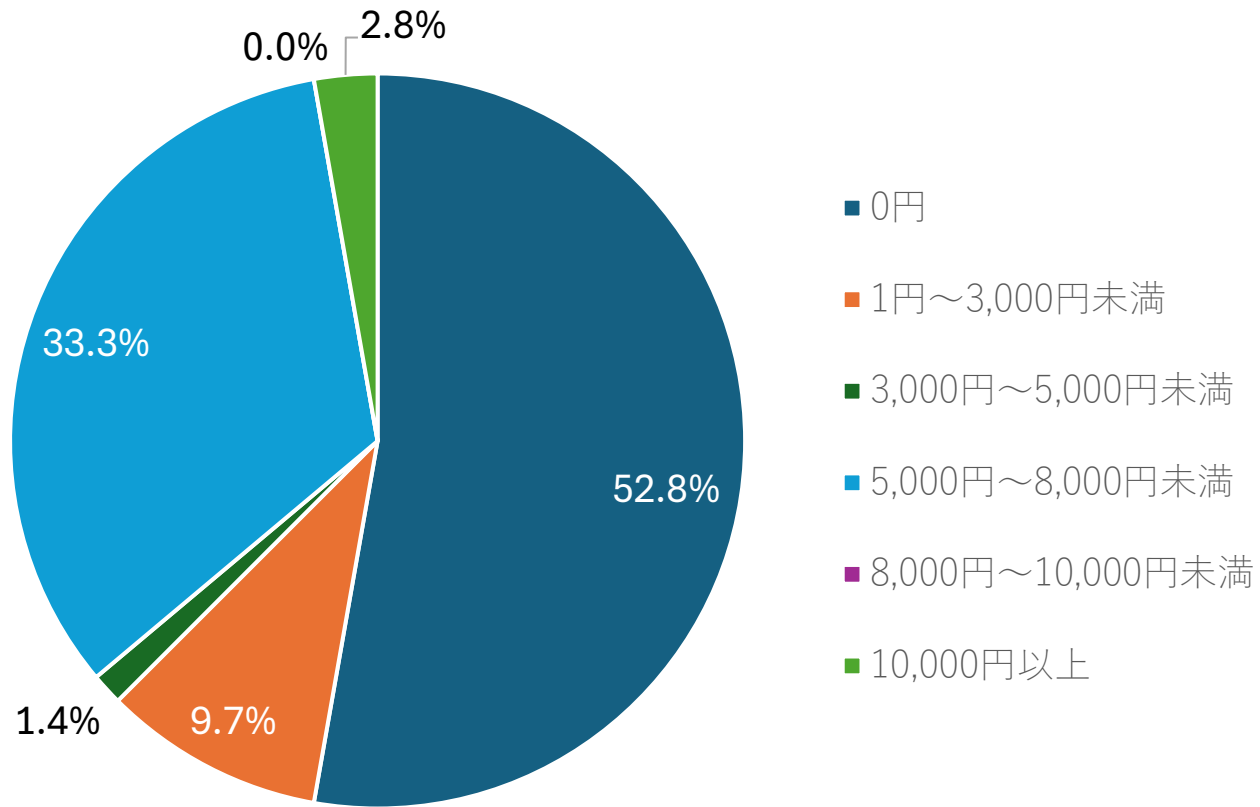
n = 71

公的補助／妊娠中



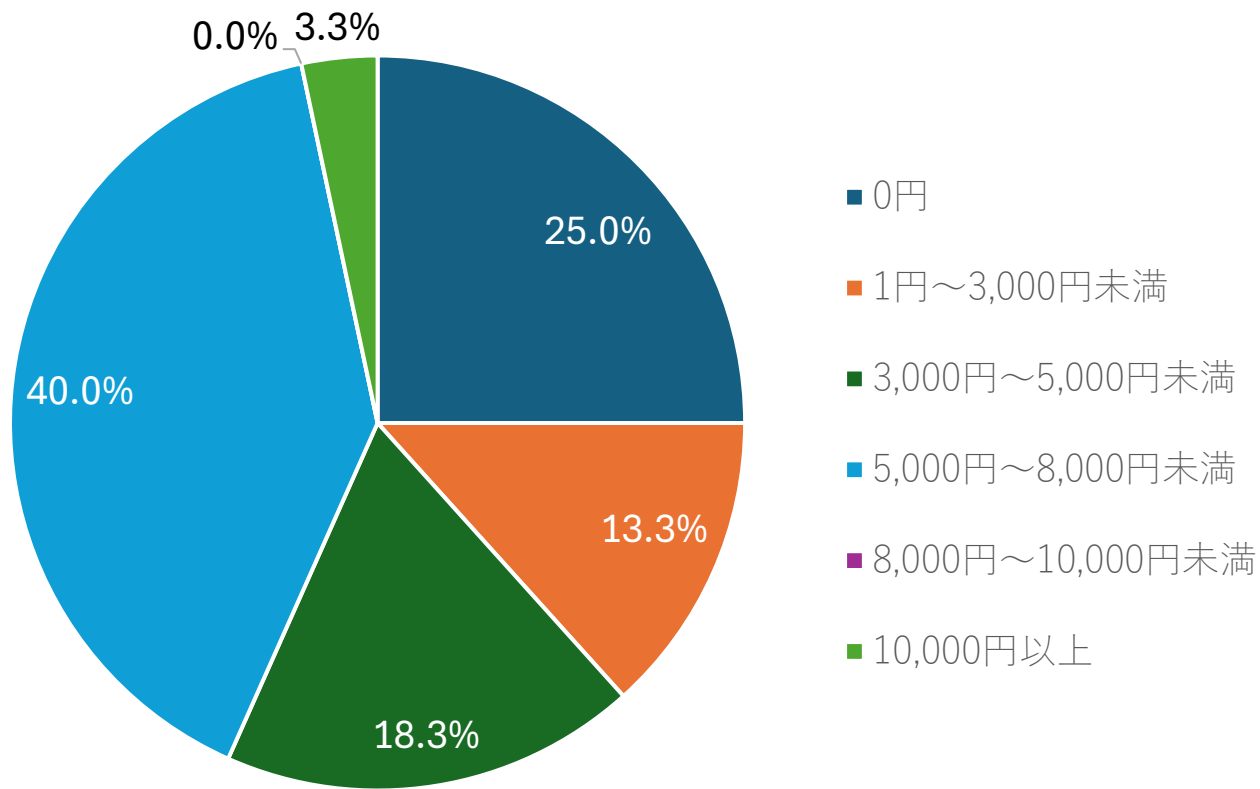
n = 64

公的補助／産後



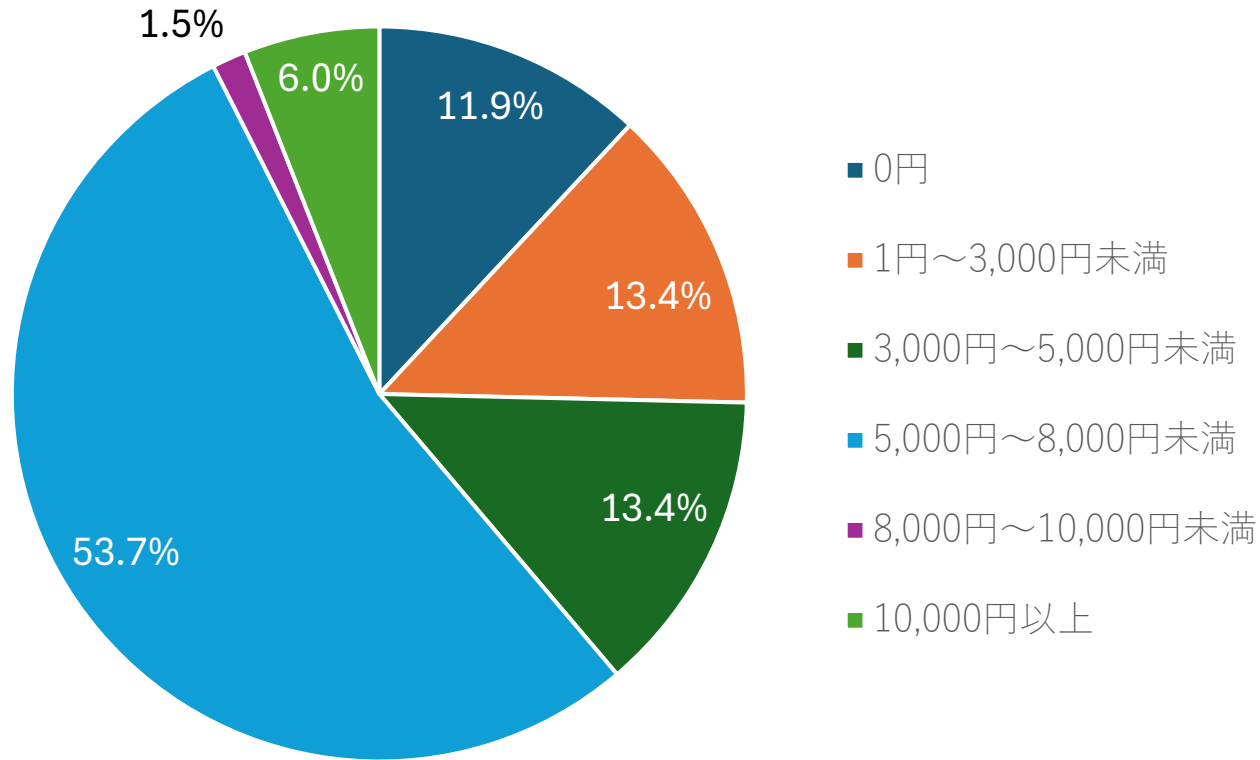
n = 72

理想の請求額／妊娠中



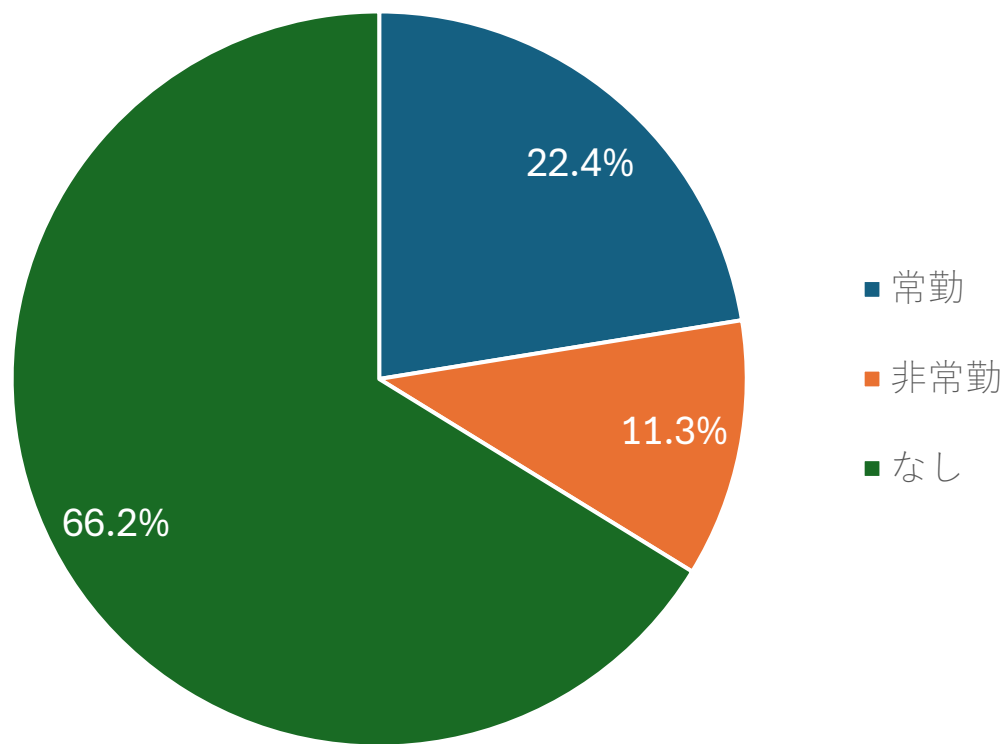
n = 60

理想の請求額／産後



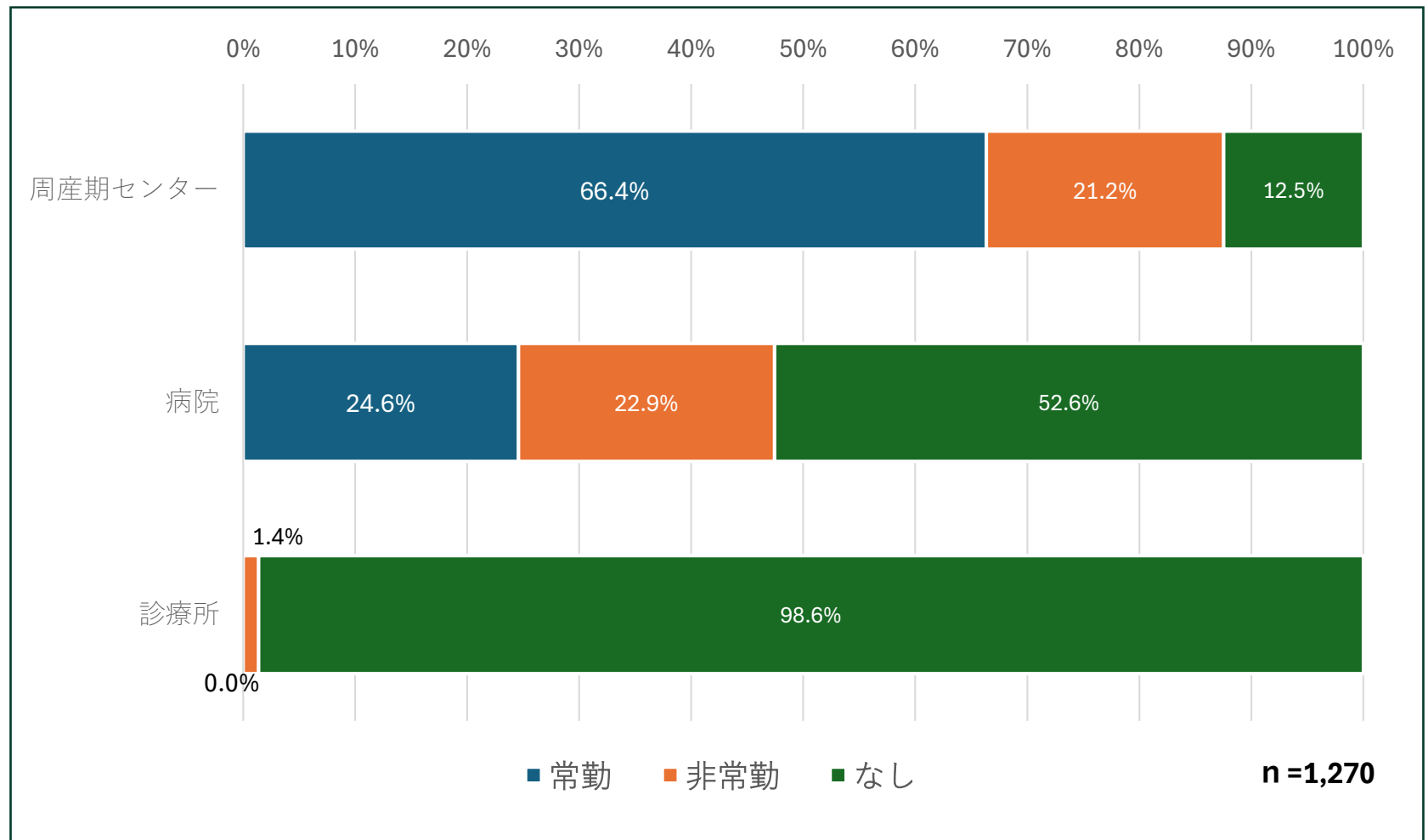
n = 67

精神科医の勤務状況

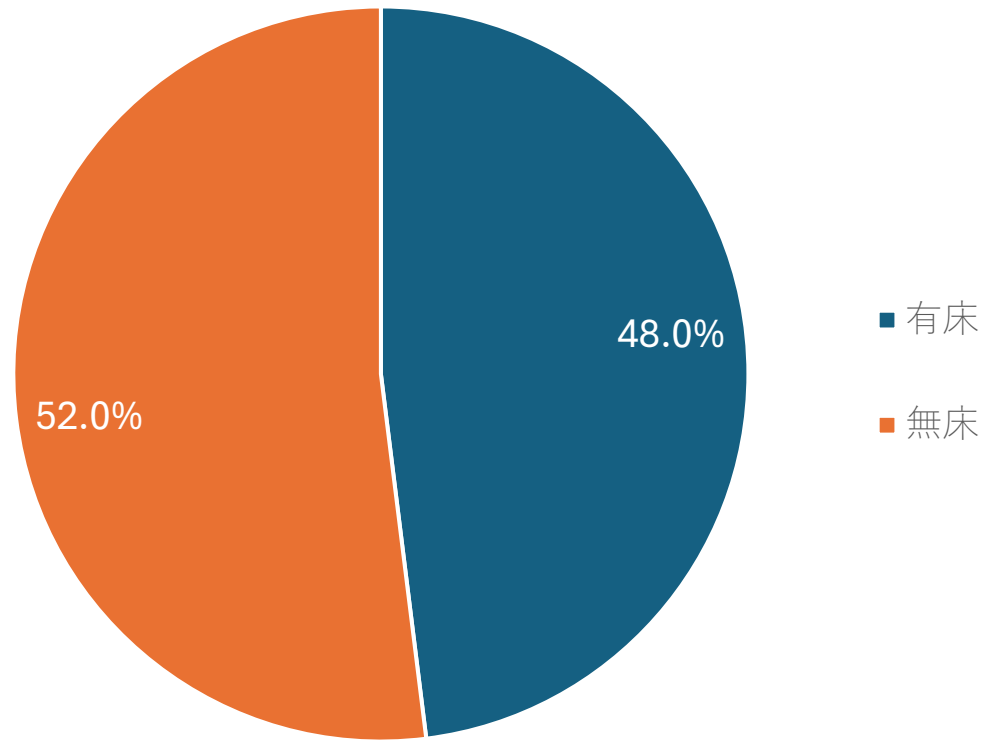


n=1,270

精神科医の勤務状況（施設区分別）

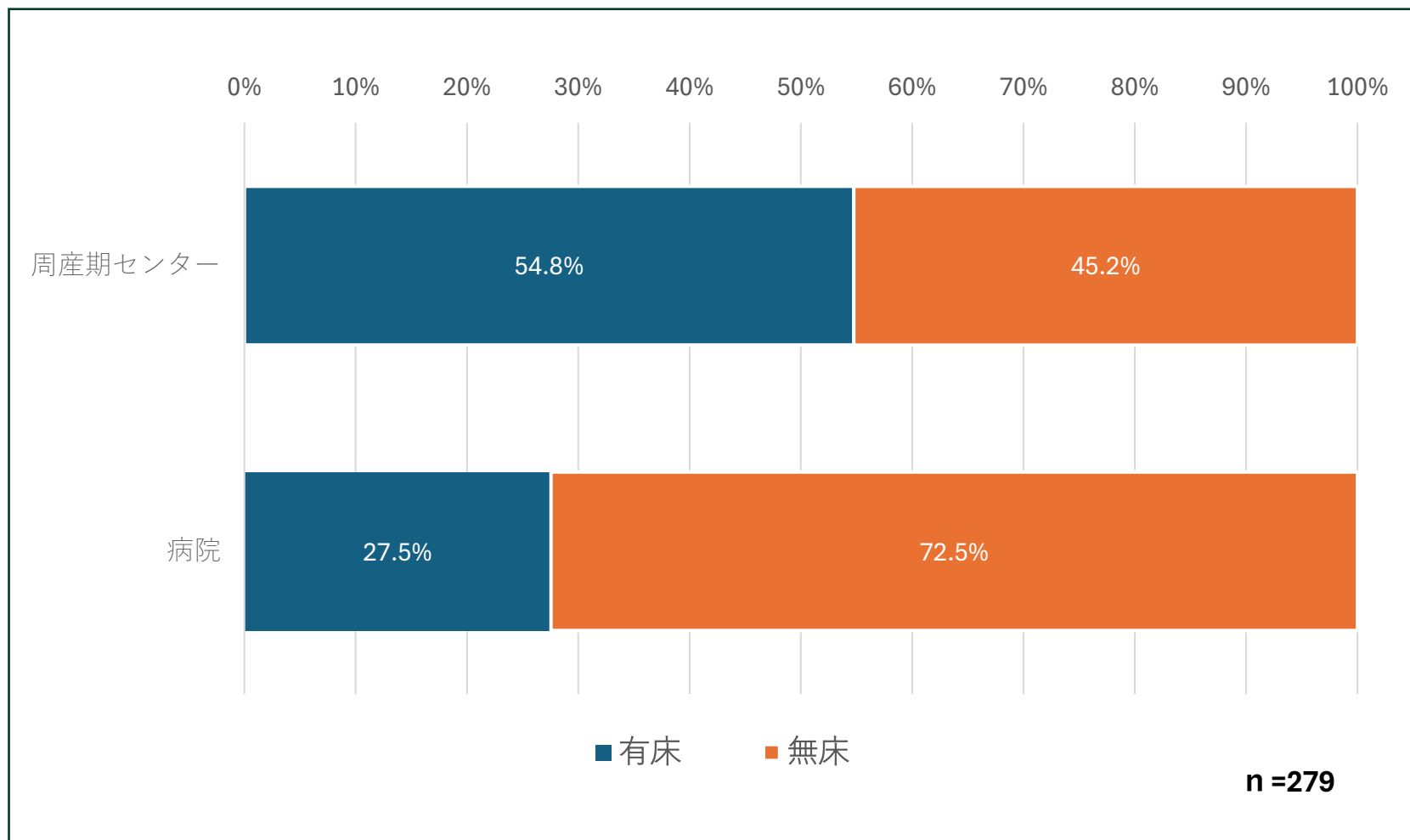


精神科病床

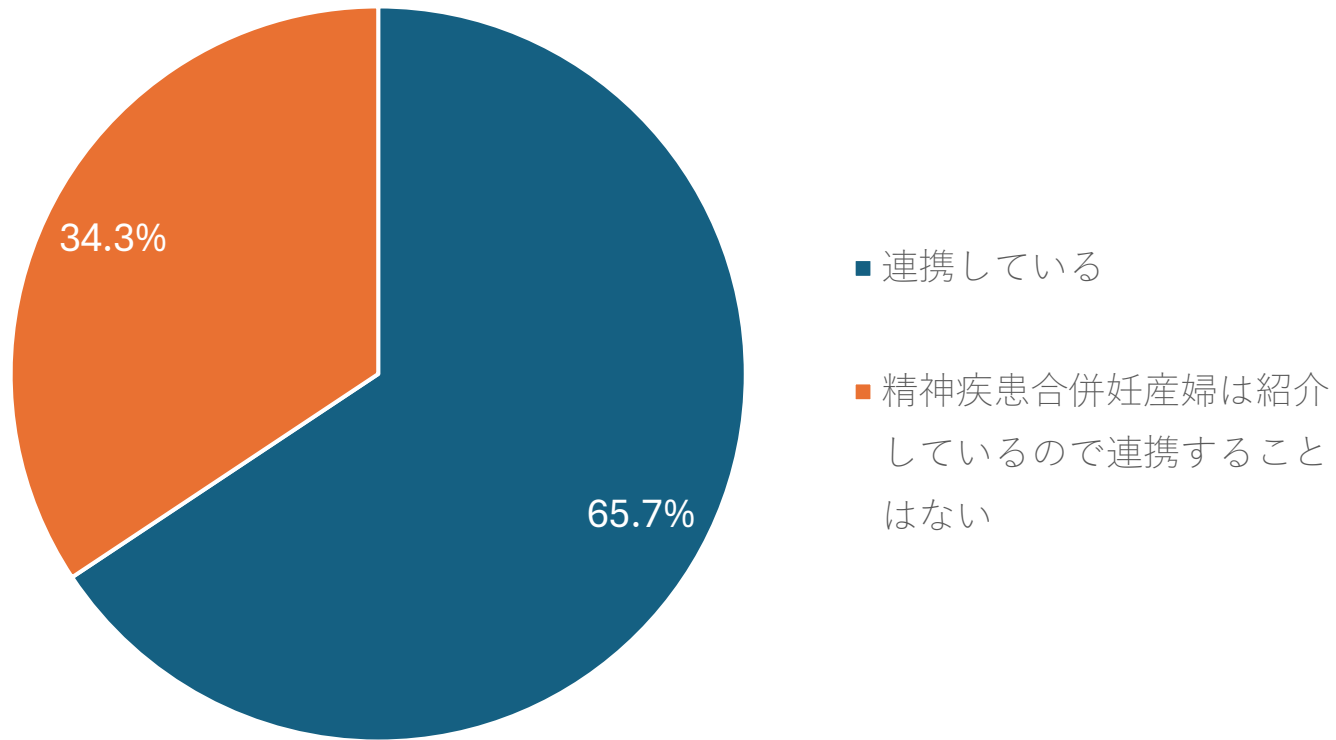


n = 279

精神科病床（施設区分別）

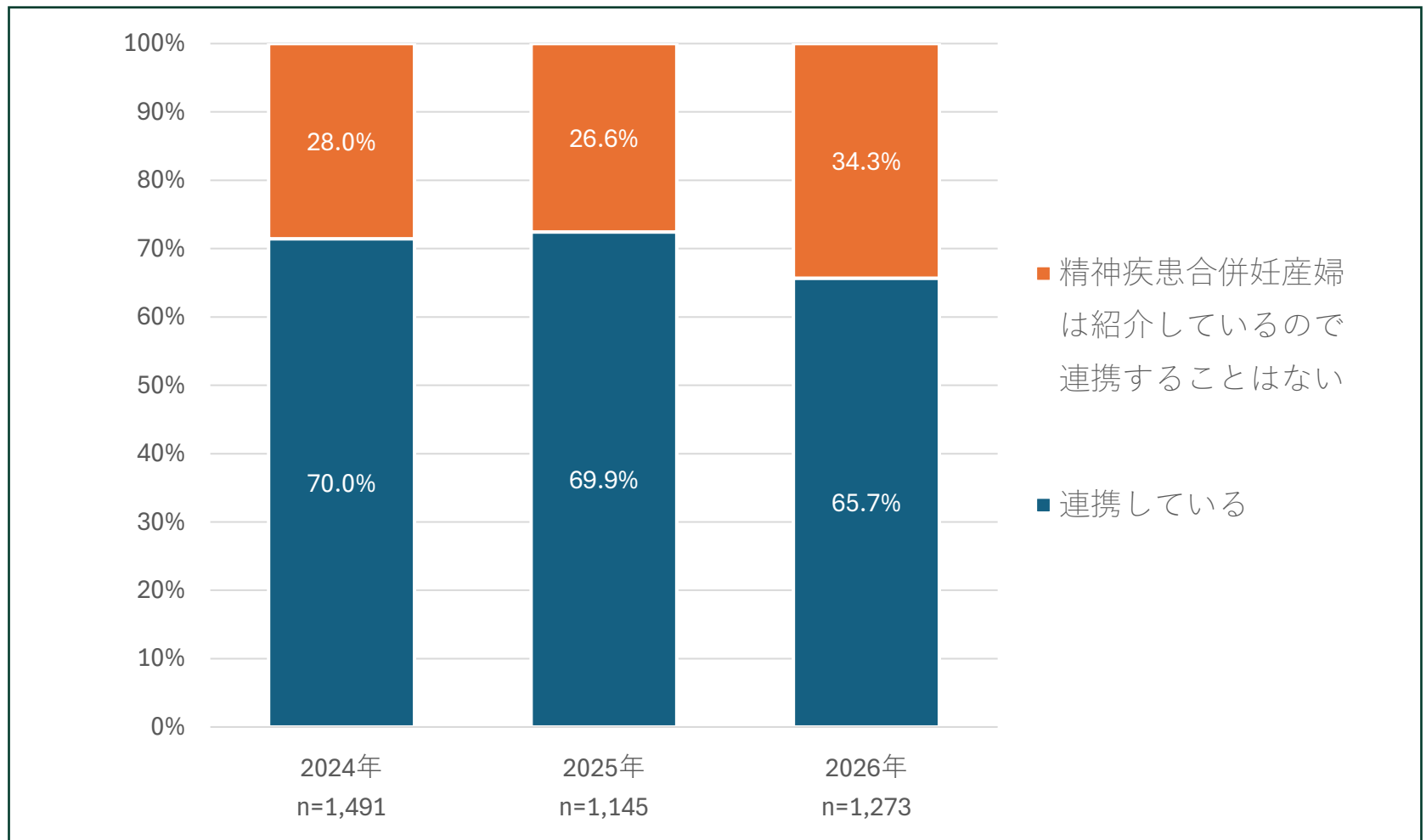


精神科医との連携

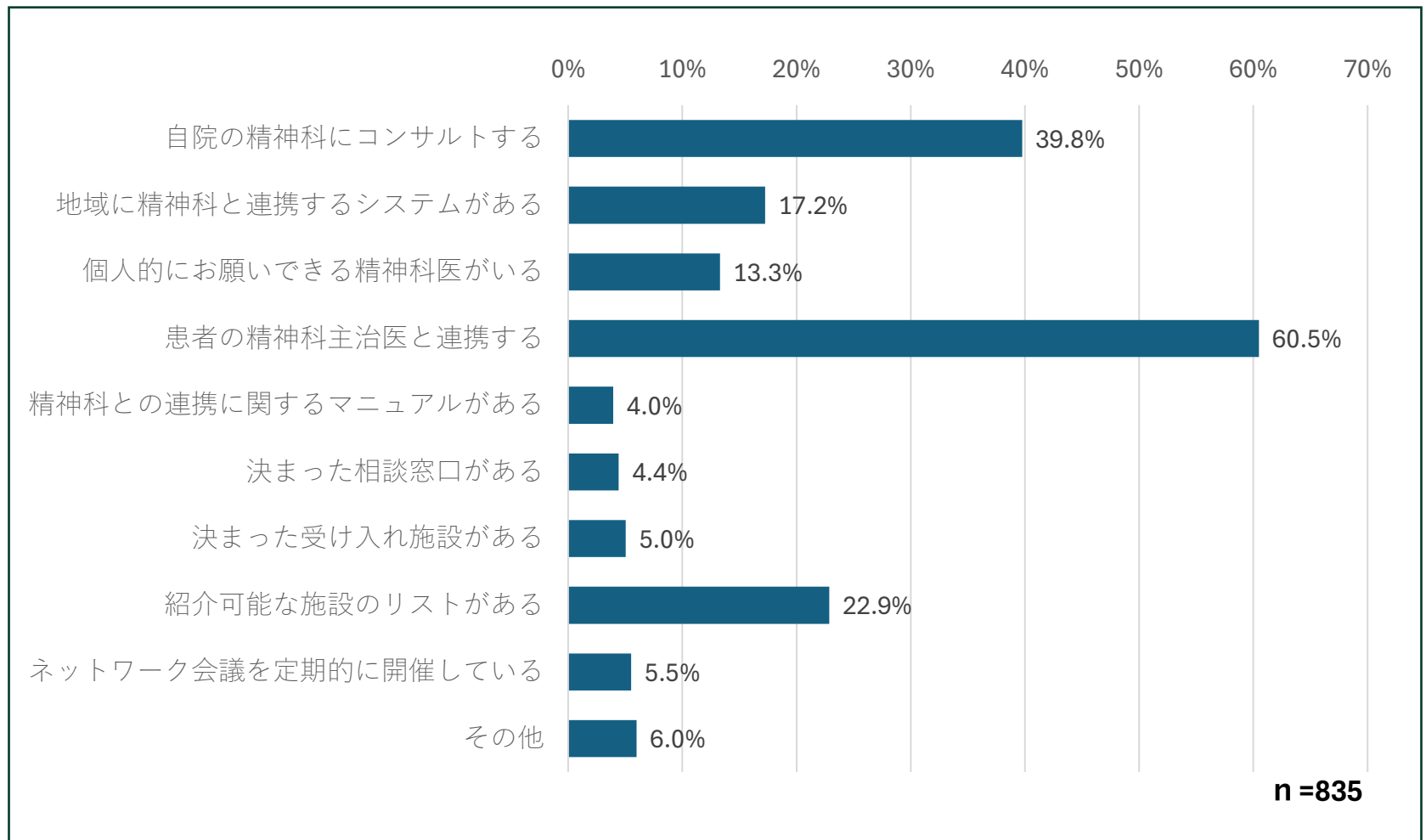


n =1,273

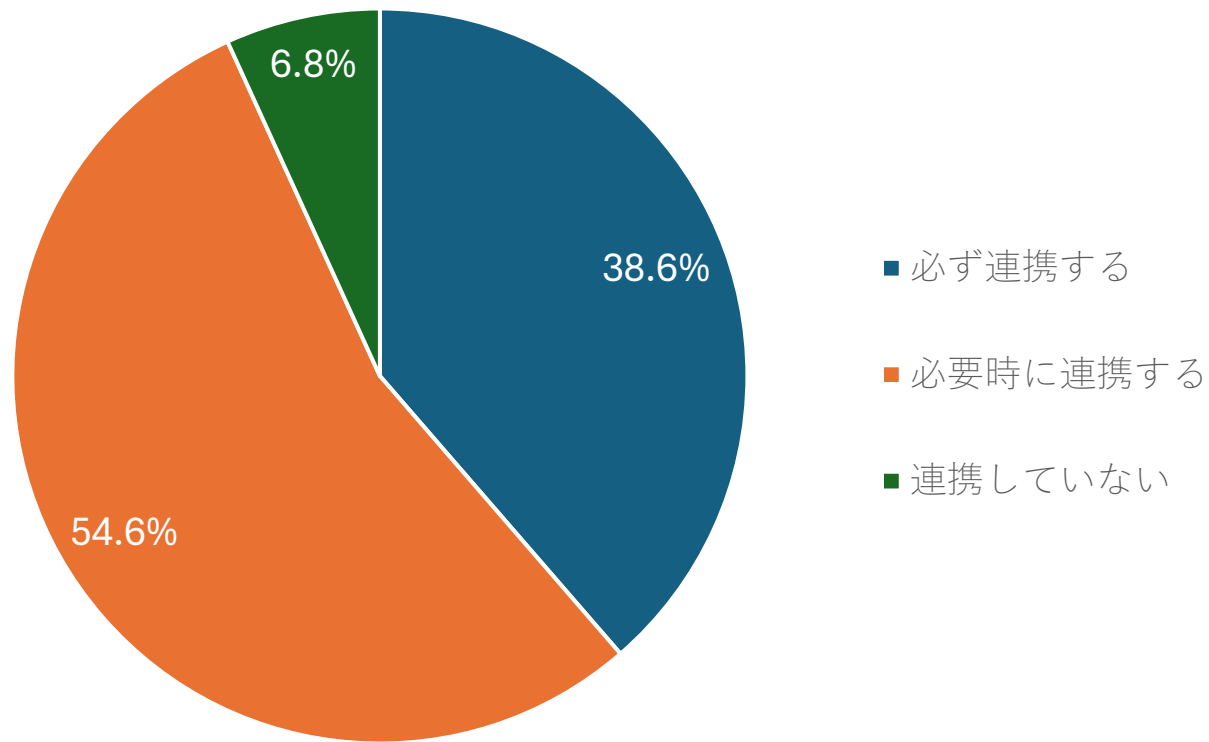
精神科医との連携（年次推移）



連携している／内訳

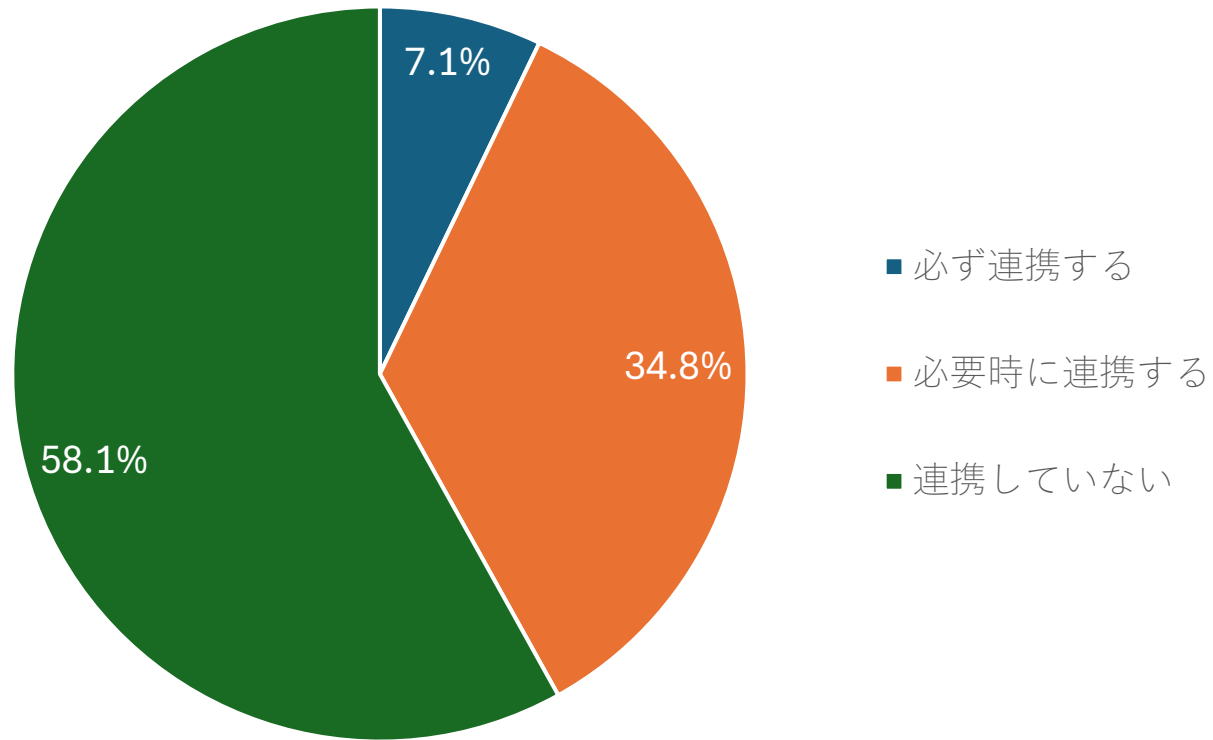


地域保健師との連携



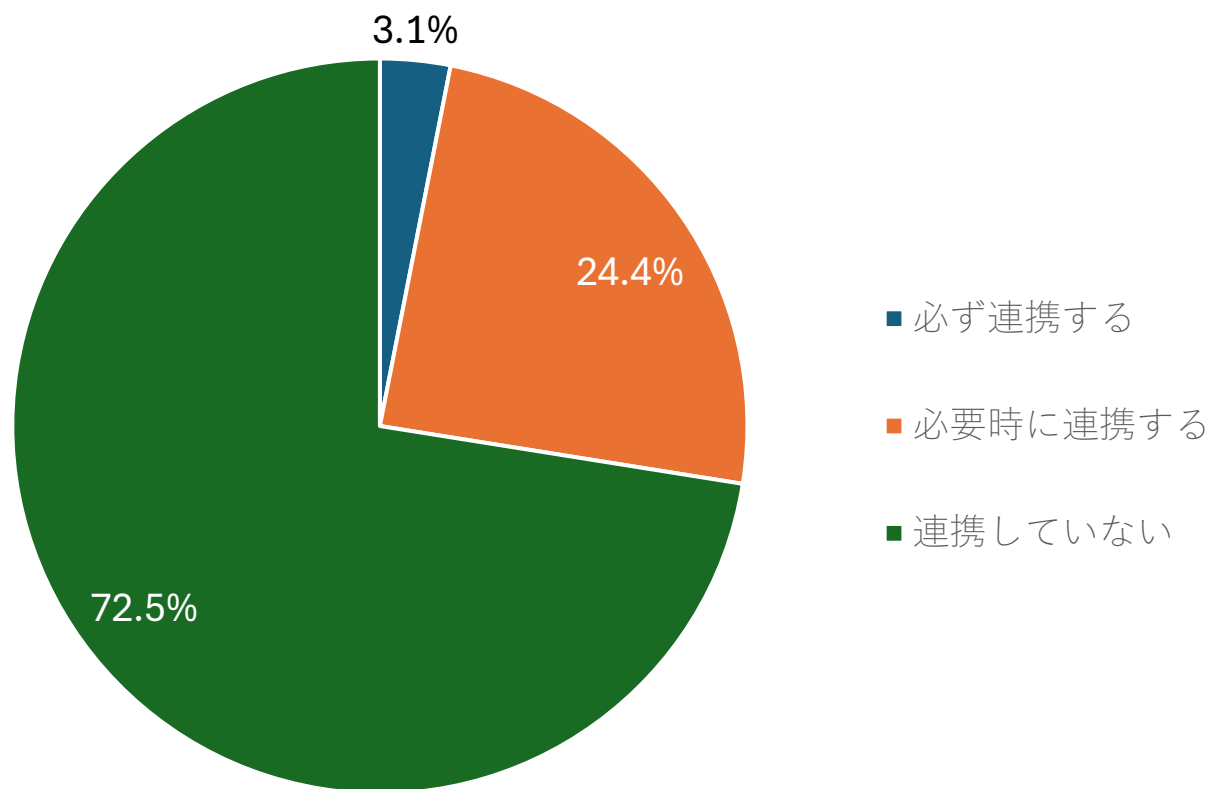
n = 823

心理士との連携



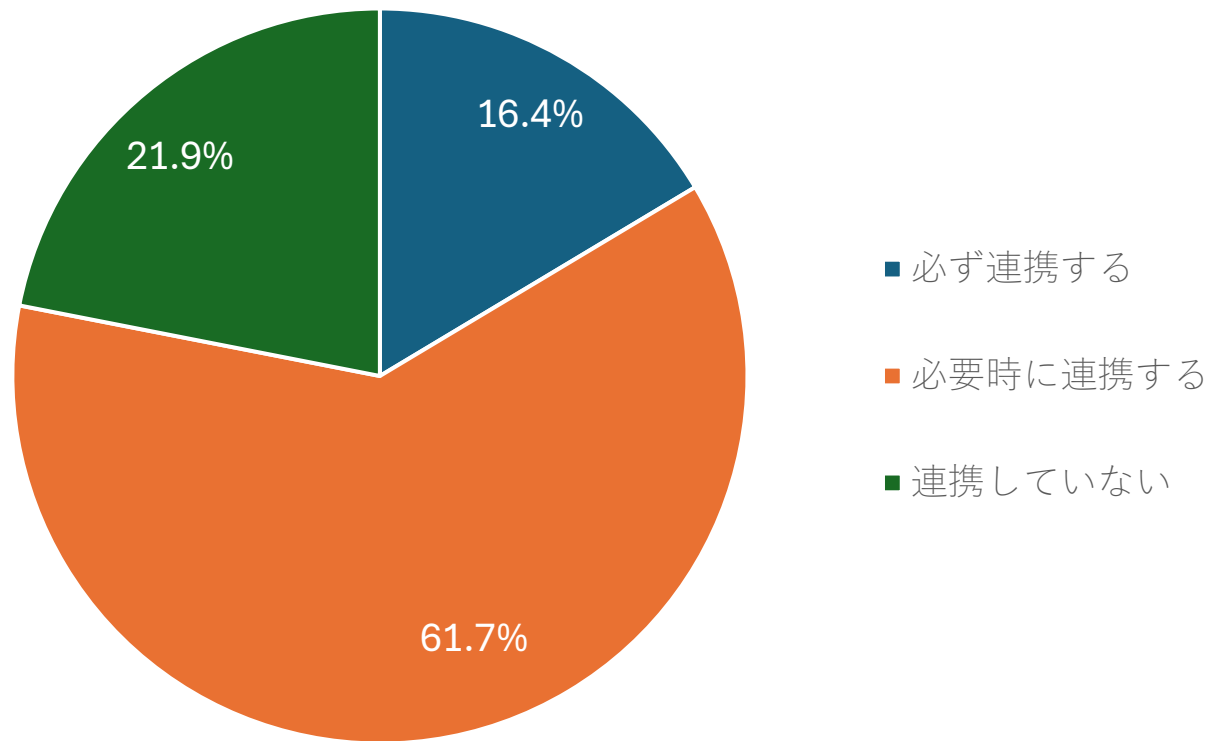
n = 756

精神保健福祉士との連携



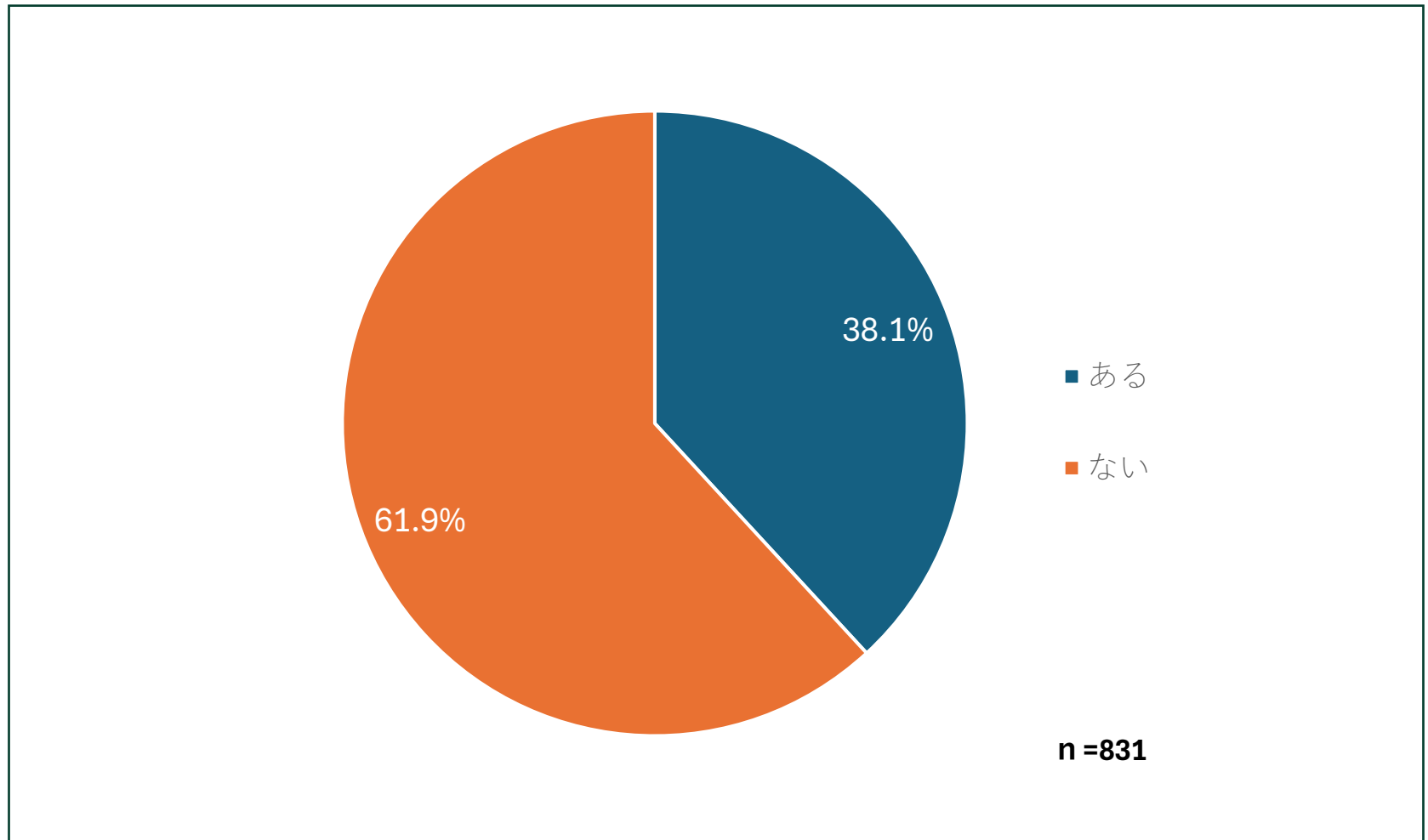
n =745

行政職員との連携

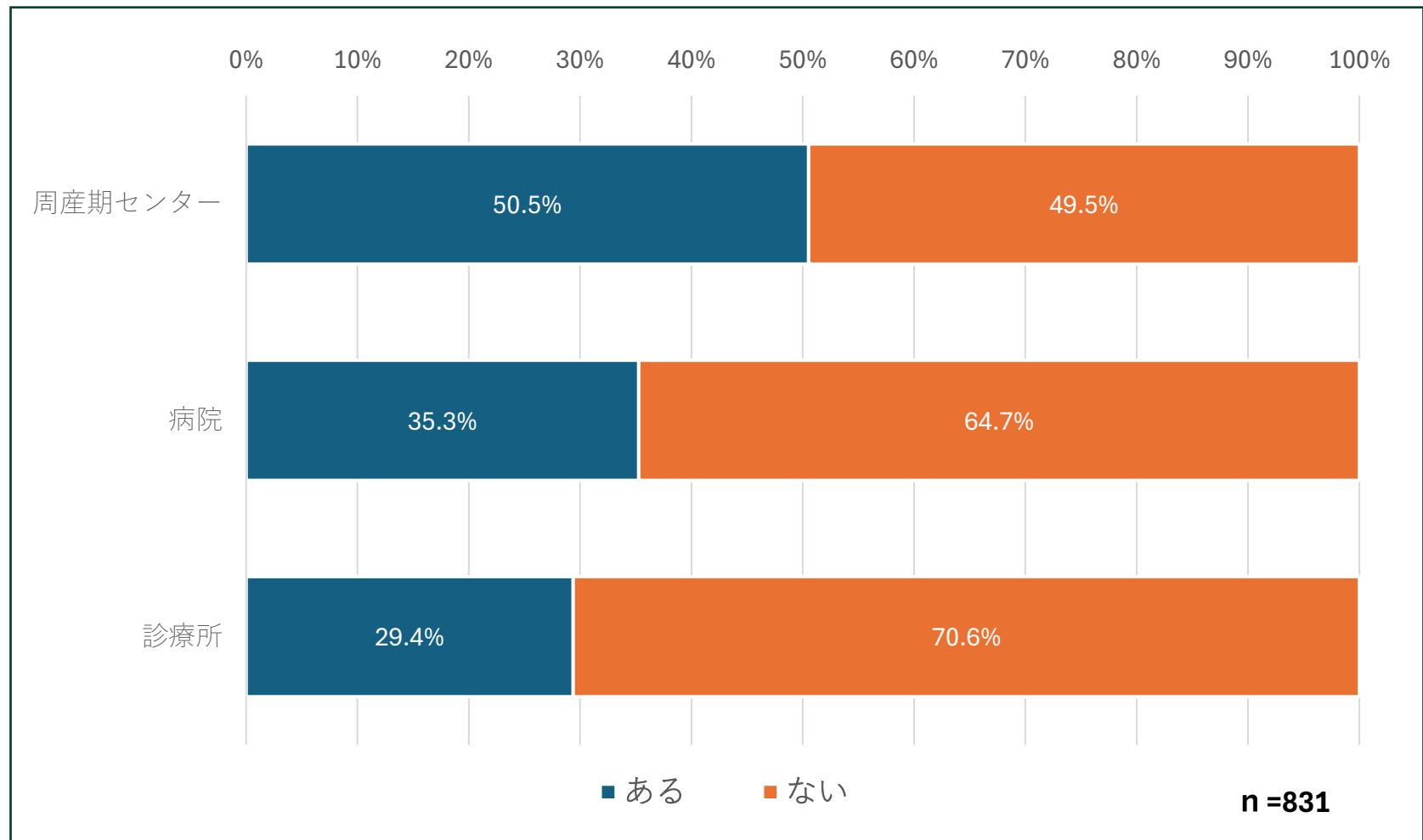


n = 780

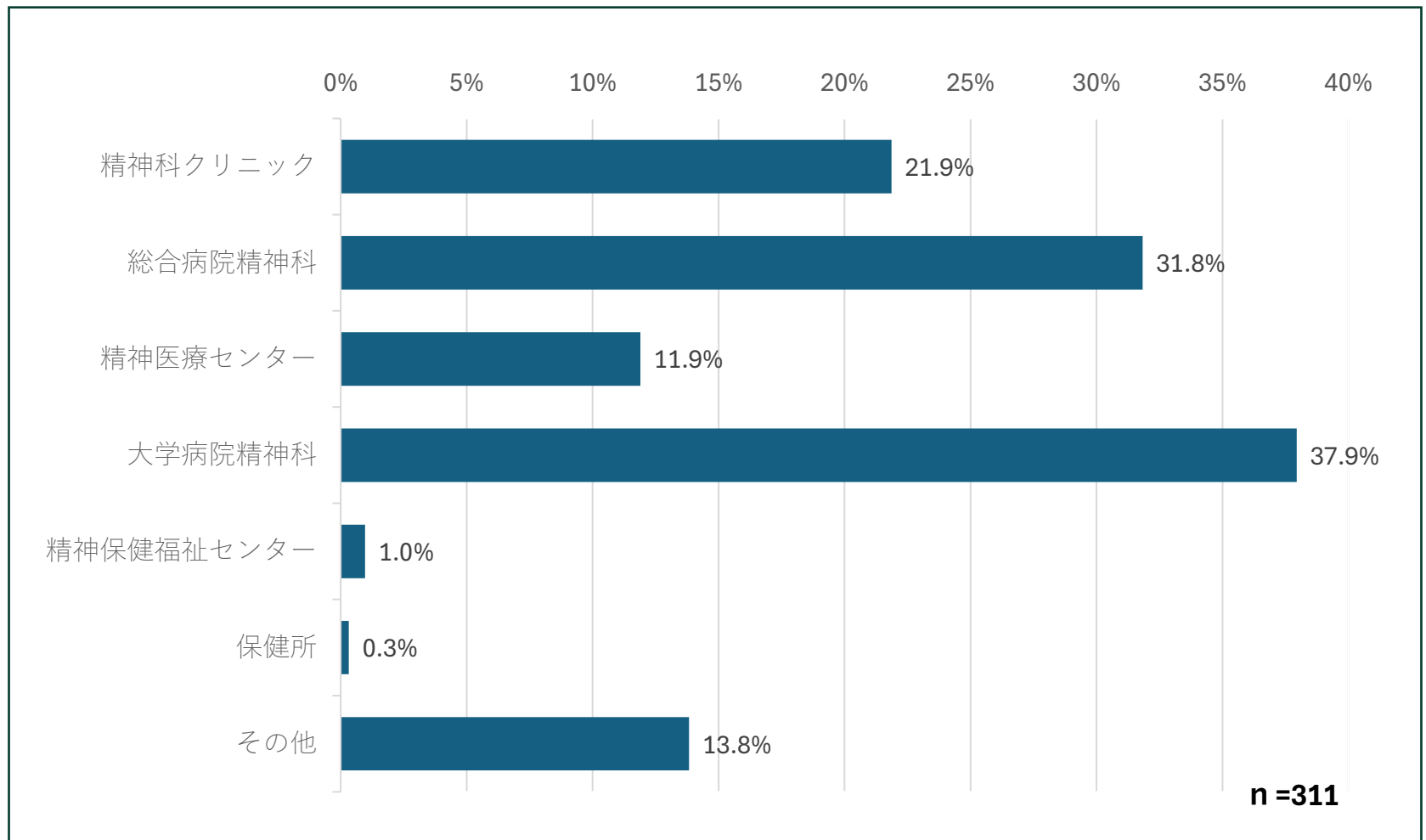
緊急時に即日対応でみてもらえる精神科関連施設



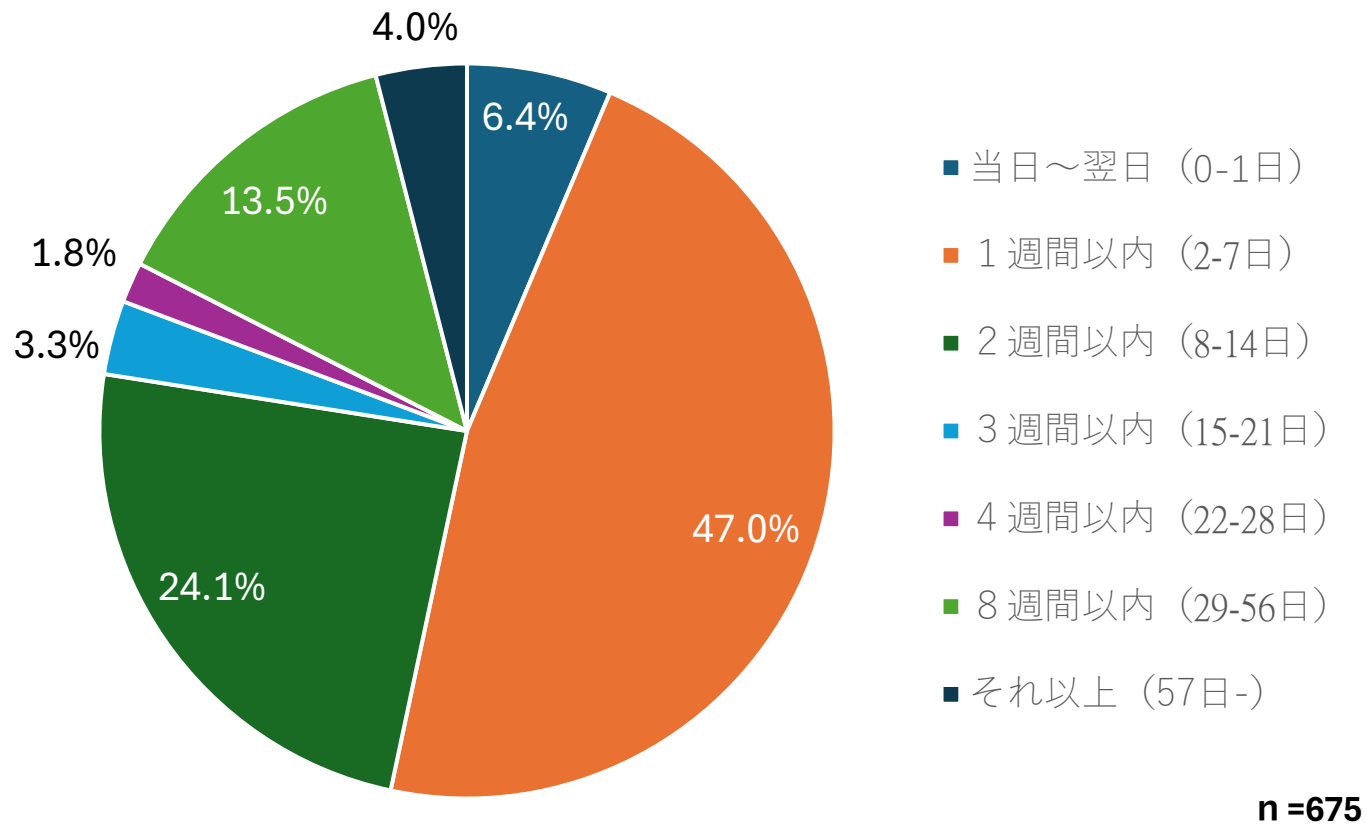
緊急時に即日対応でみてもらえる精神科関連施設 (施設区分別)



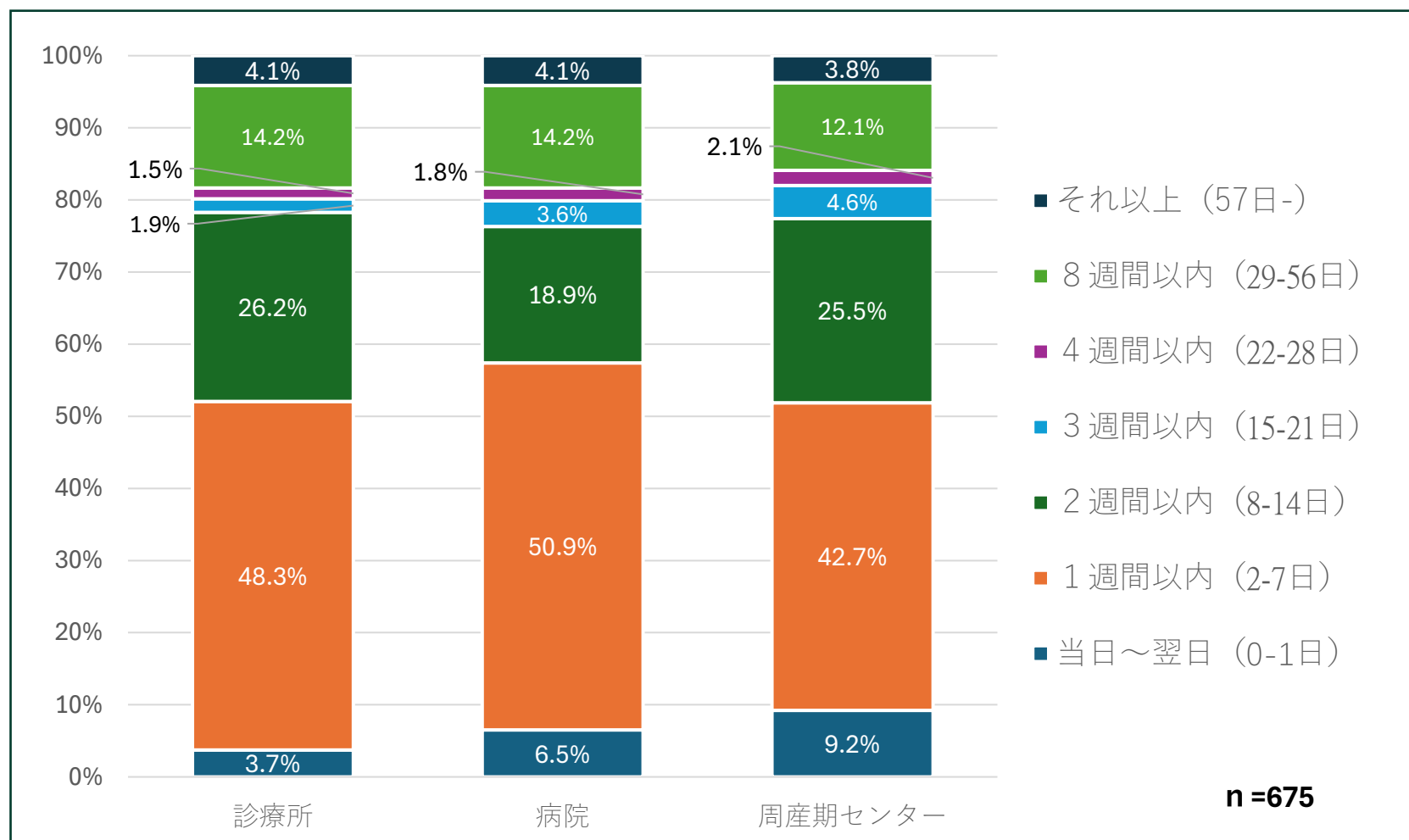
緊急時にみてもらえる精神科医療施設（複数回答可）



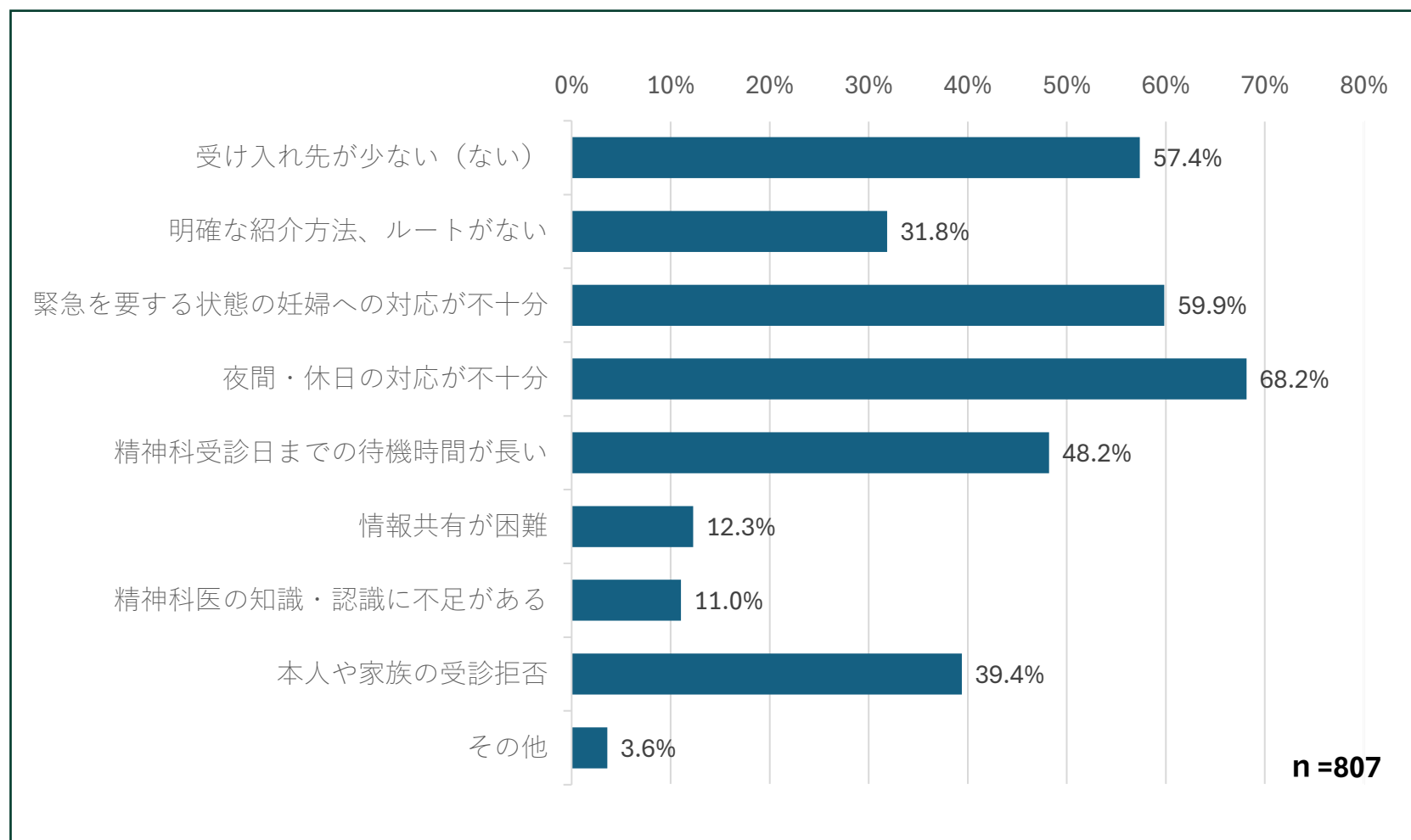
緊急ではない症例を紹介した場合の待機期間



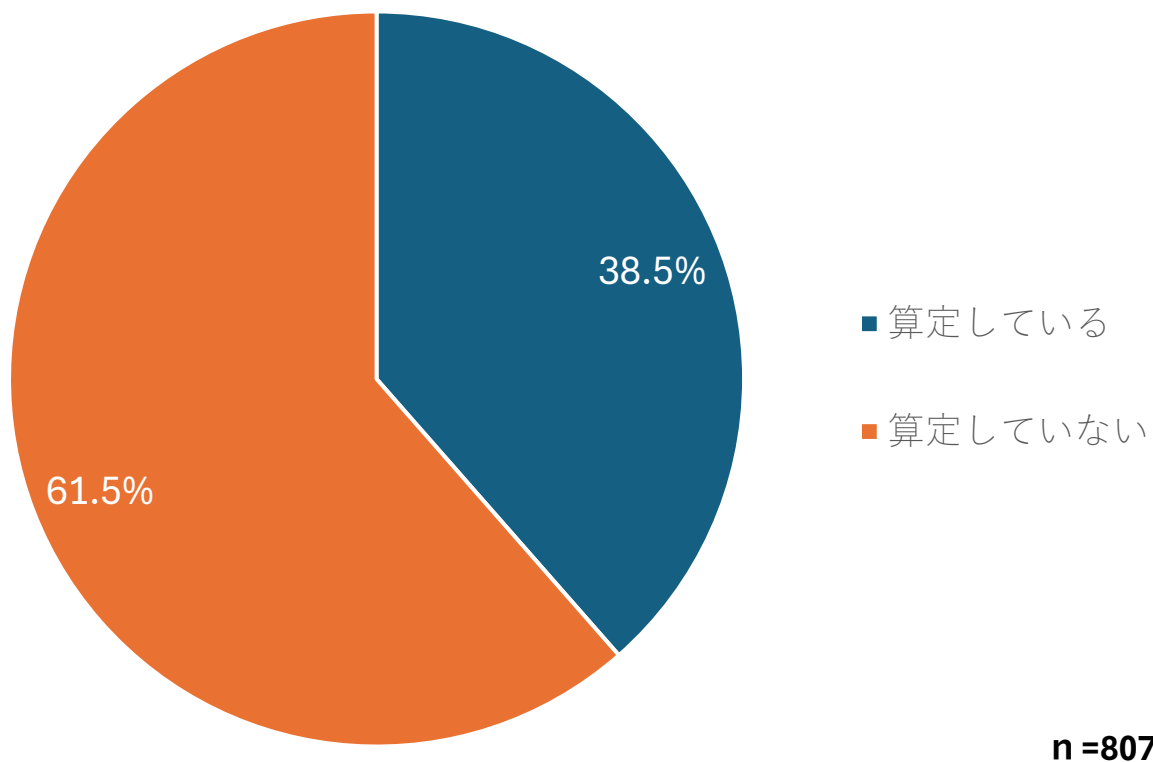
緊急ではない症例を紹介した場合の待機期間（施設区分別）



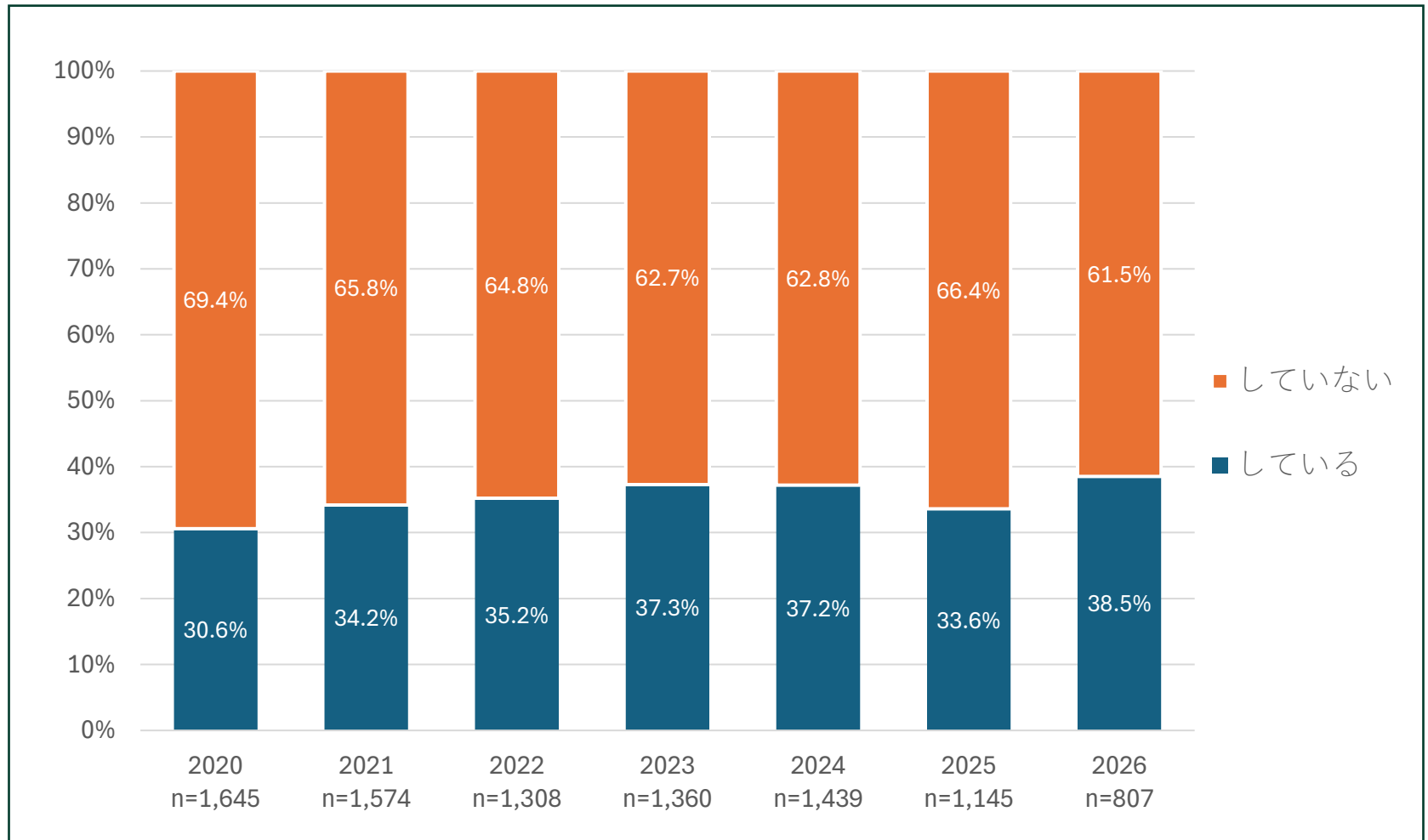
紹介・連携時に問題となっていると感じる点（複数回答可）



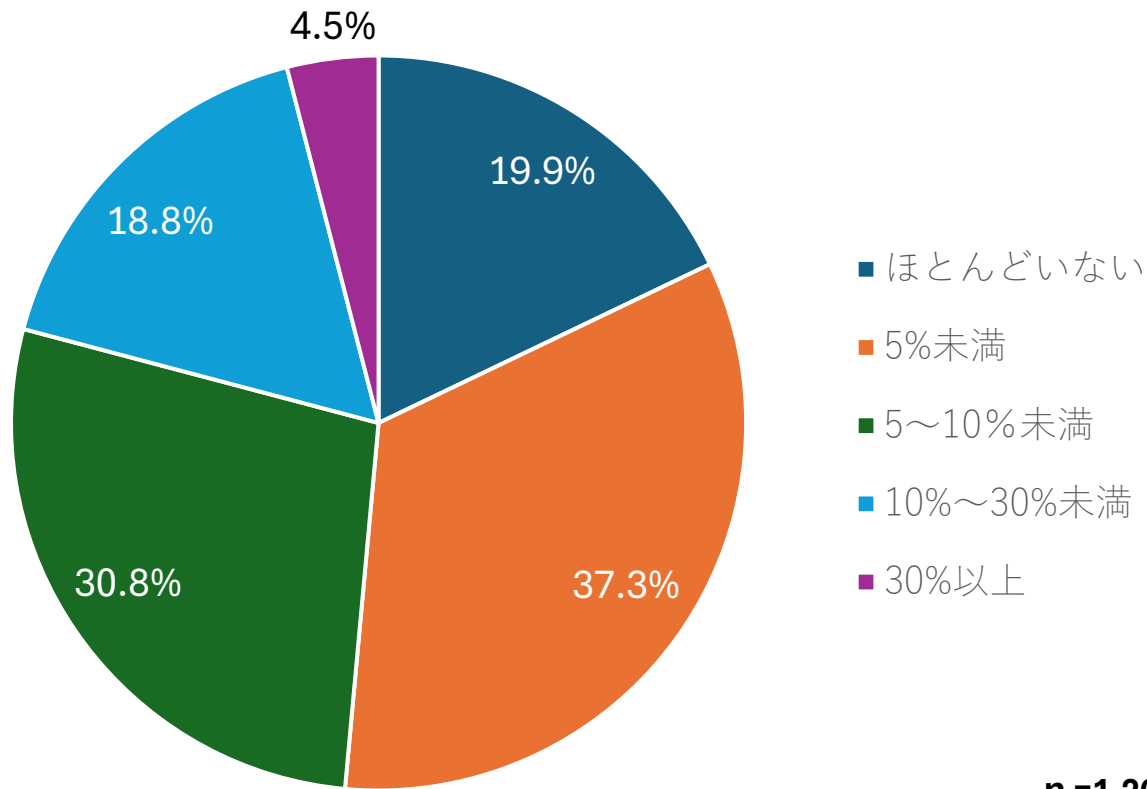
ハイリスク妊産婦連携指導料の算定



ハイリスク妊産婦連携指導料の算定（年次推移）

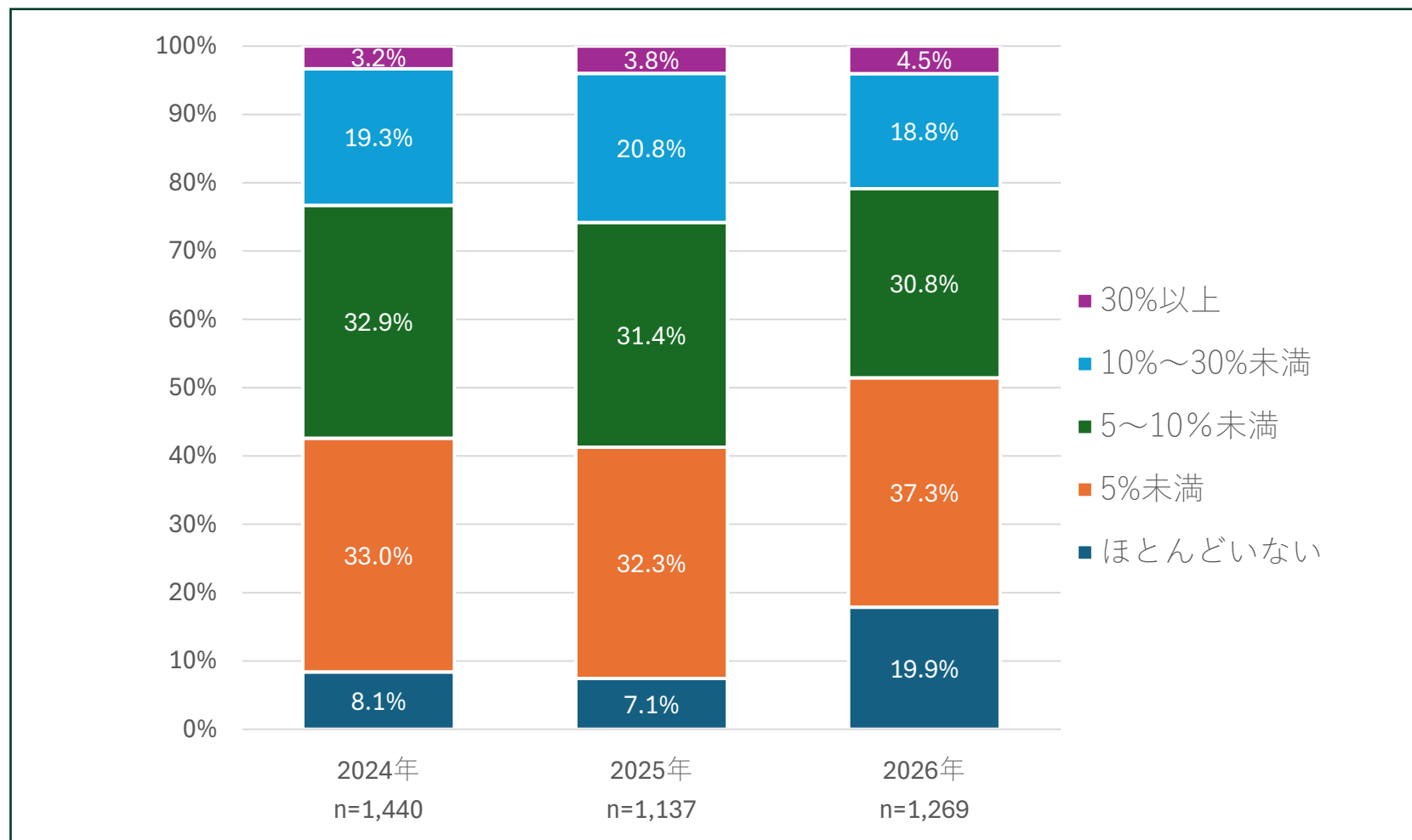


要支援妊産婦の割合

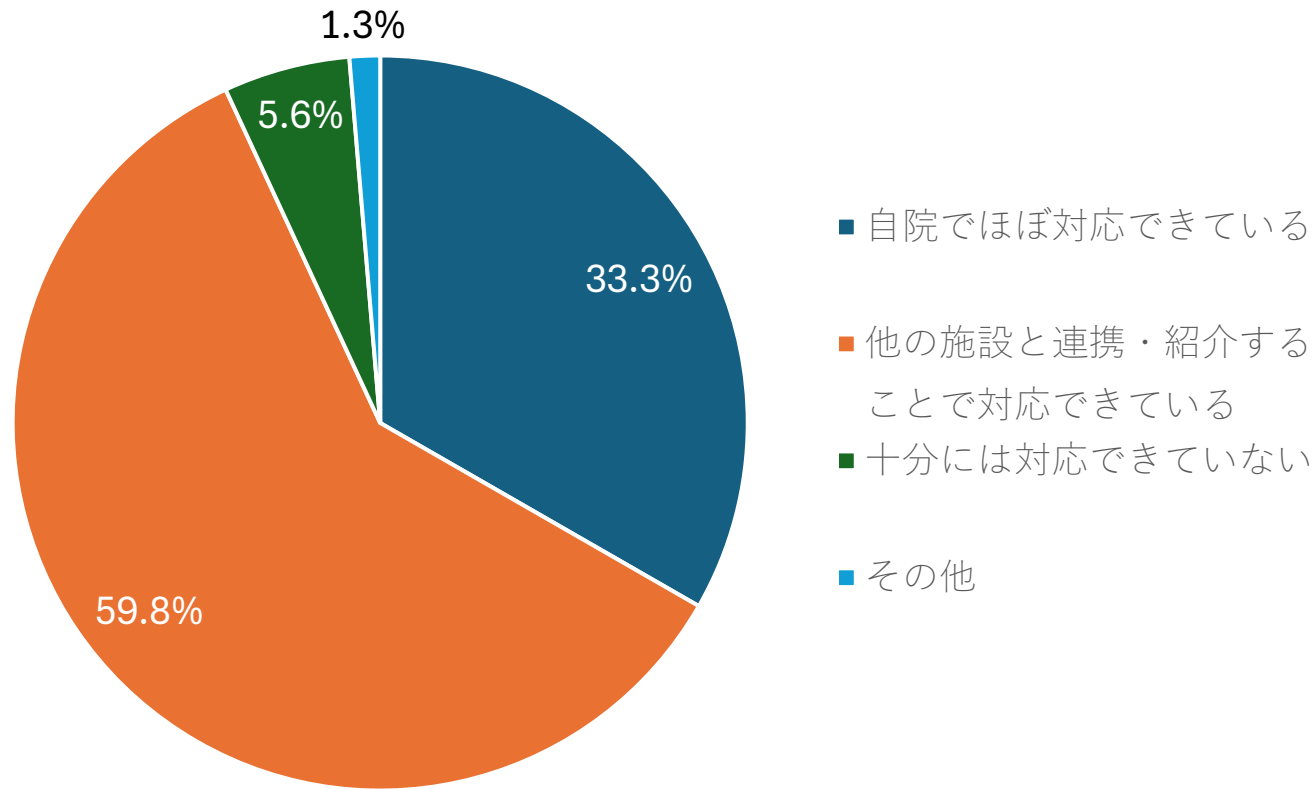


n = 1,269

要支援妊産婦の割合（年次推移）

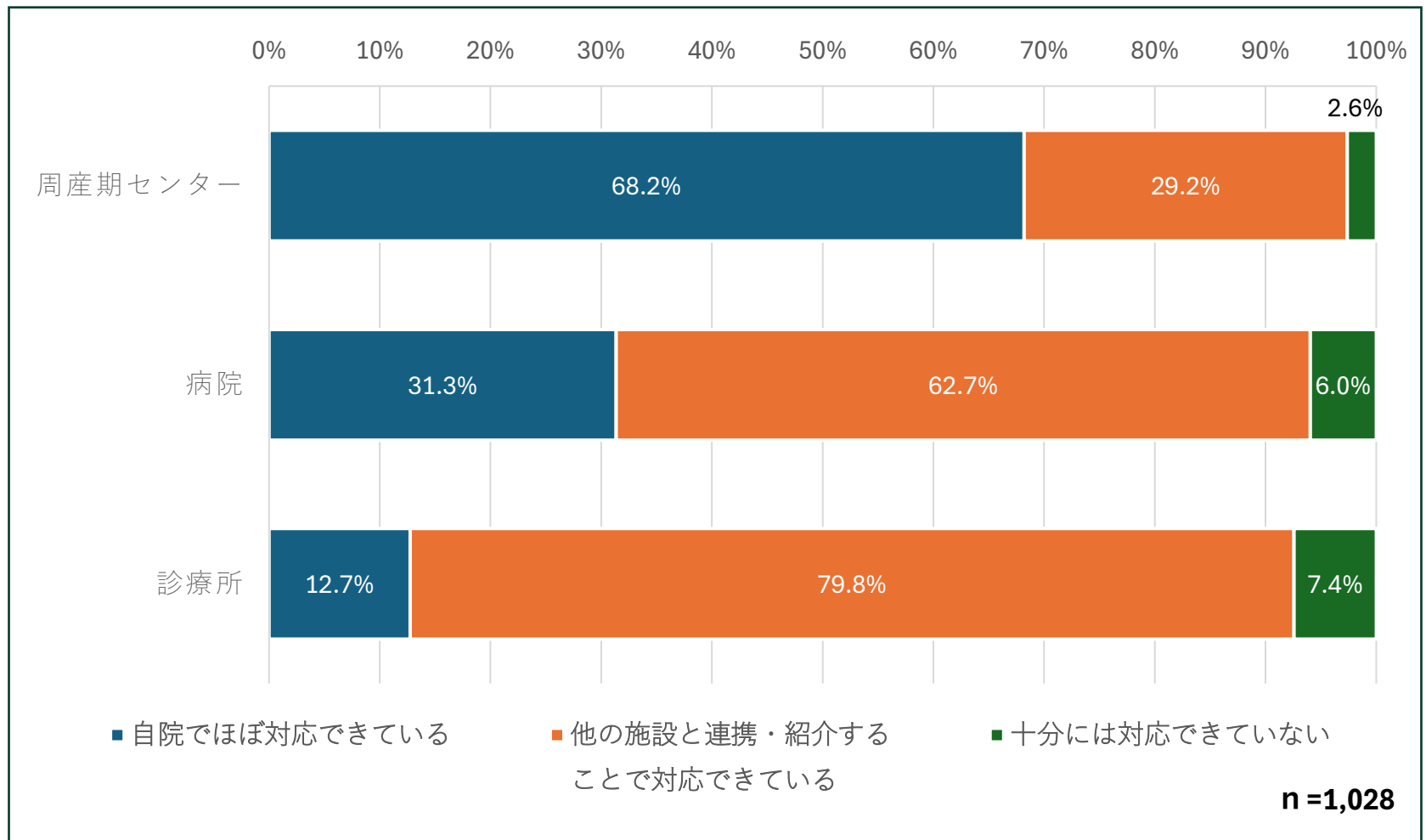


要支援妊産婦の対応

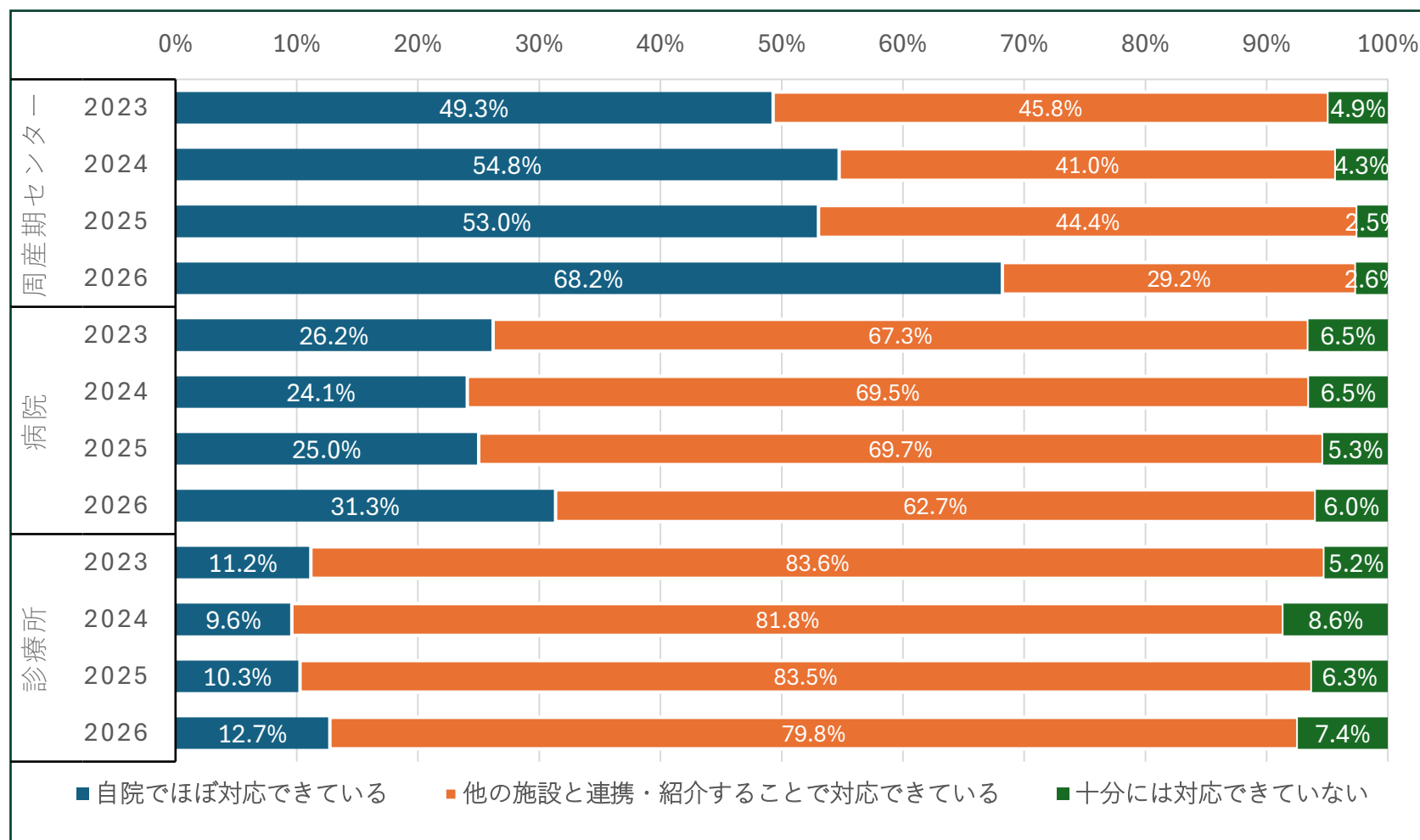


n = 1,042

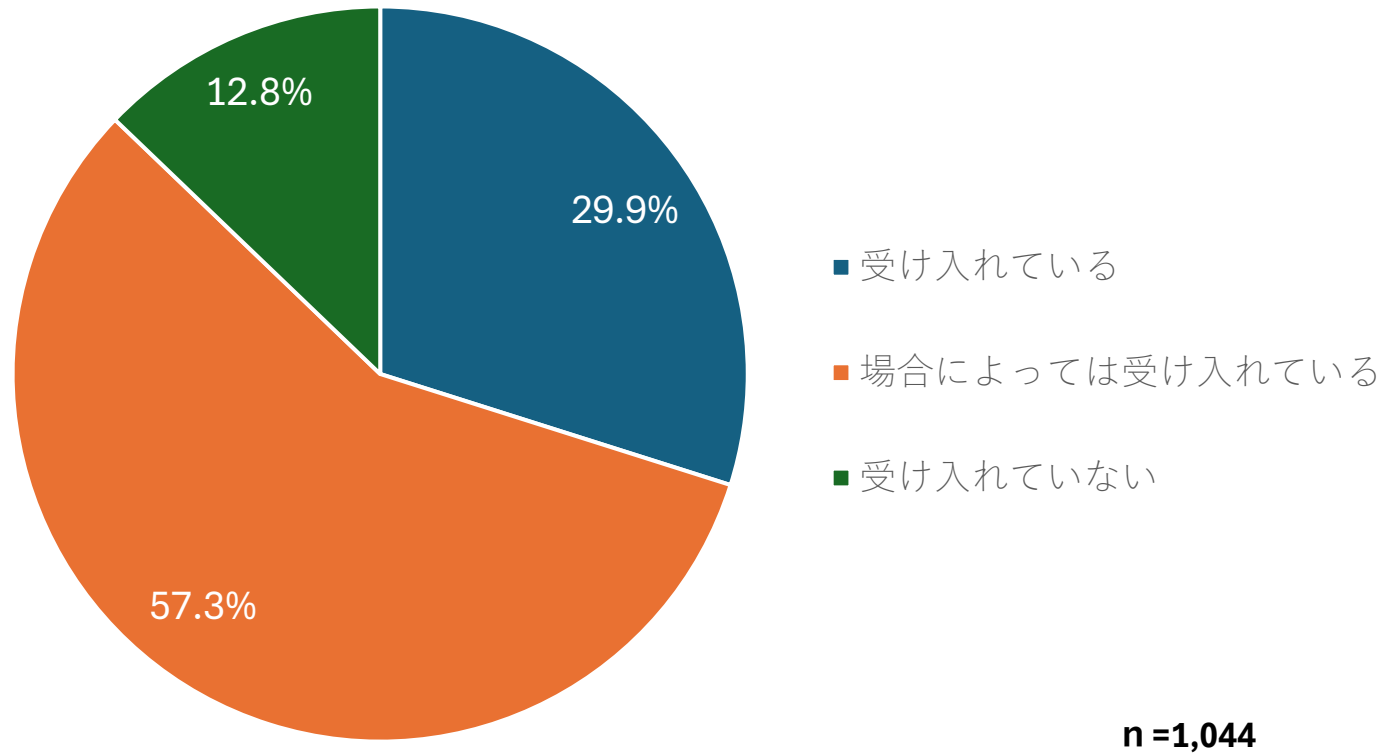
要支援妊産婦の対応（施設区分別）



要支援妊産婦の対応（年次推移）

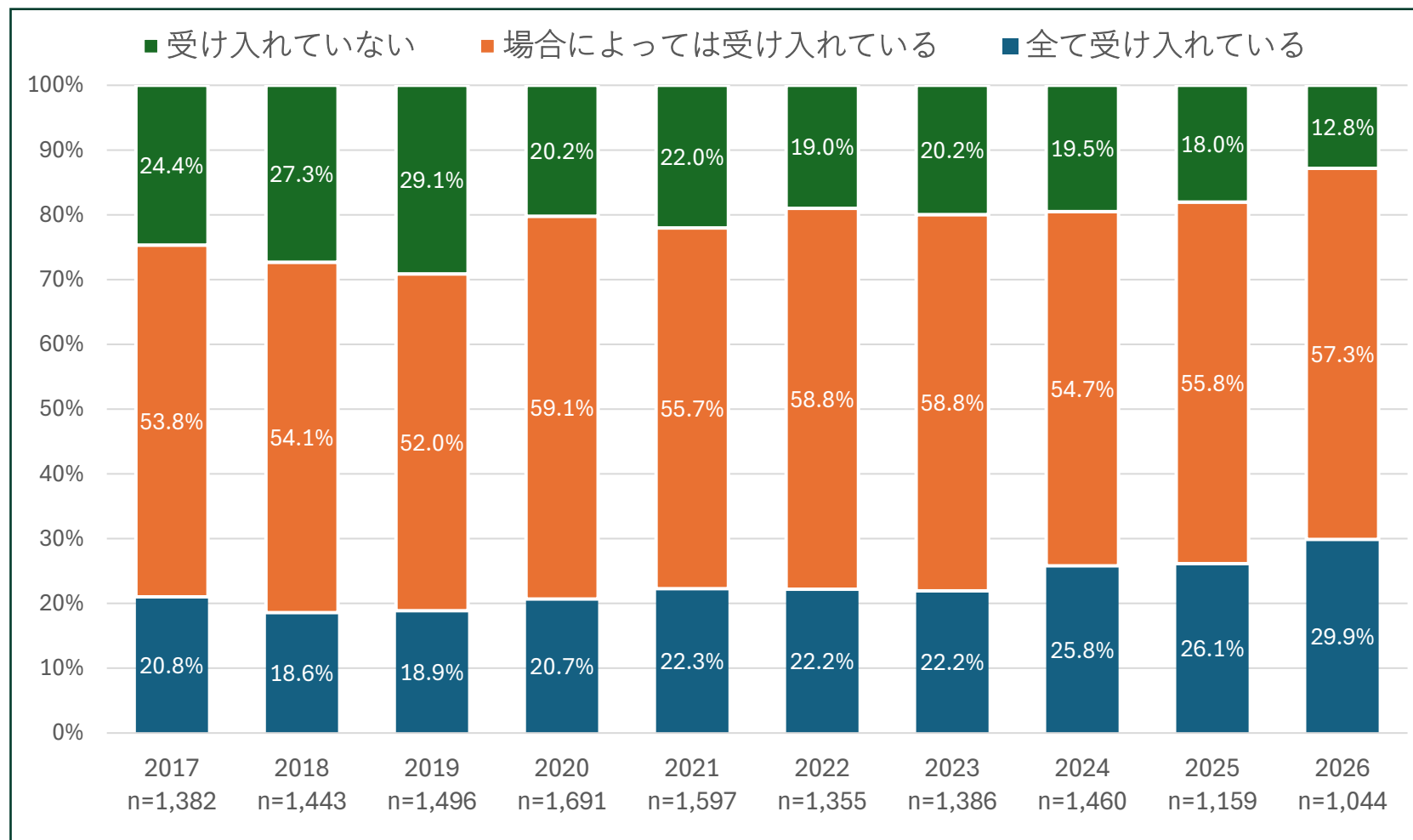


精神疾患合併妊娠

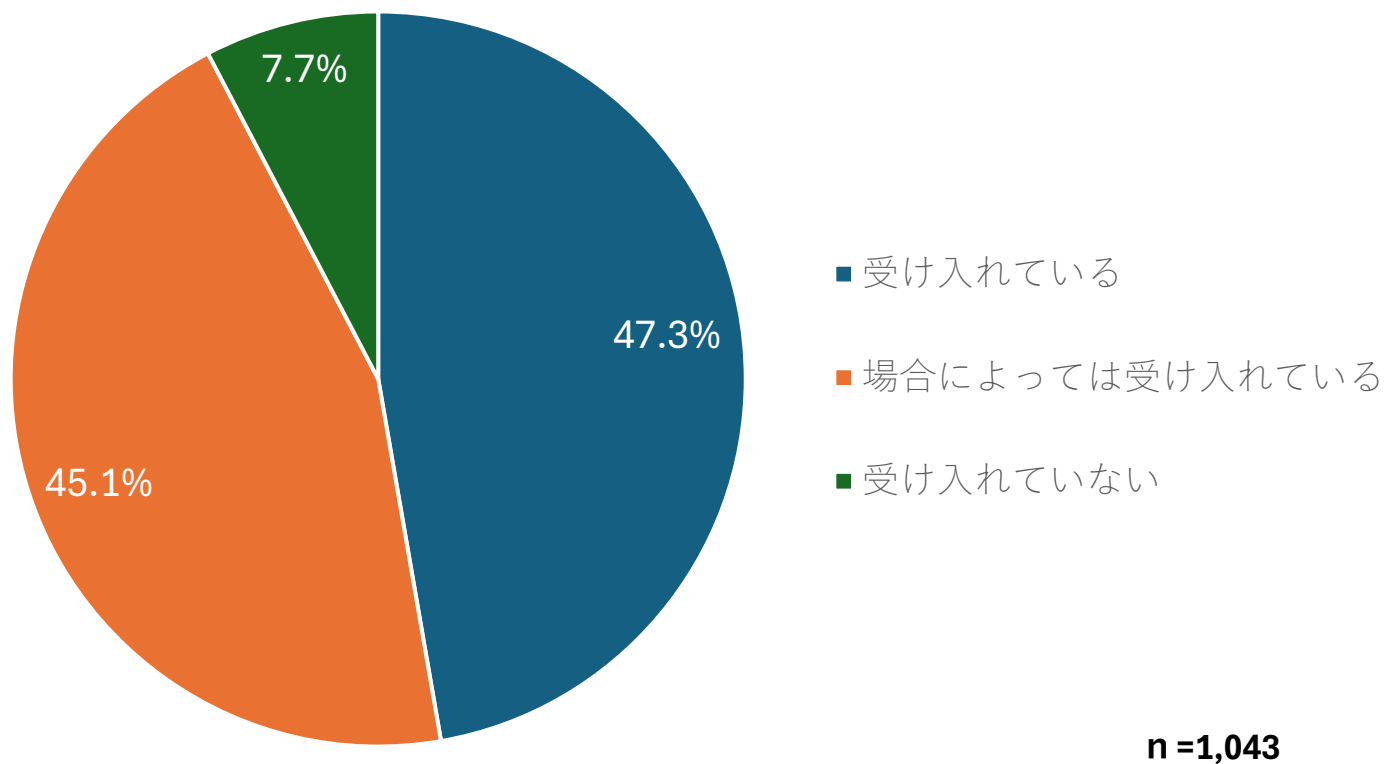


n = 1,044

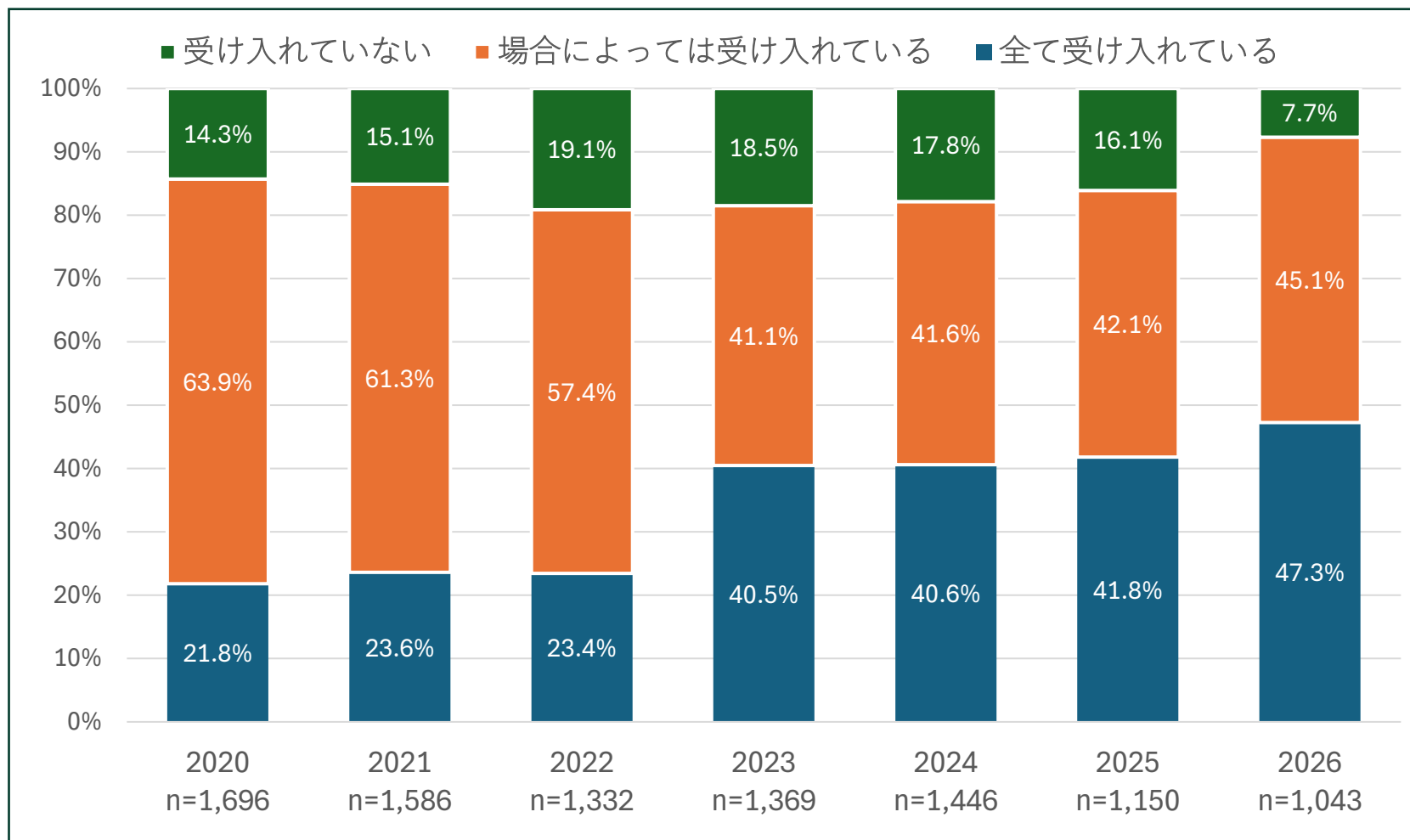
精神疾患合併妊娠の受け入れ（年次推移）



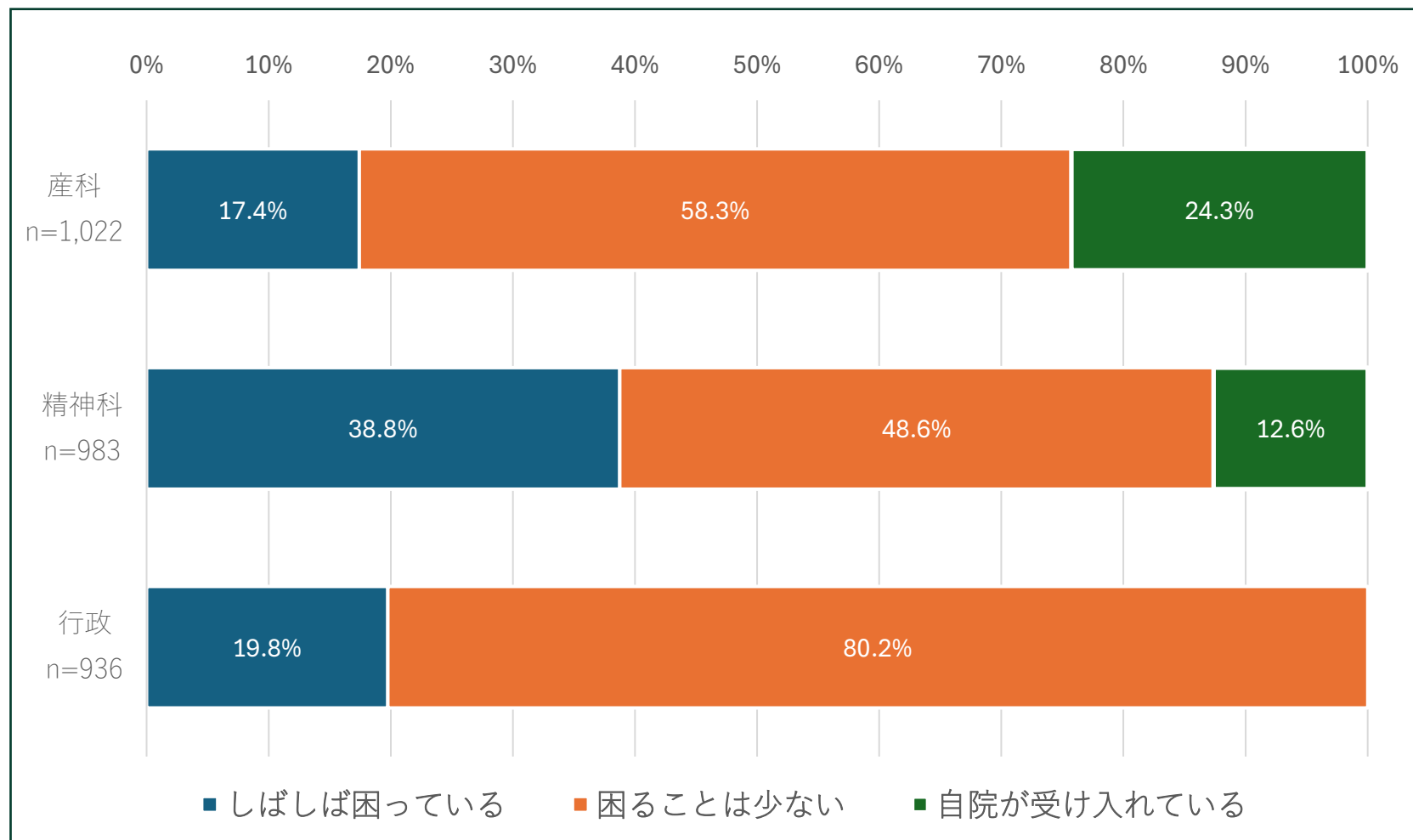
精神疾患以外の「特定妊婦」



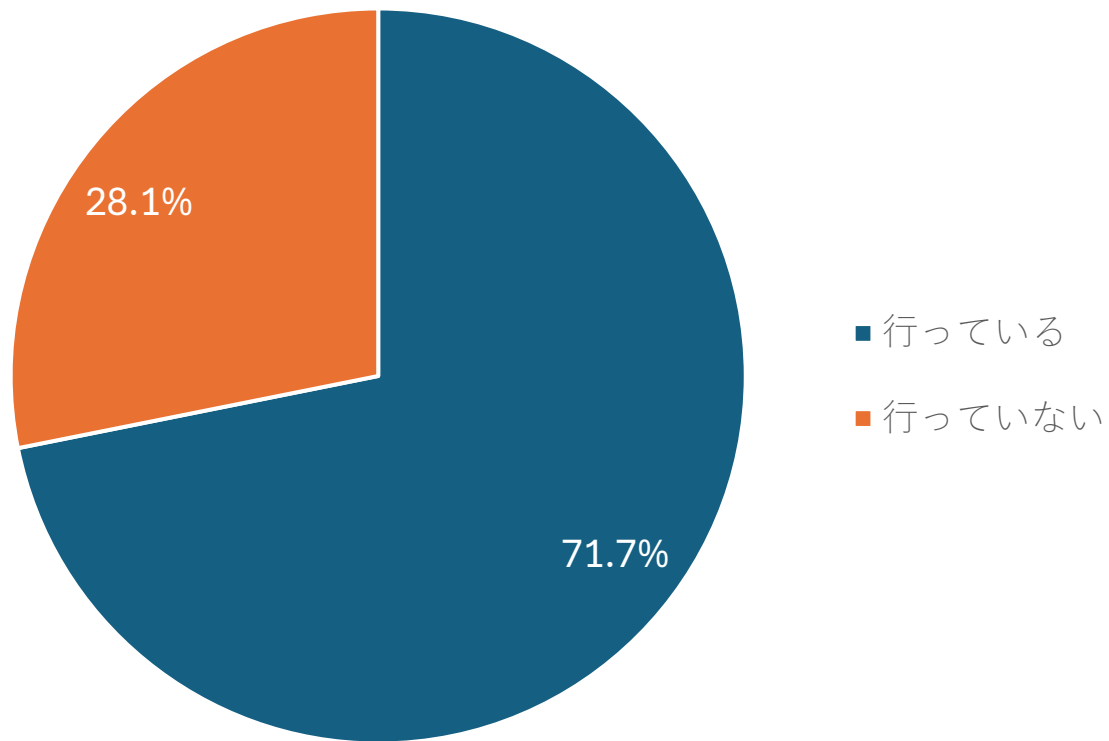
精神疾患以外の「特定妊婦」の受け入れ（年次推移）



要支援妊産婦と地域での医療機関・行政との連携について (施設区分別)

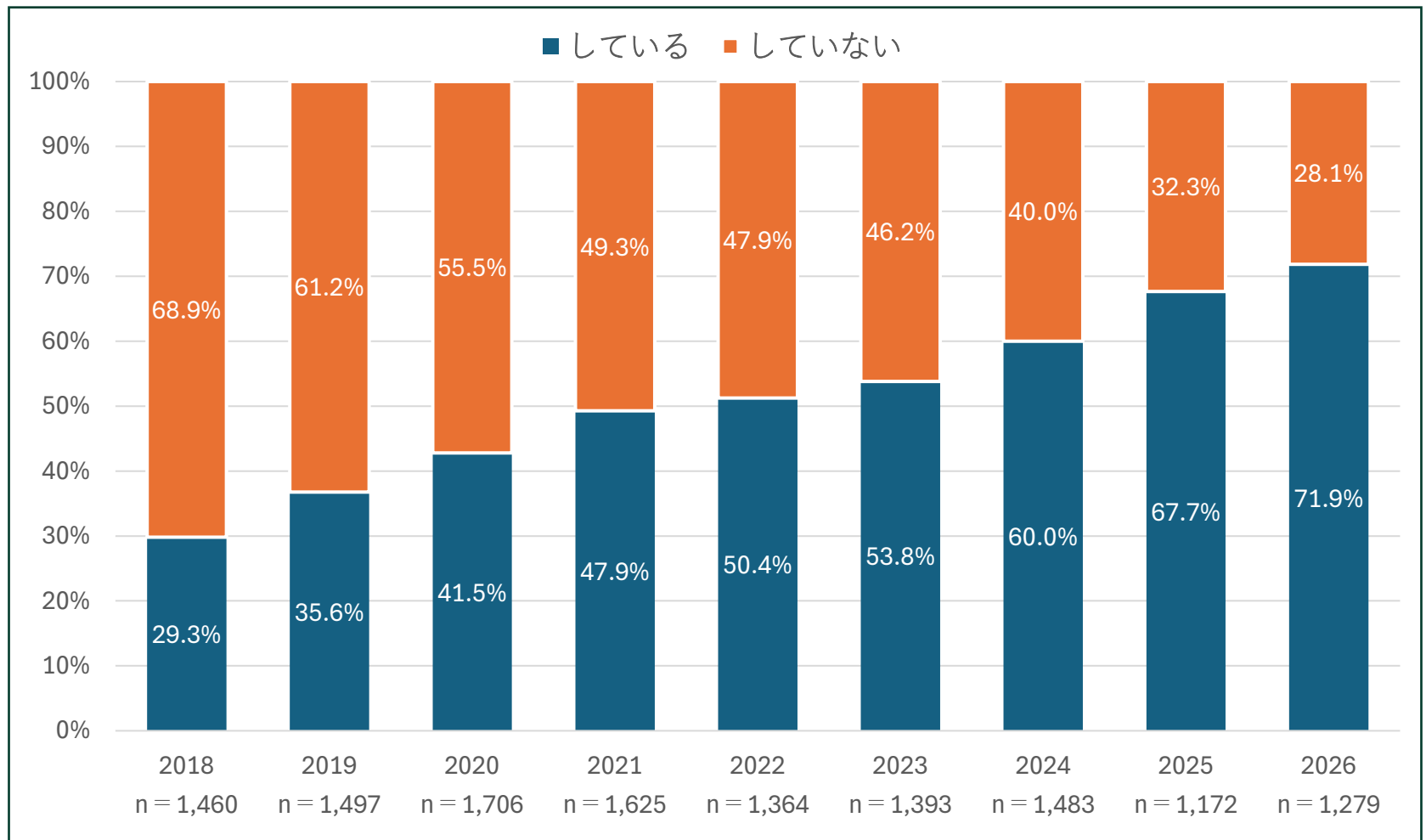


産後ケア事業の実施

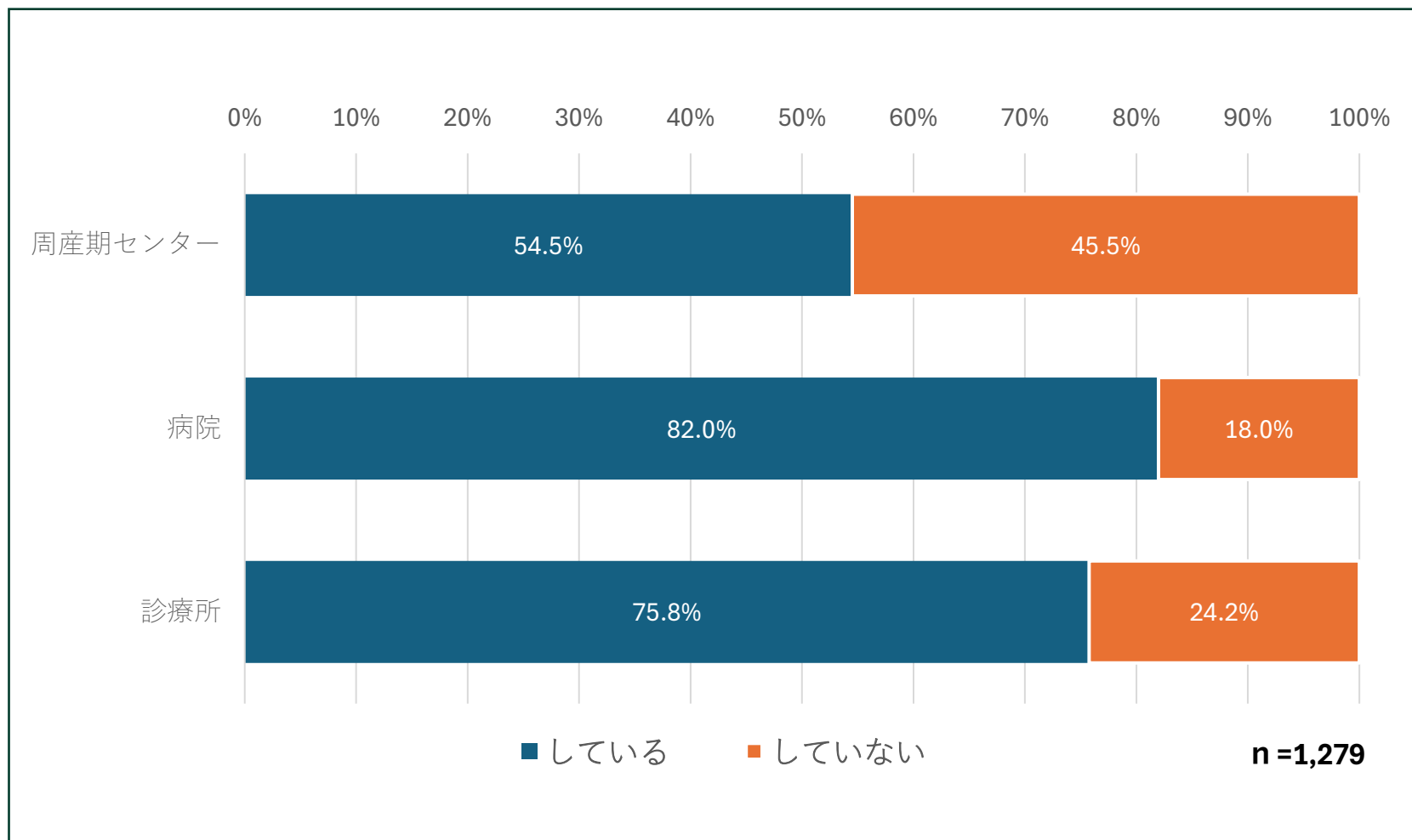


n =1,279

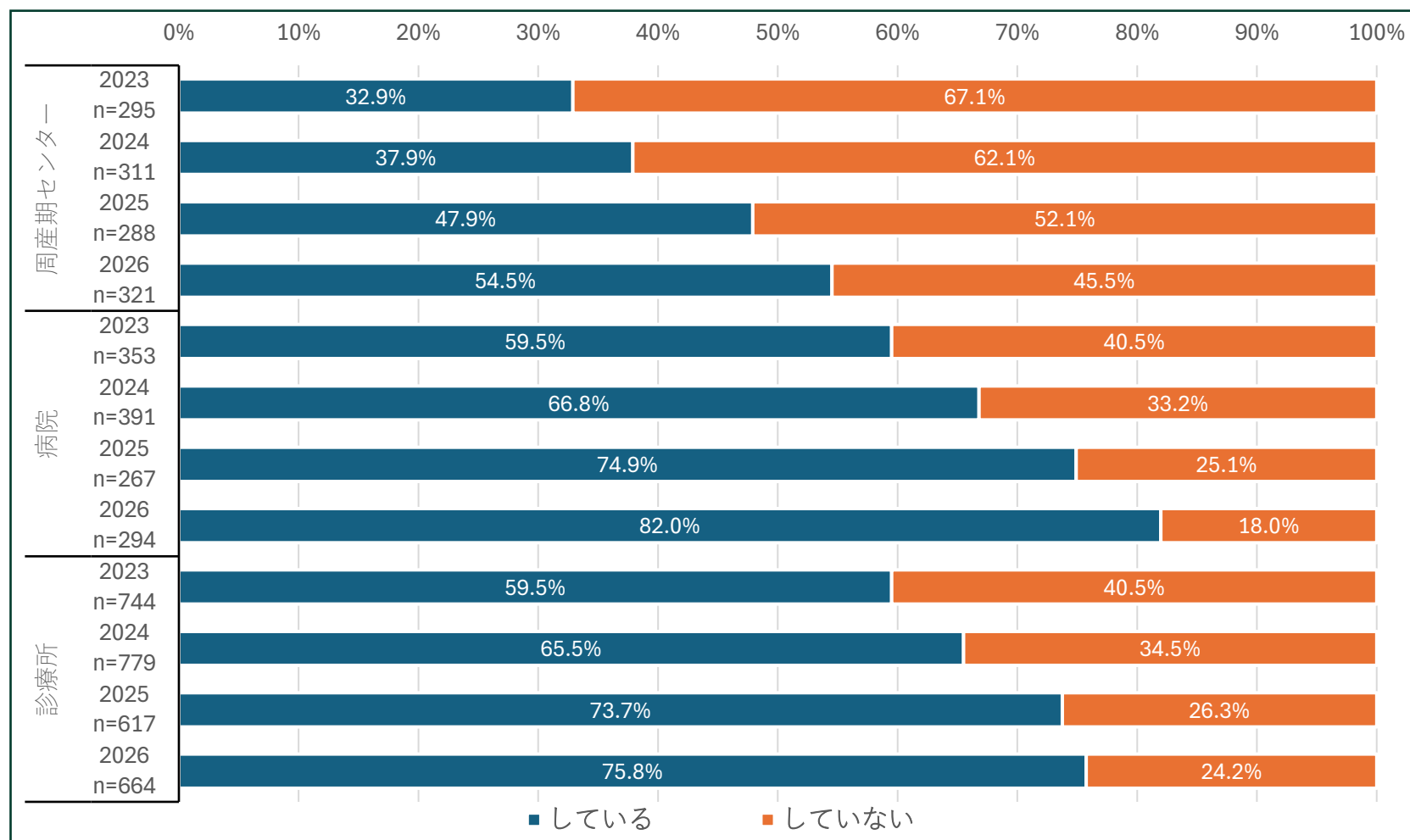
産後ケア事業の実施（年次推移）



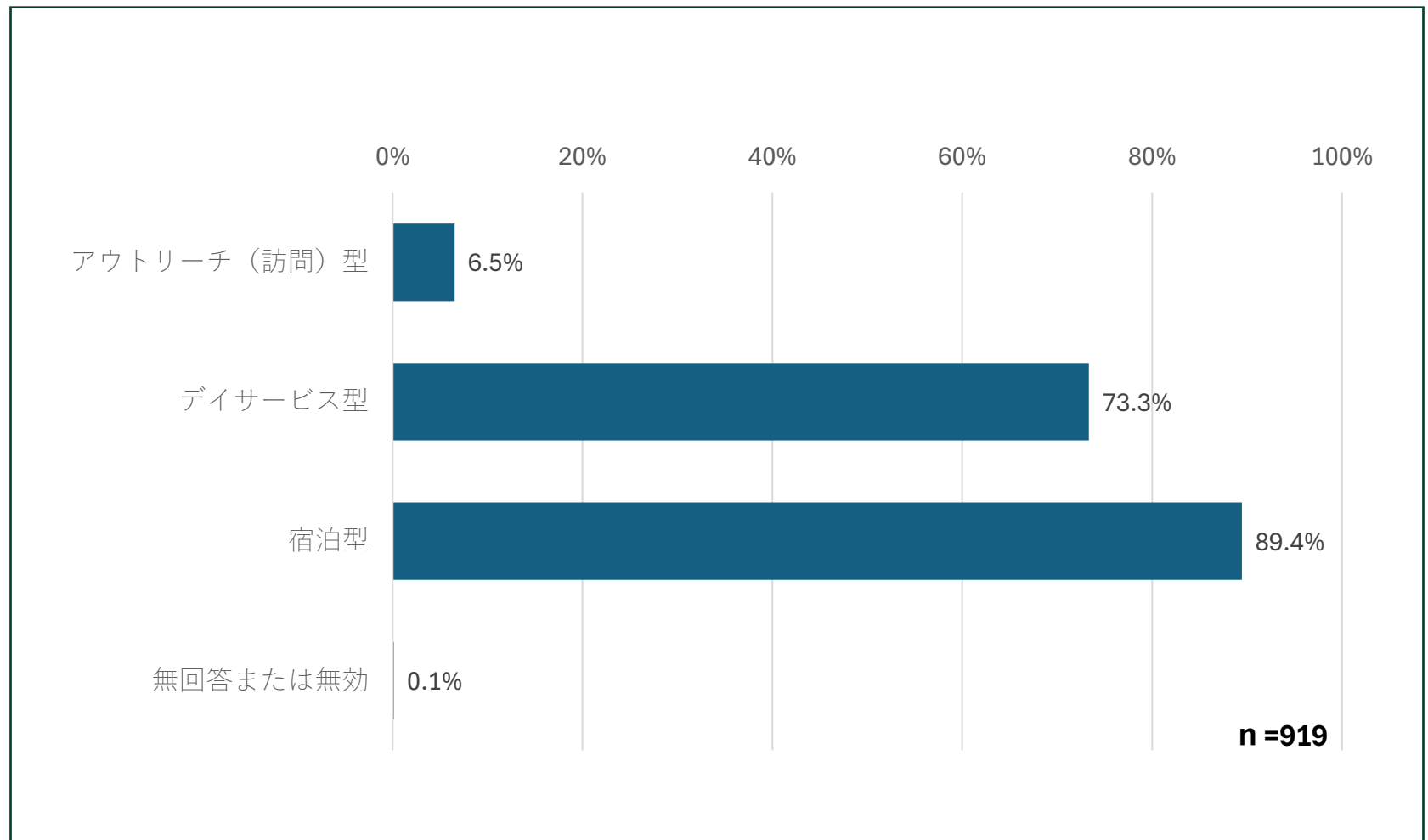
産後ケア事業の実施（施設区分別）



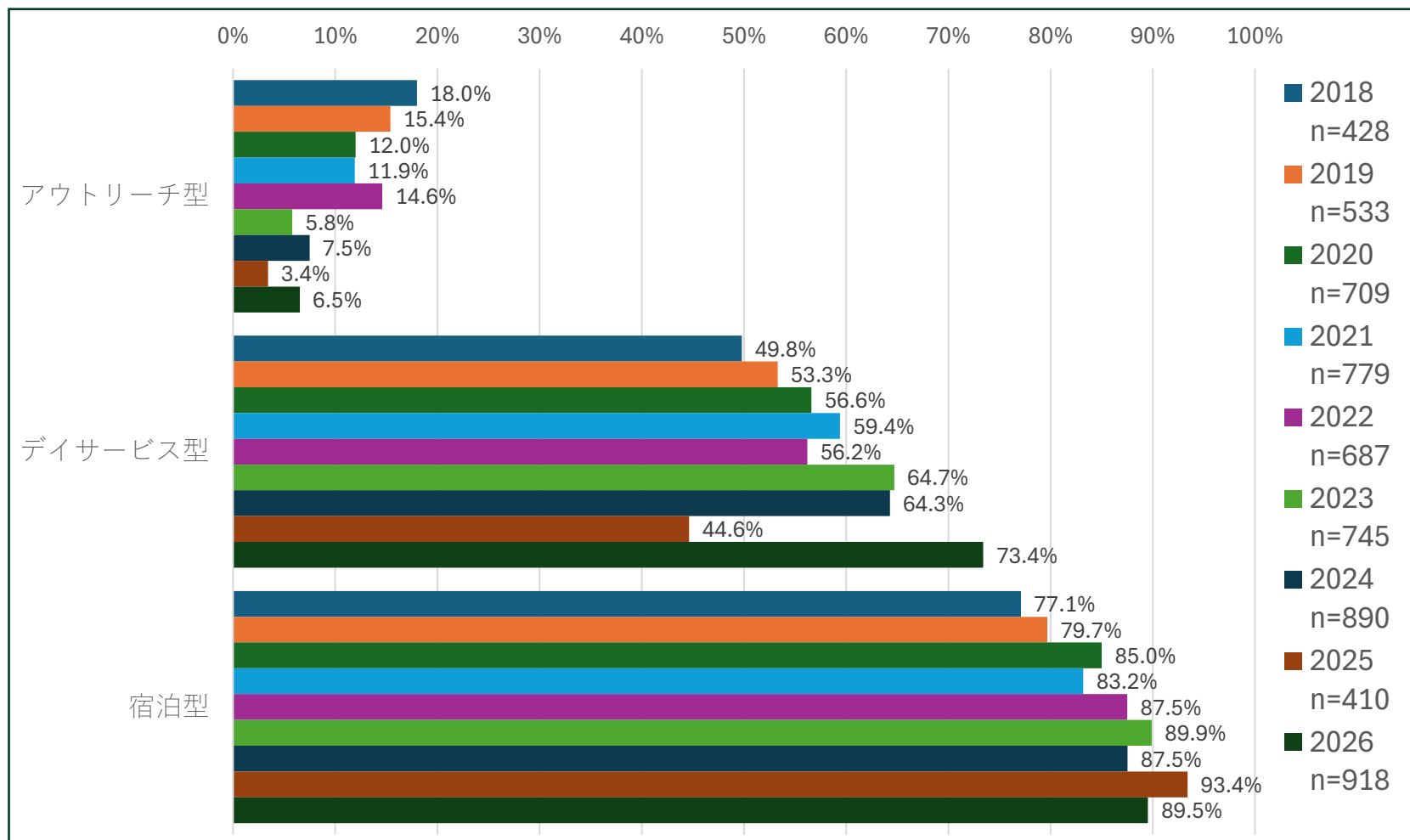
産後ケア事業の実施（年次推移）



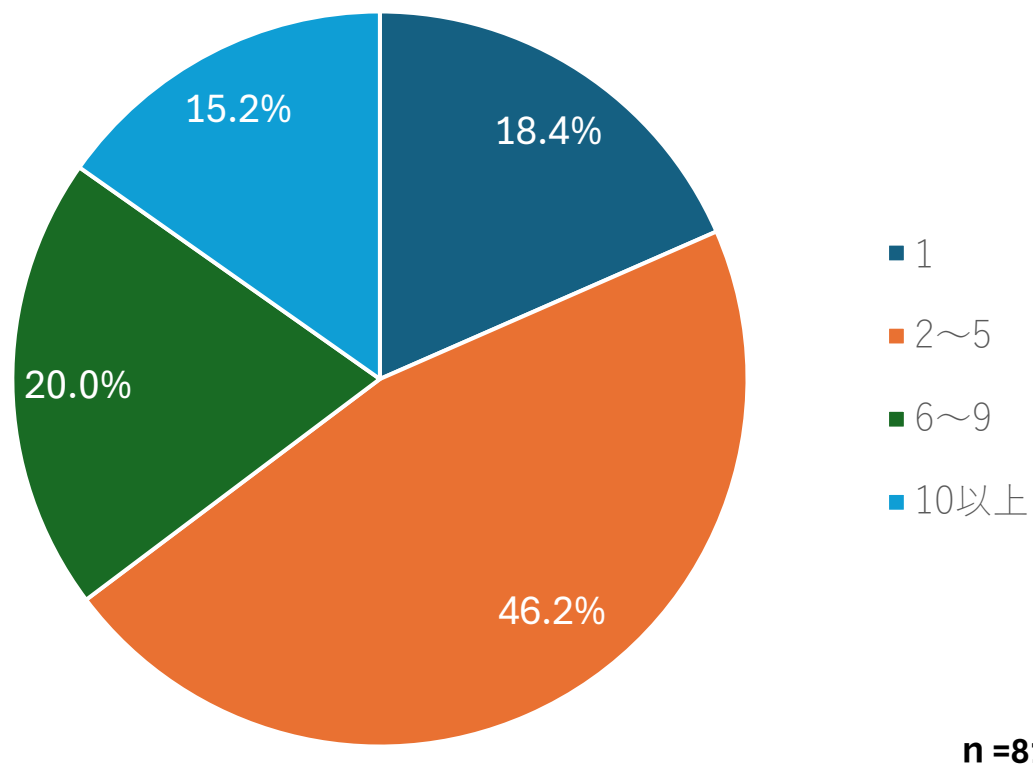
産後ケア事業をしている施設で行われている事業【複数回答】



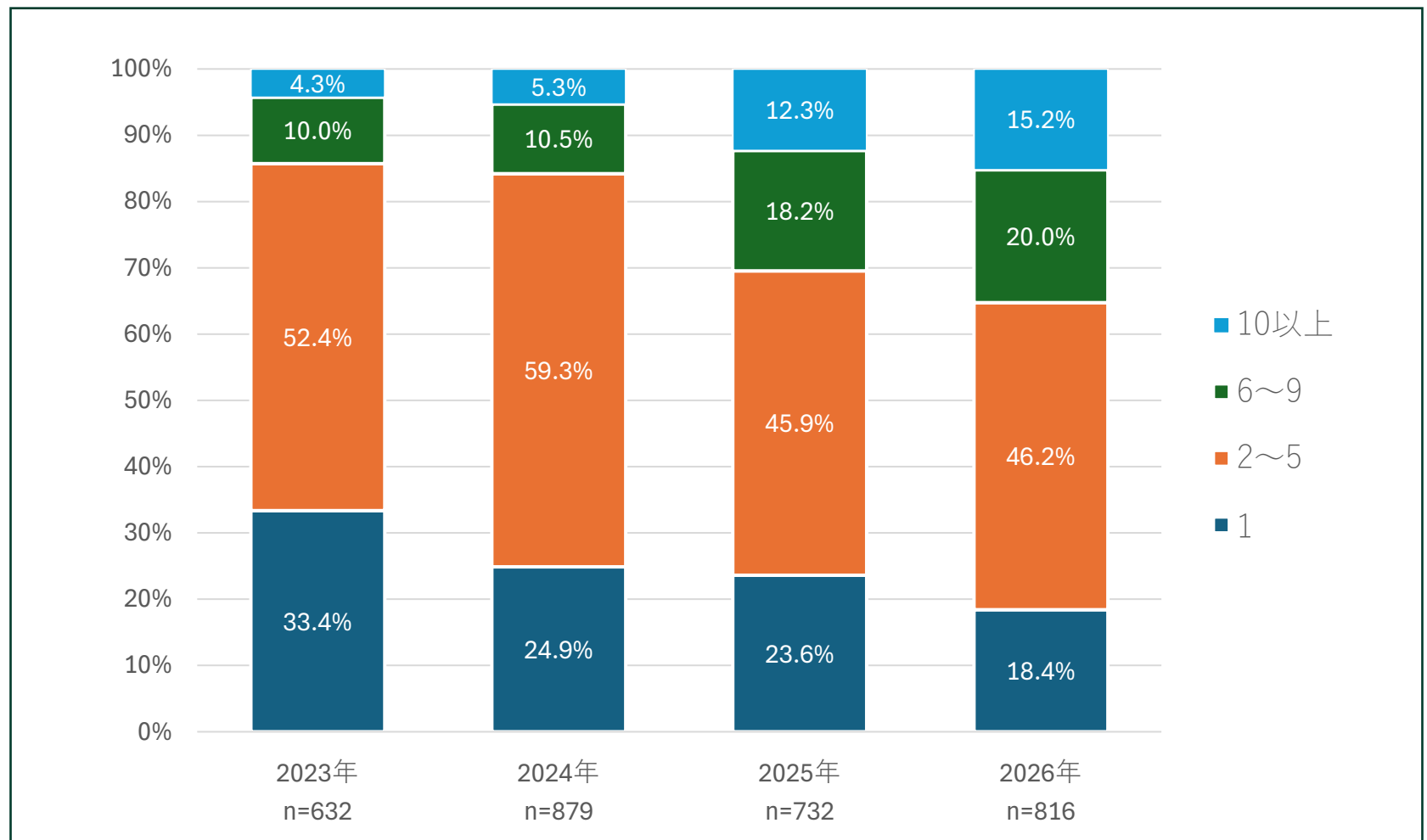
産後ケア事業をしている施設で行われている事業／年次推移 (複数回答可)



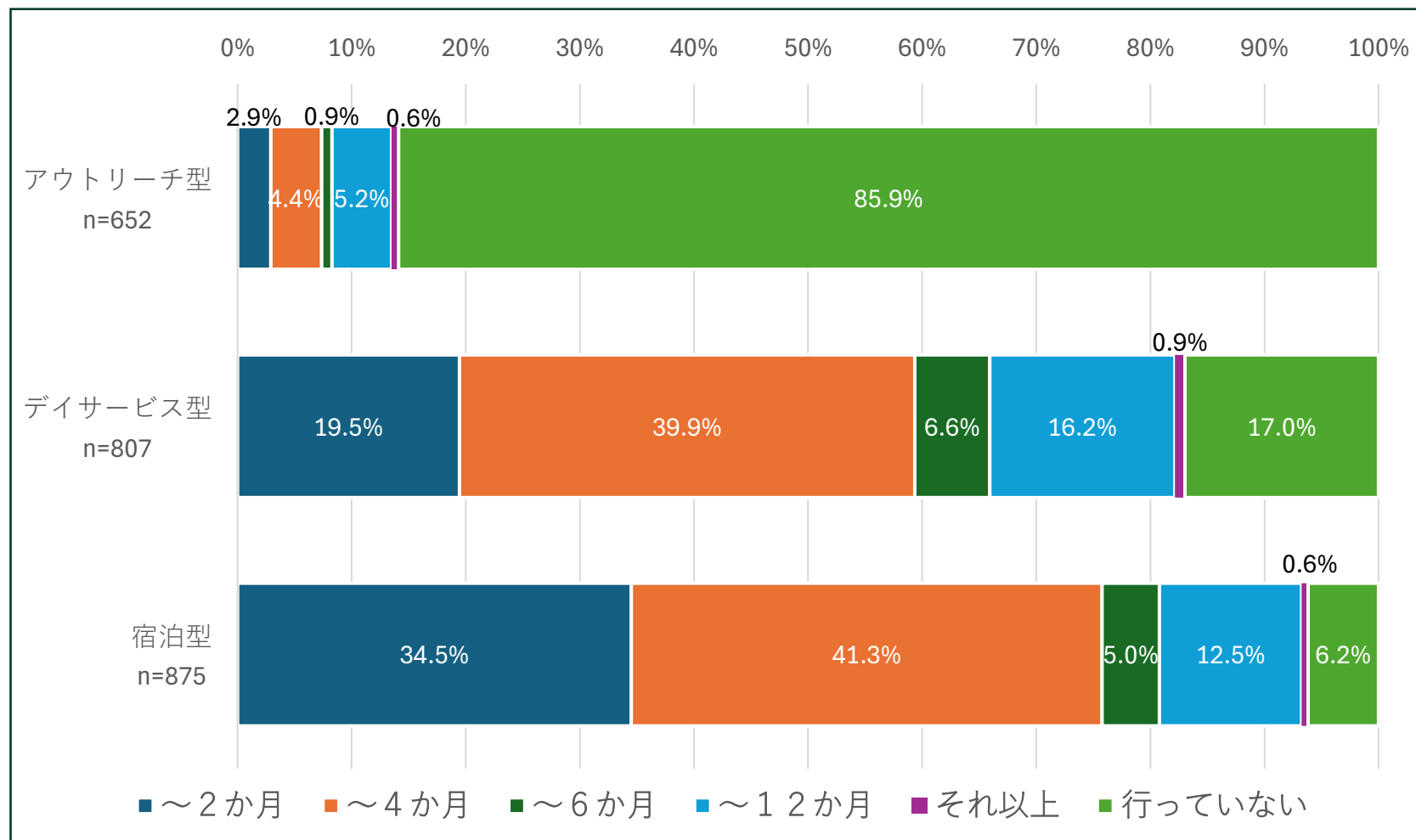
産後ケア事業を受託している自治体数



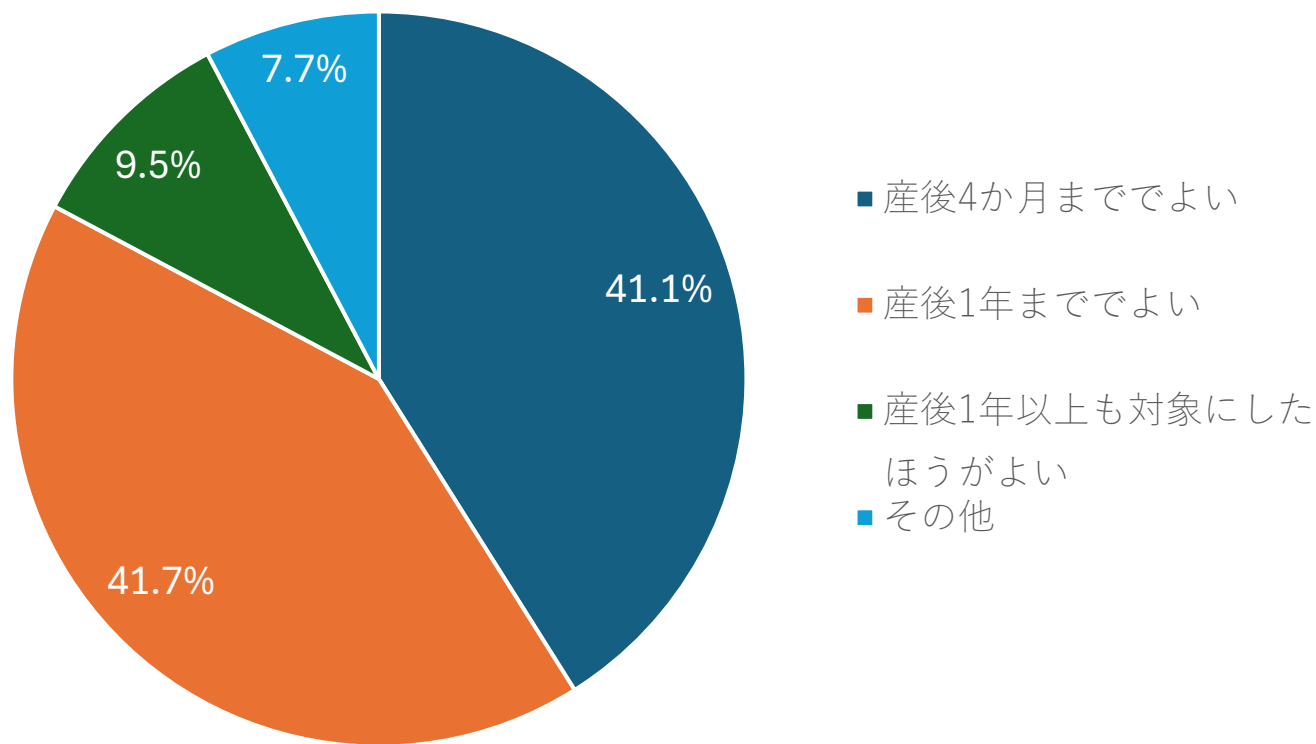
産後ケア事業を受託している自治体数（年次推移）



産後ケア利用の対象期間

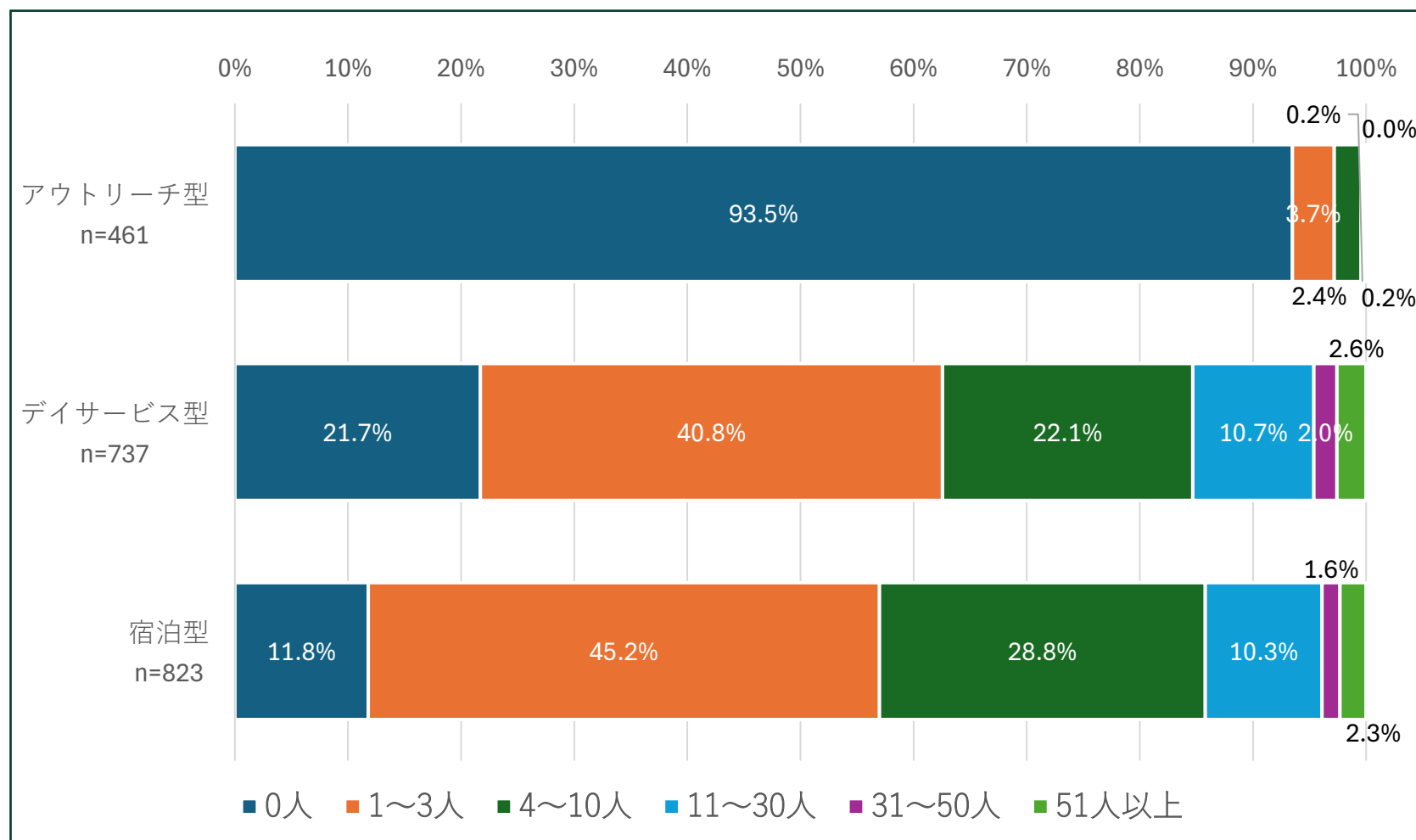


産後ケア利用対象期間



n = 906

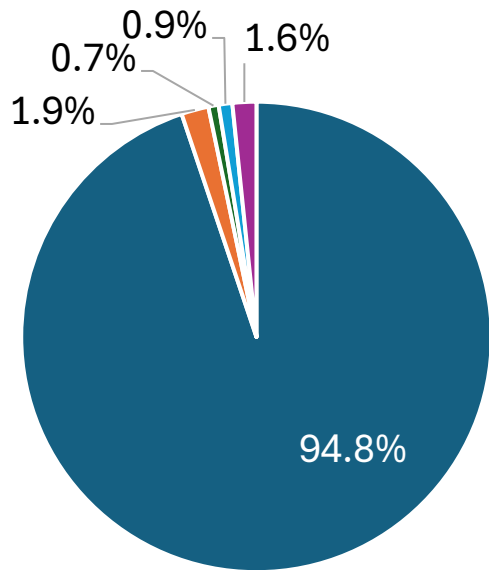
産後ケアの月平均利用者数



産後ケアのリピート割合

アウトリーチ型

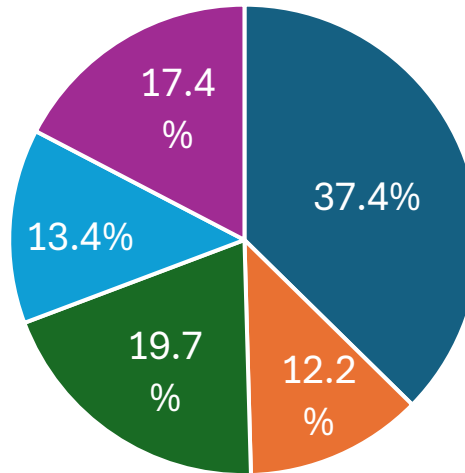
- 0% (dark blue)
- 10~25%未満 (green)
- 50%以上 (purple)
- 1~10%未満 (orange)
- 25~50%未満 (light blue)



n = 427

デイサービス型

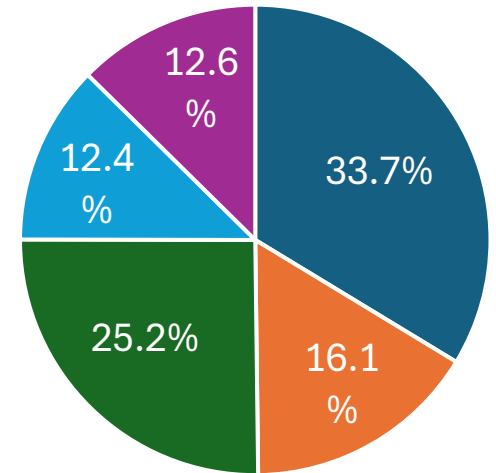
- 0% (dark blue)
- 10~25%未満 (green)
- 50%以上 (purple)
- 1~10%未満 (orange)
- 25~50%未満 (light blue)



n = 680

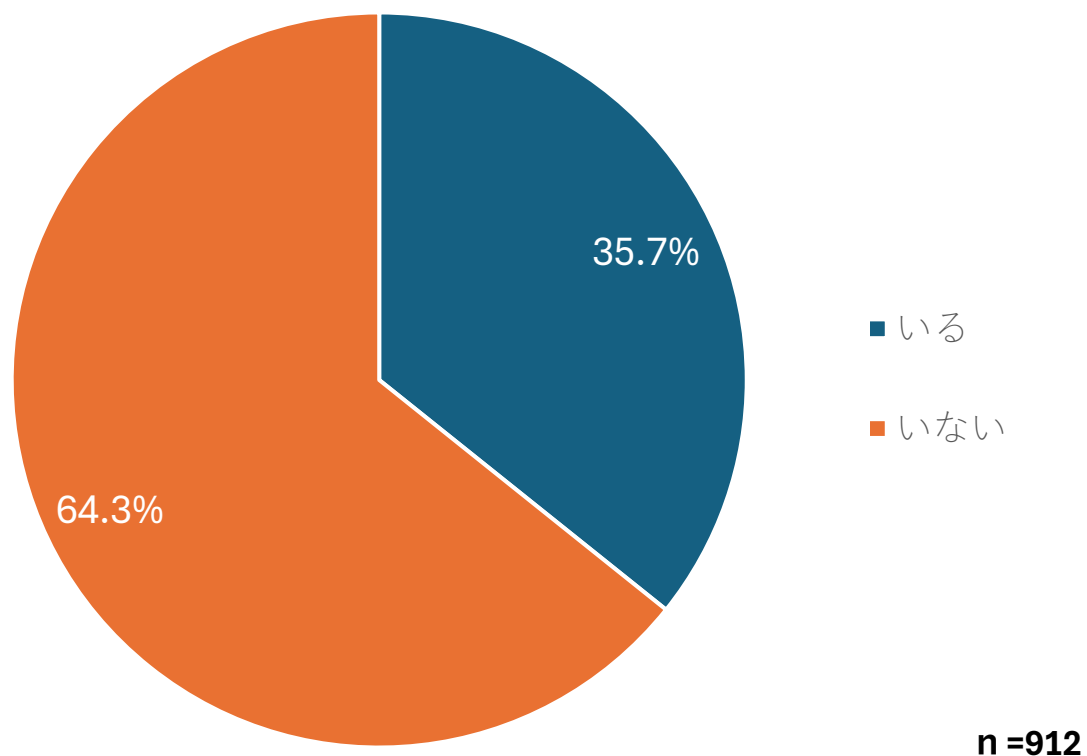
宿泊型

- 0% (dark blue)
- 10~25%未満 (green)
- 50%以上 (purple)
- 1~10%未満 (orange)
- 25~50%未満 (light blue)

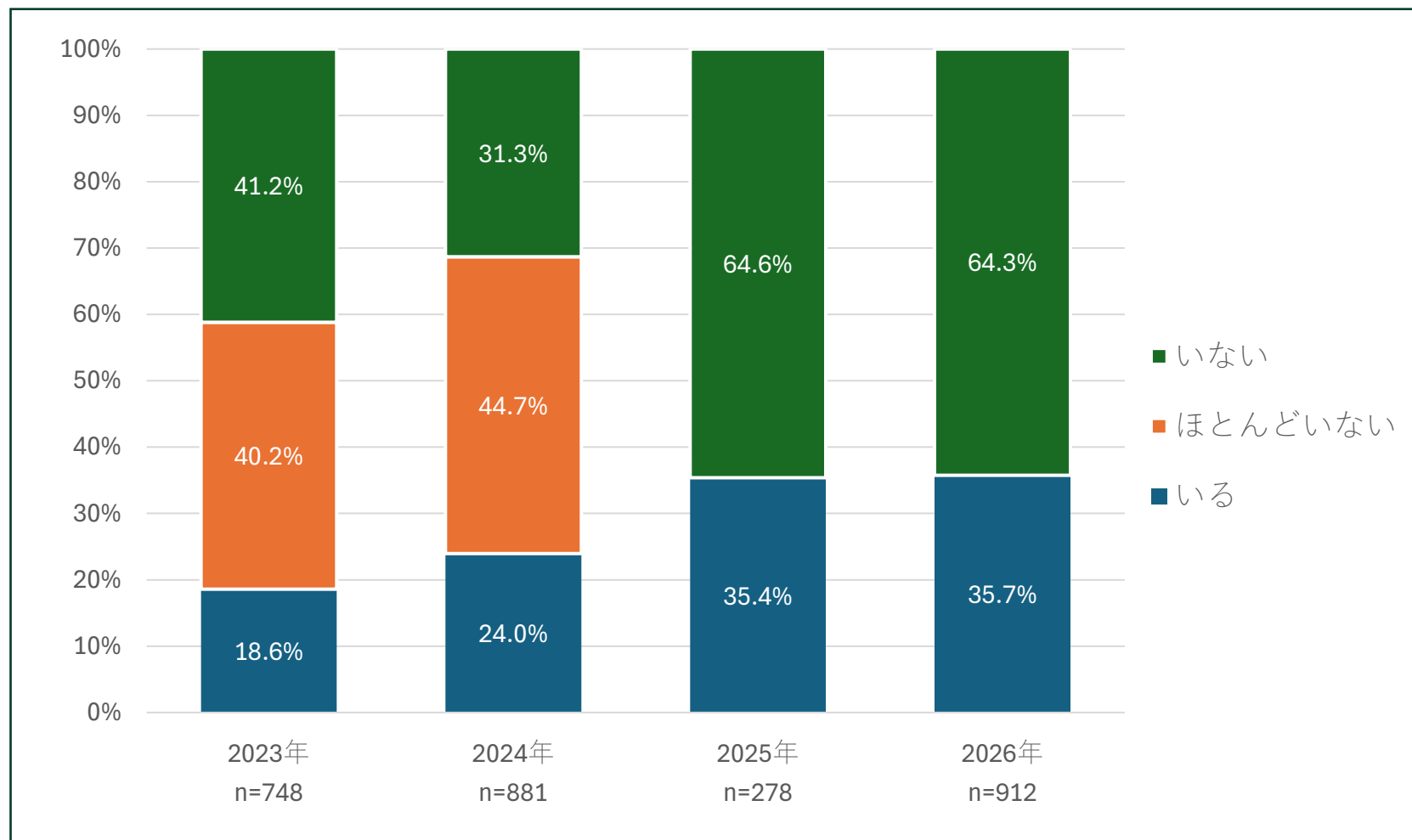


n = 769

里帰り出産の産後ケア利用者



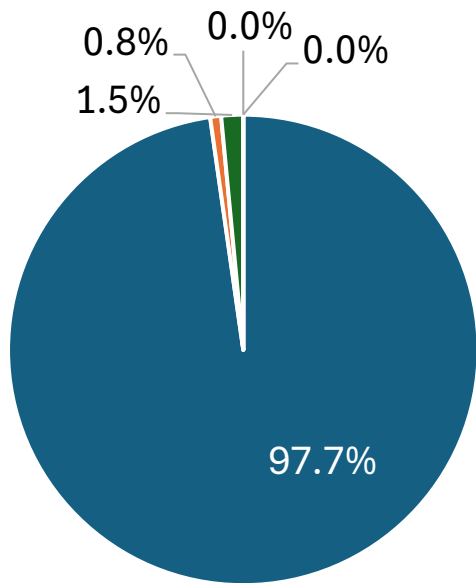
里帰り出産で産後ケア事業の利用者（年次推移）



里帰り出産の利用者割合

アウトリーチ型

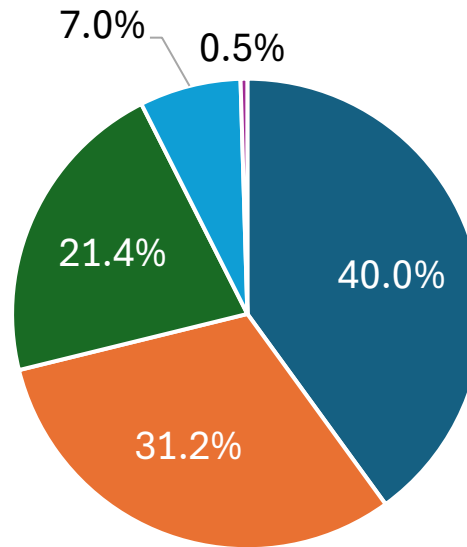
- 0% (dark blue)
- 1～10%未満 (orange)
- 10～25%未満 (green)
- 25～50%未満 (light blue)
- 50%以上 (purple)



n = 133

デイサービス型

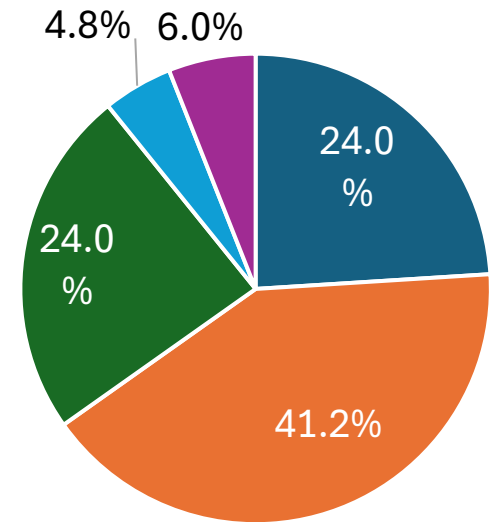
- 0% (dark blue)
- 1～10%未満 (orange)
- 10～25%未満 (green)
- 25～50%未満 (light blue)
- 50%以上 (purple)



n = 215

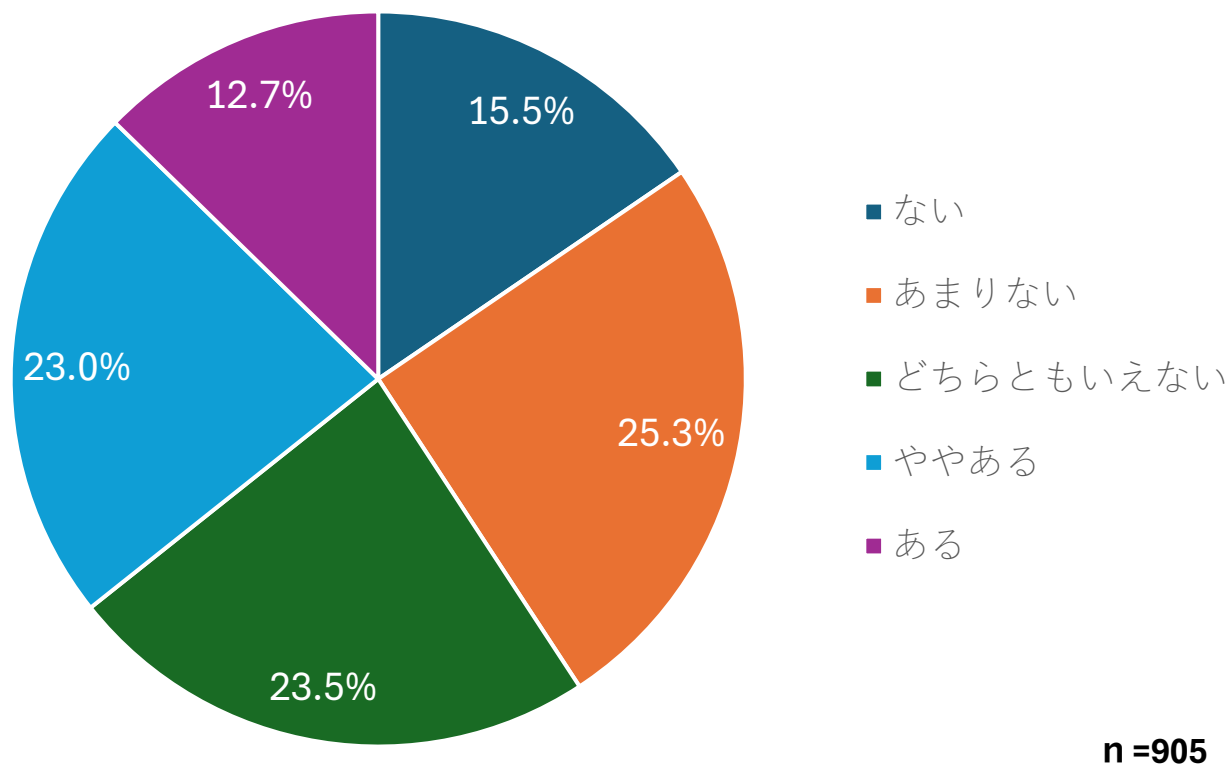
宿泊型

- 0% (dark blue)
- 1～10%未満 (orange)
- 10～25%未満 (green)
- 25～50%未満 (light blue)
- 50%以上 (purple)

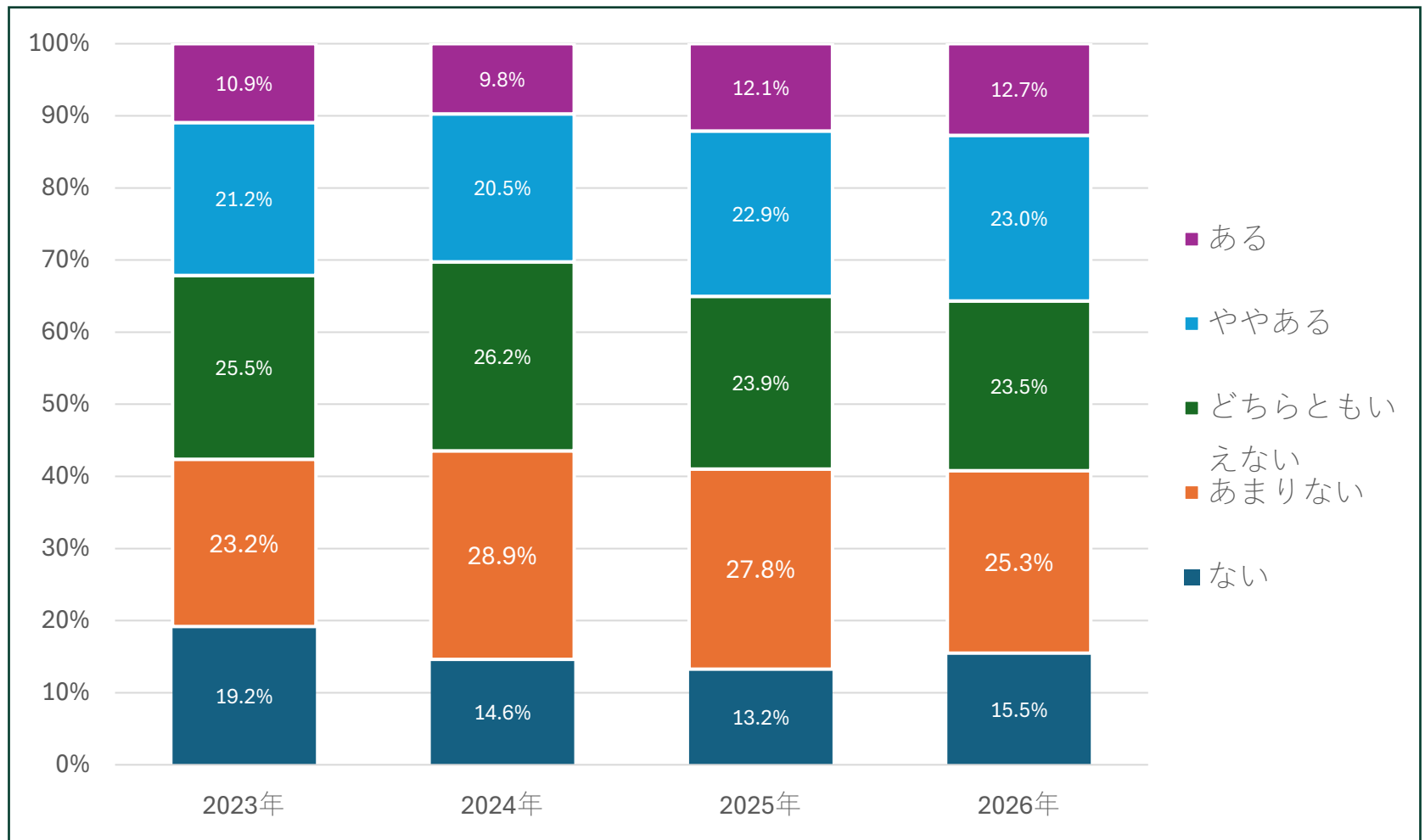


n = 250

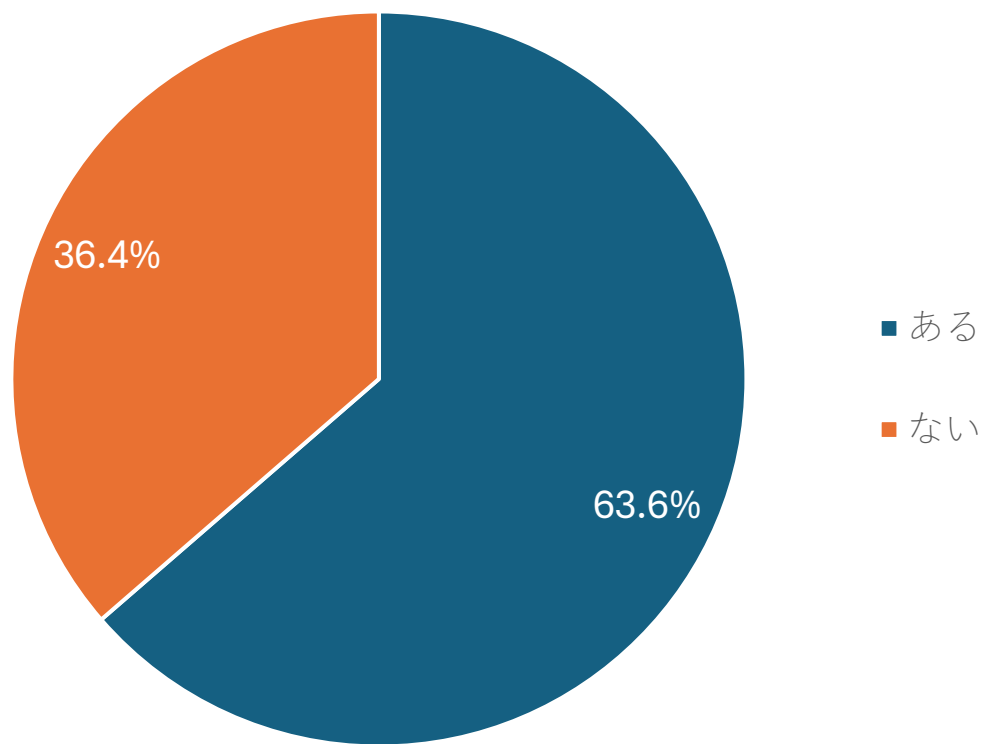
産後ケア事業の収益性



産後ケア事業の収益性（年次推移）

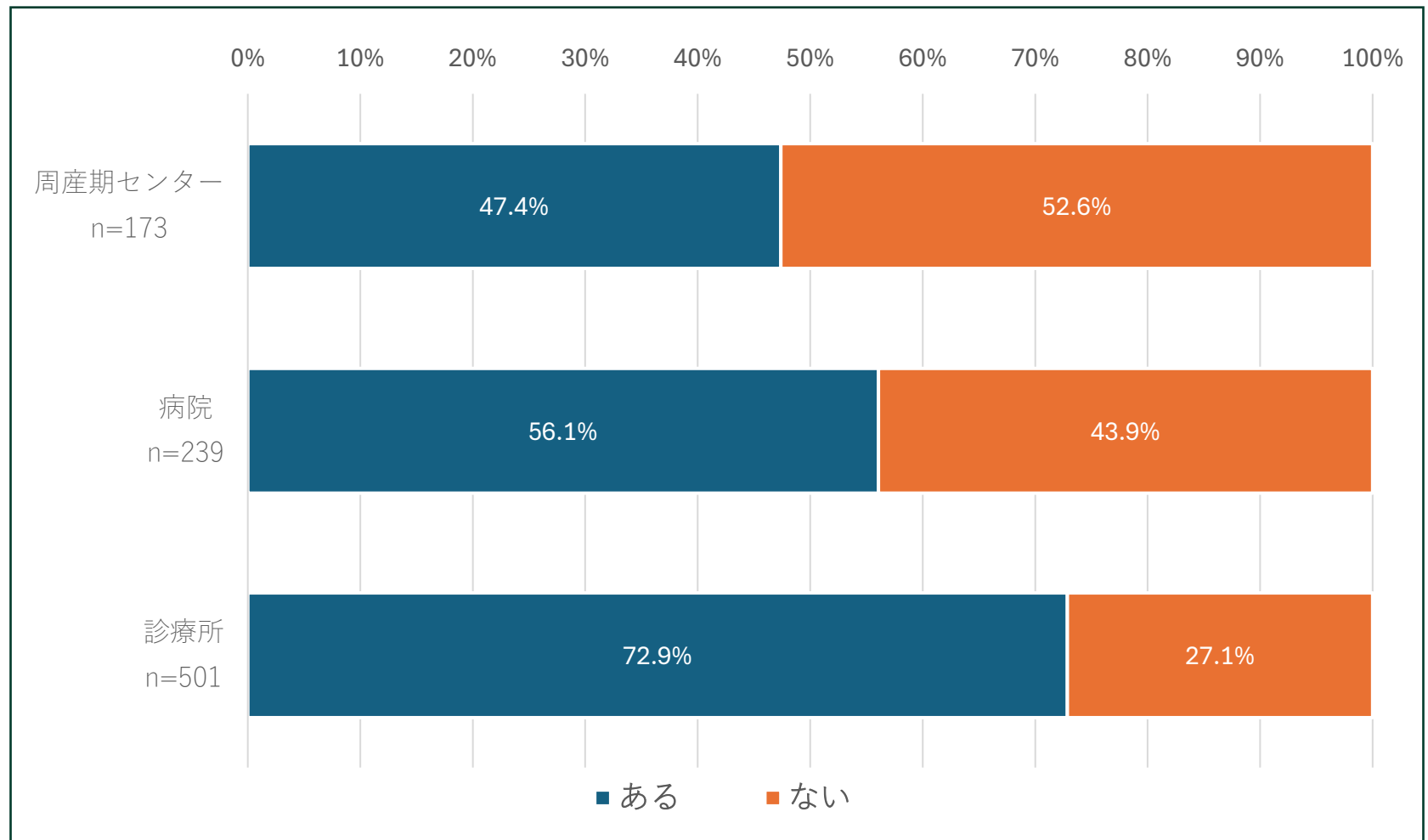


産後ケアの利用希望者を断る場合

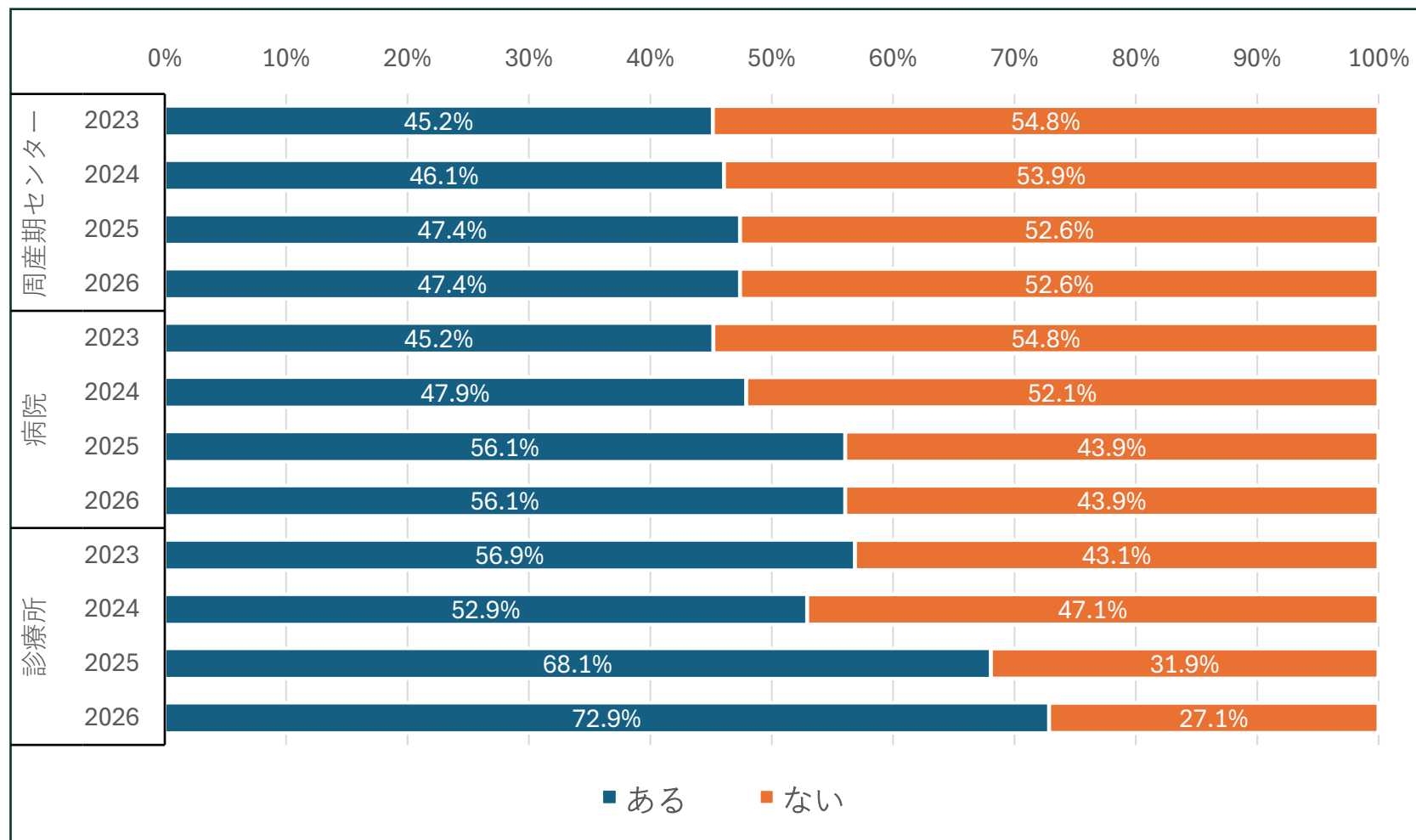


n =913

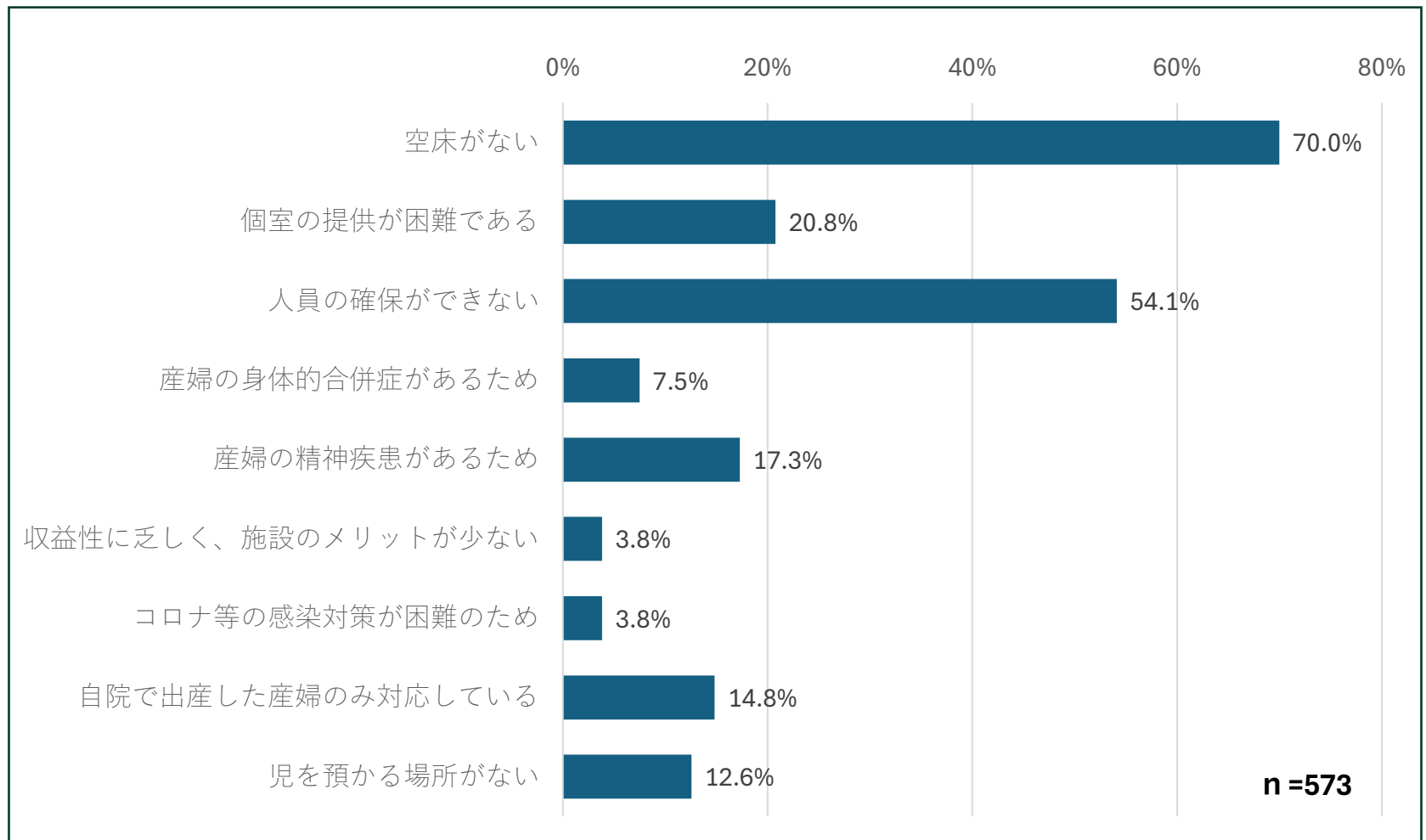
産後ケア事業の利用希望者を断る場合(施設区分別)



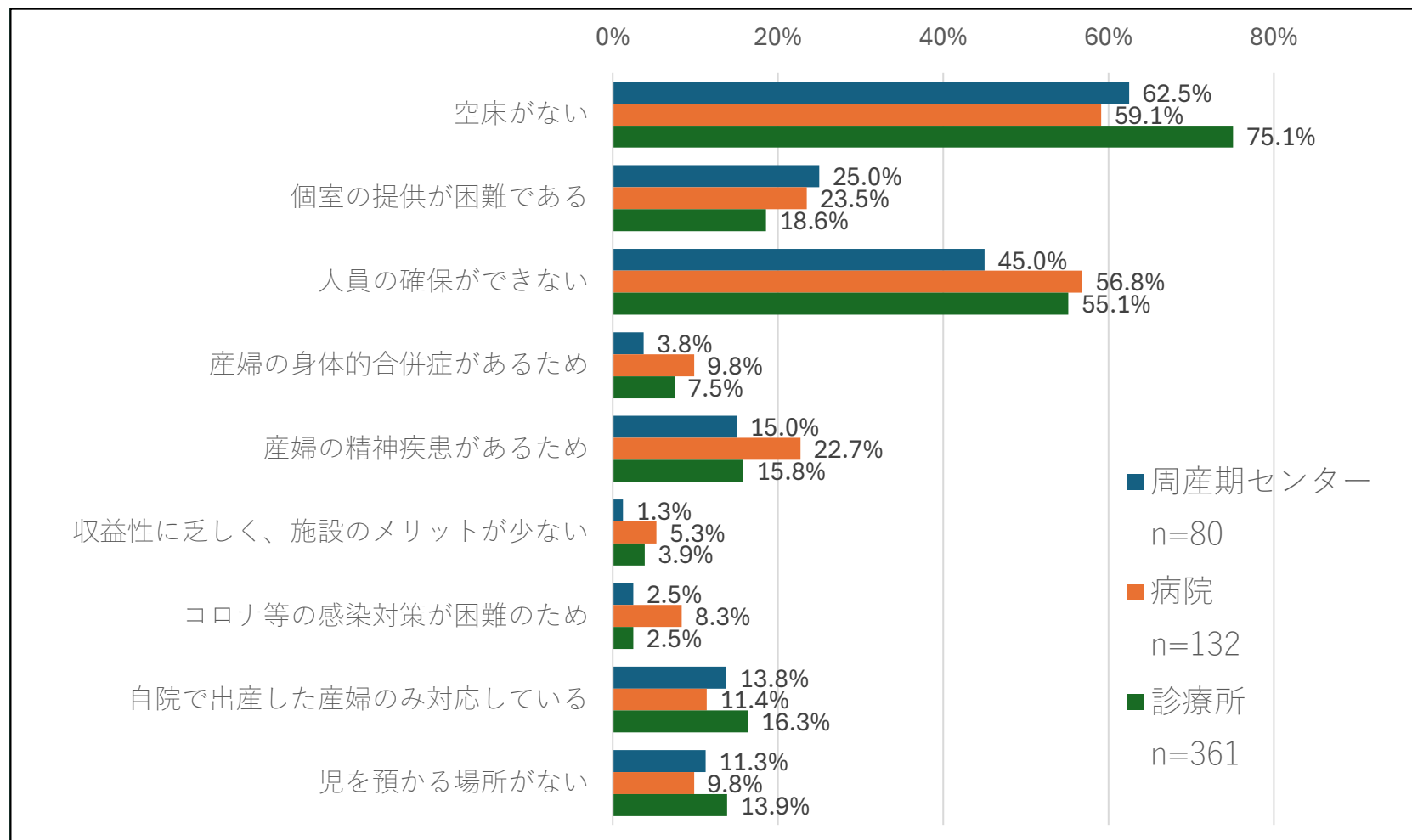
利用希望者を断る場合／年次推移（施設区分別）



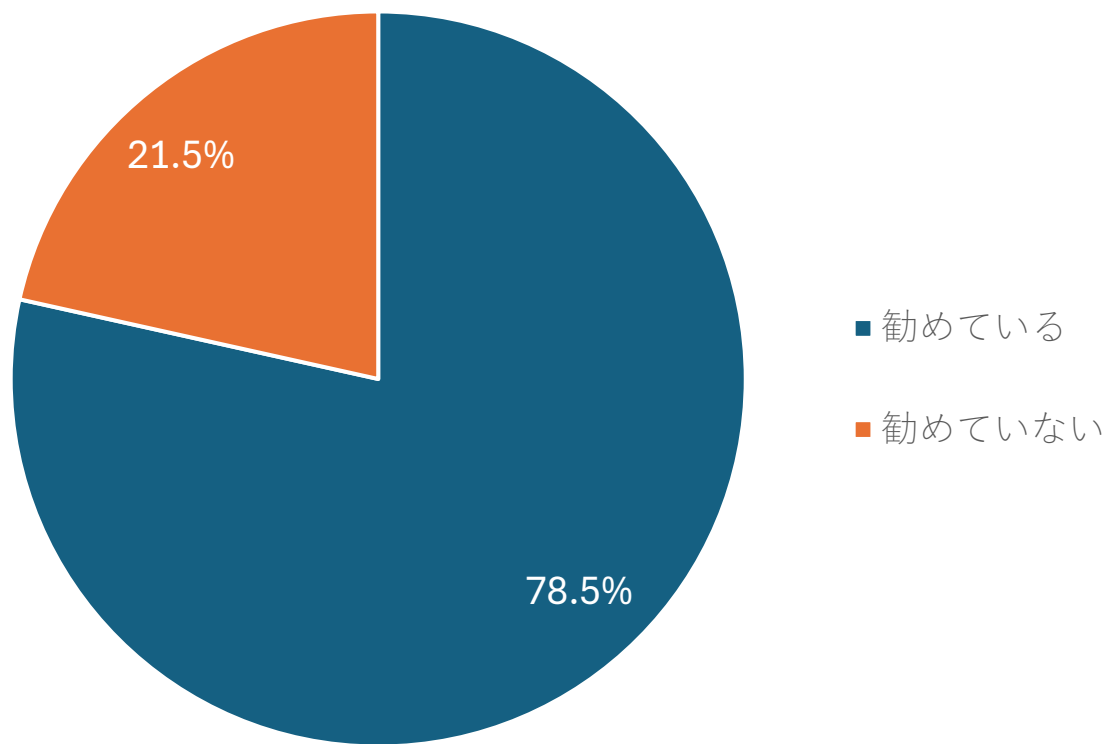
産後ケア事業の希望者を断る理由（複数回答可）



産後ケア事業の希望者を断る理由（複数回答可）施設区分別

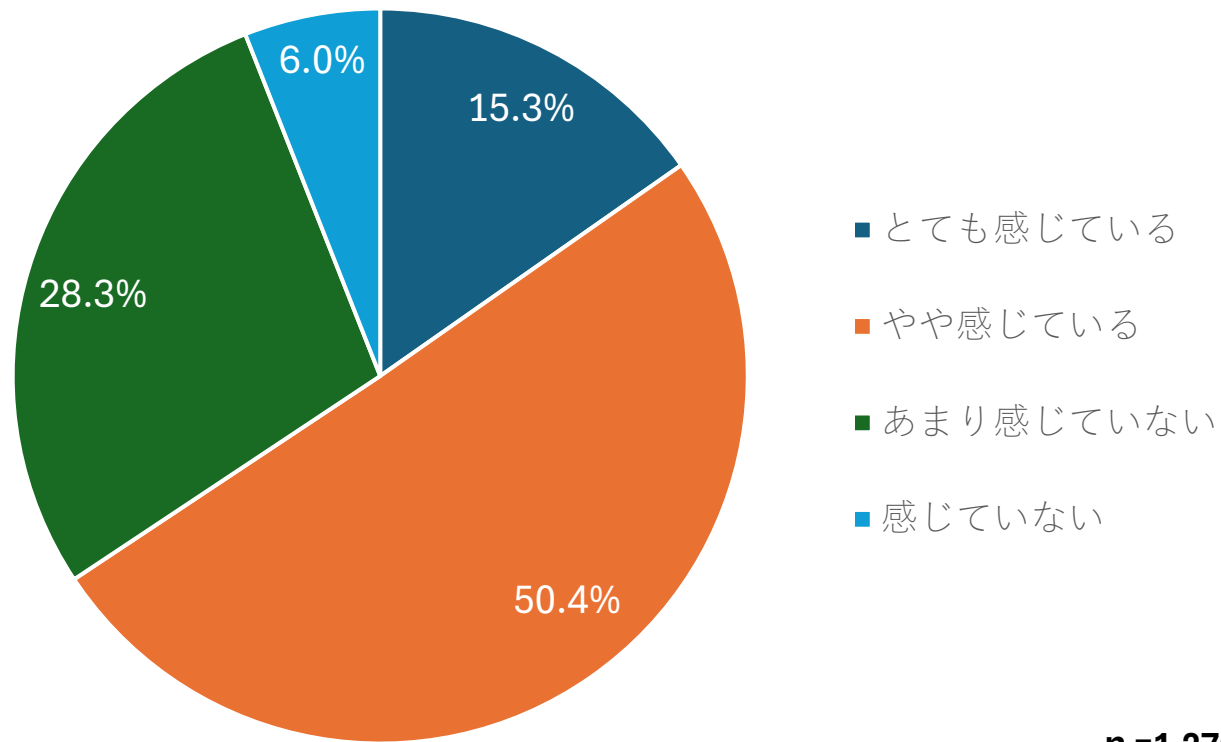


父親・パートナーの立ち会い分娩



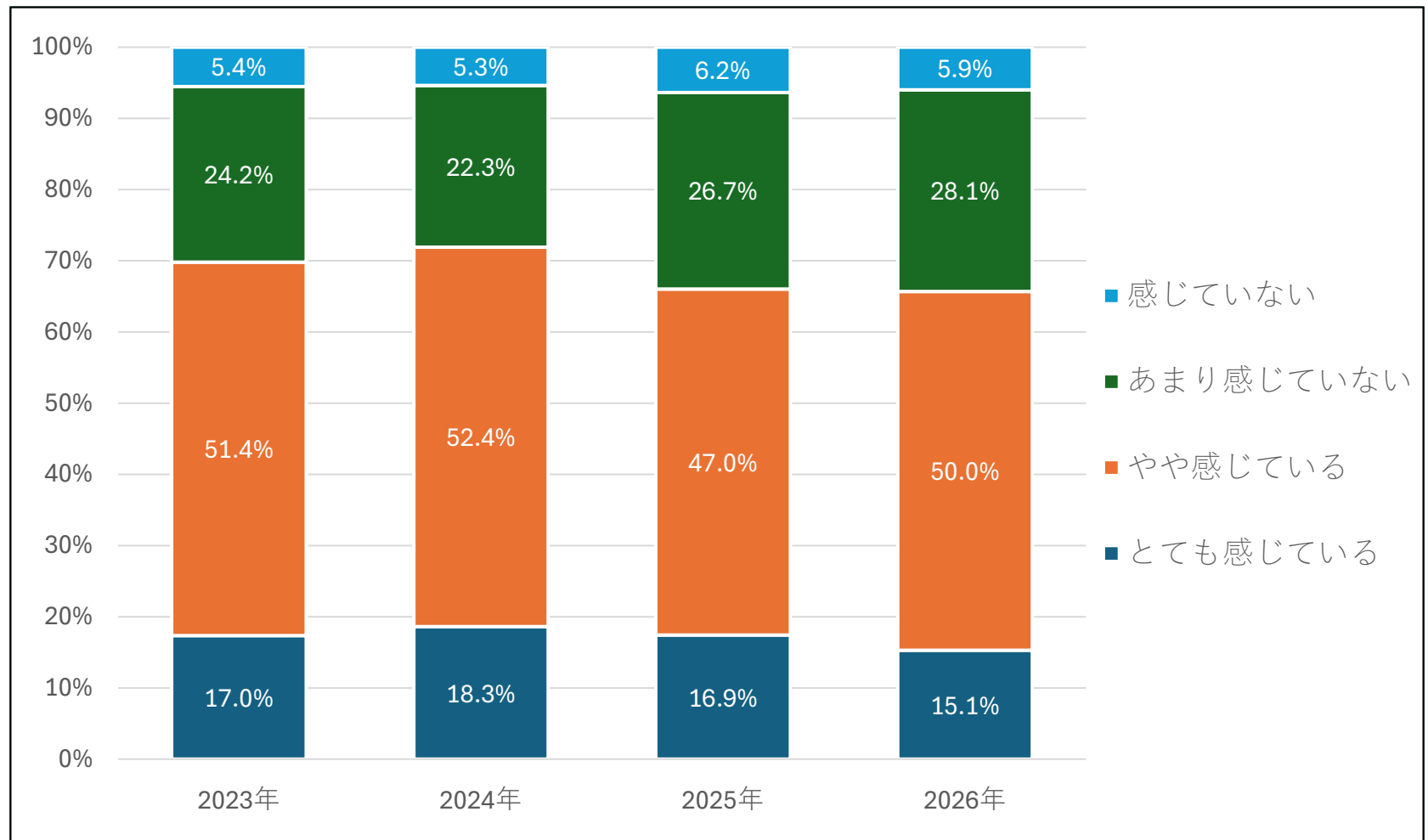
n =1,264

父親・パートナーのメンタルヘルスケアの重要性

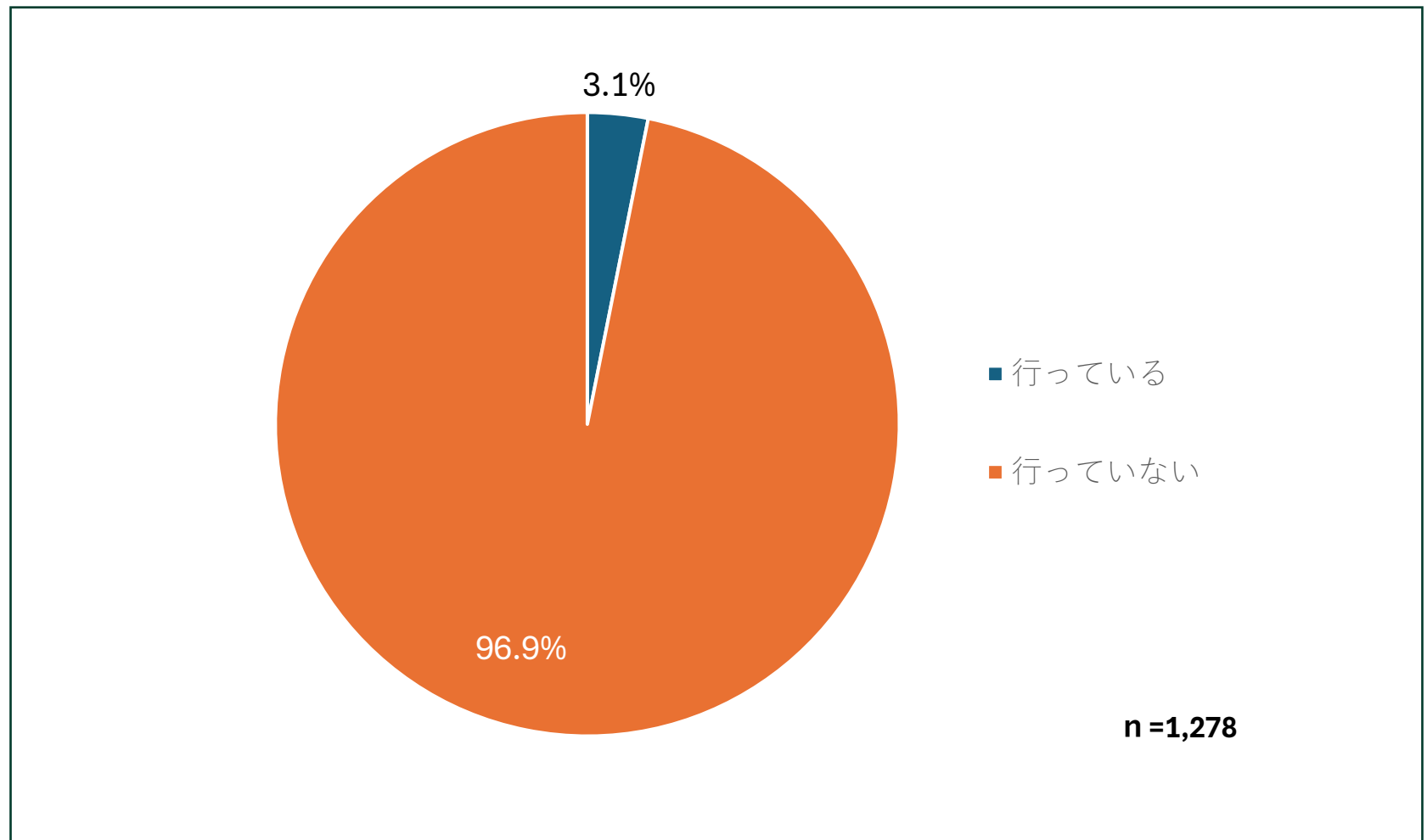


n = 1,270

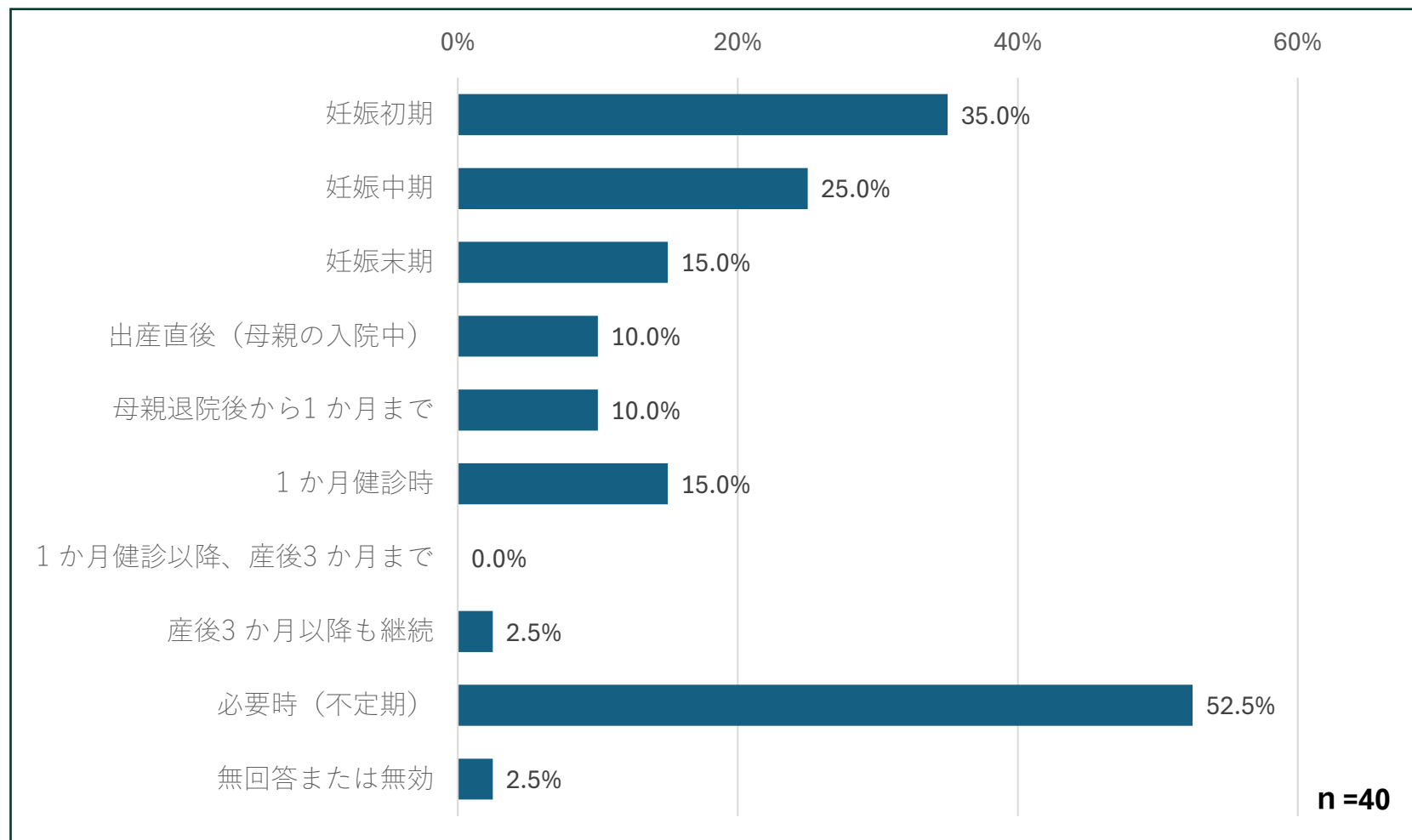
父親・パートナーのメンタルヘルスケアの重要性 (年次推移)



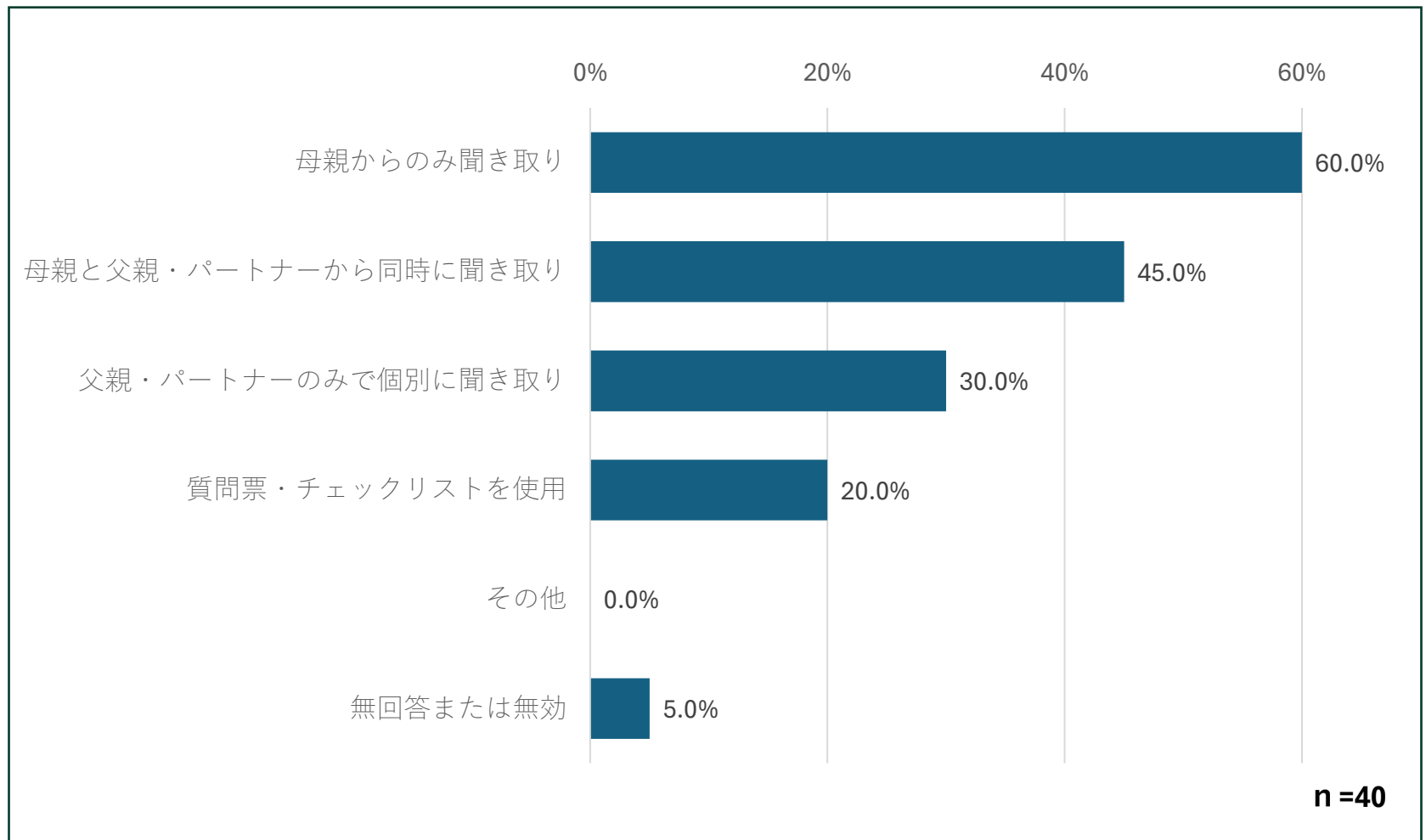
父親・パートナーのメンタルヘルスチェック実施



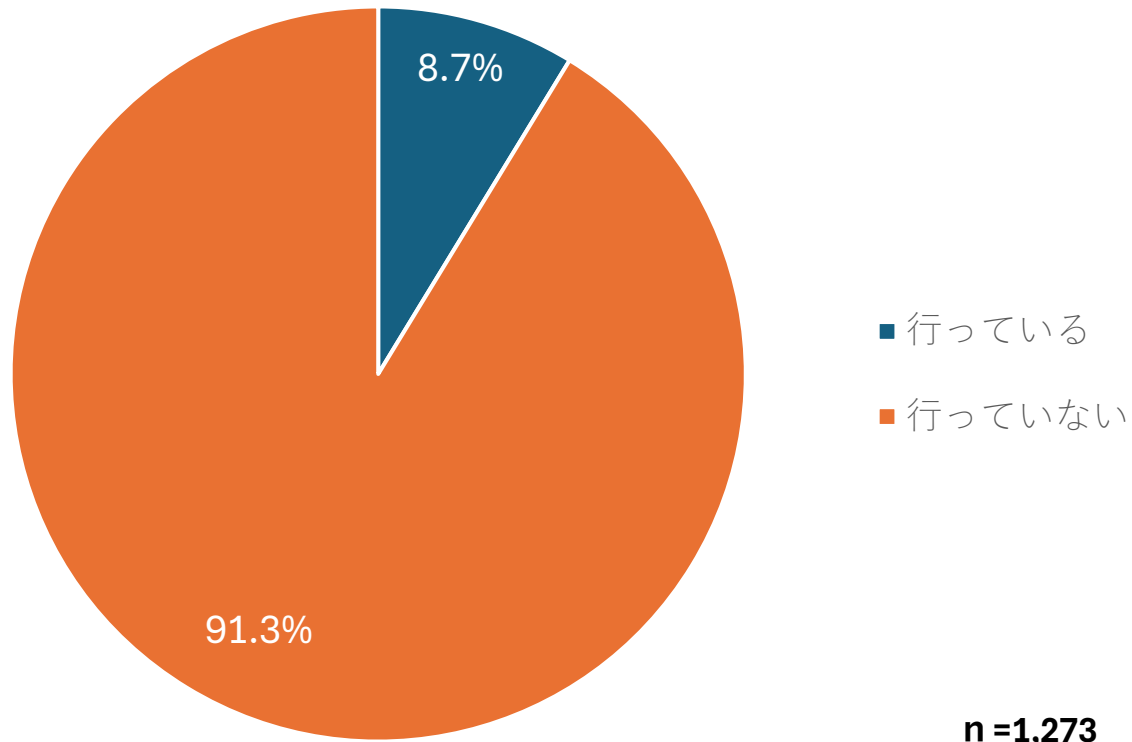
父親・パートナーのメンタルヘルスチェックを行う時期 (複数回答可)



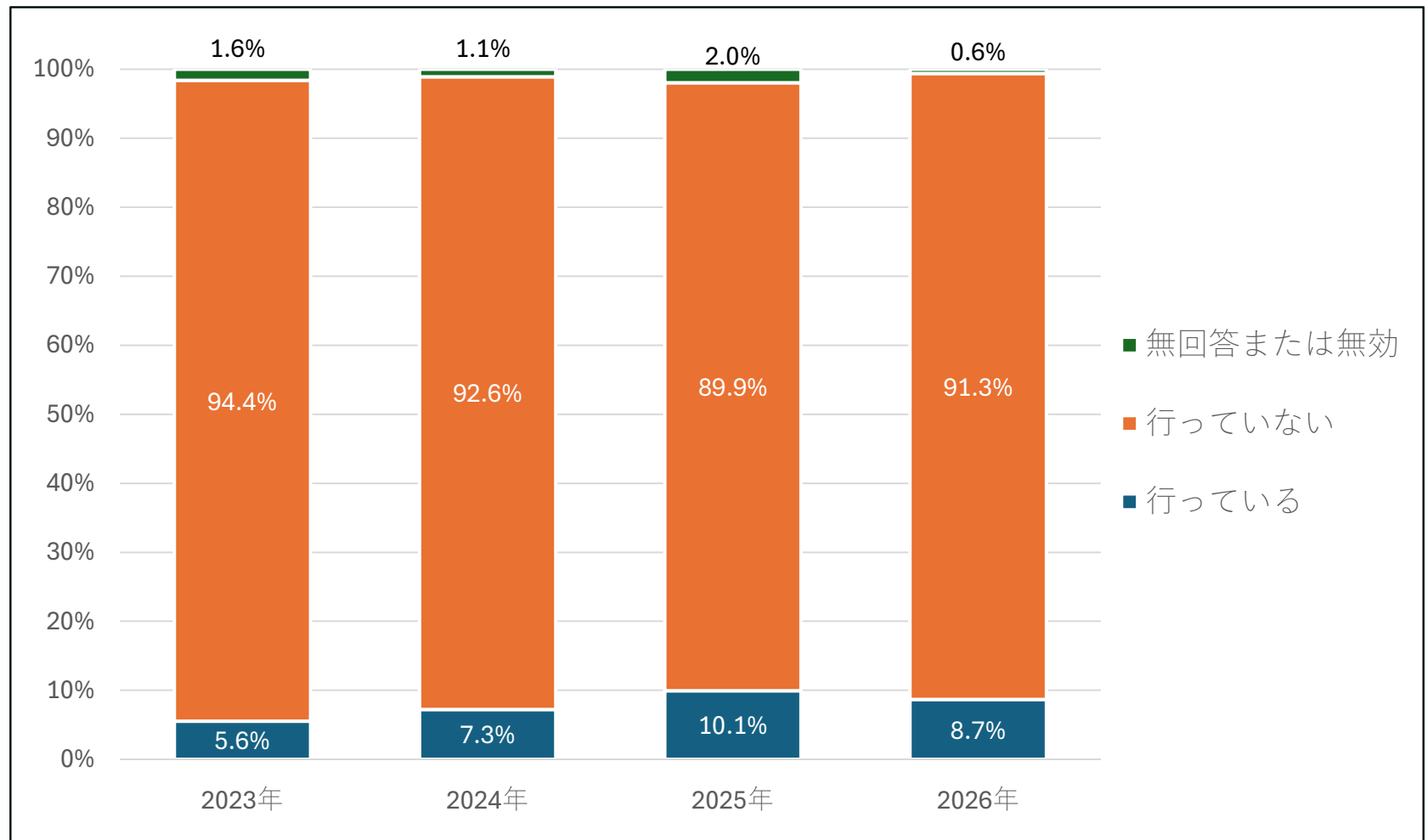
父親・パートナーのメンタルヘルスチェックの内容 (複数回答可)



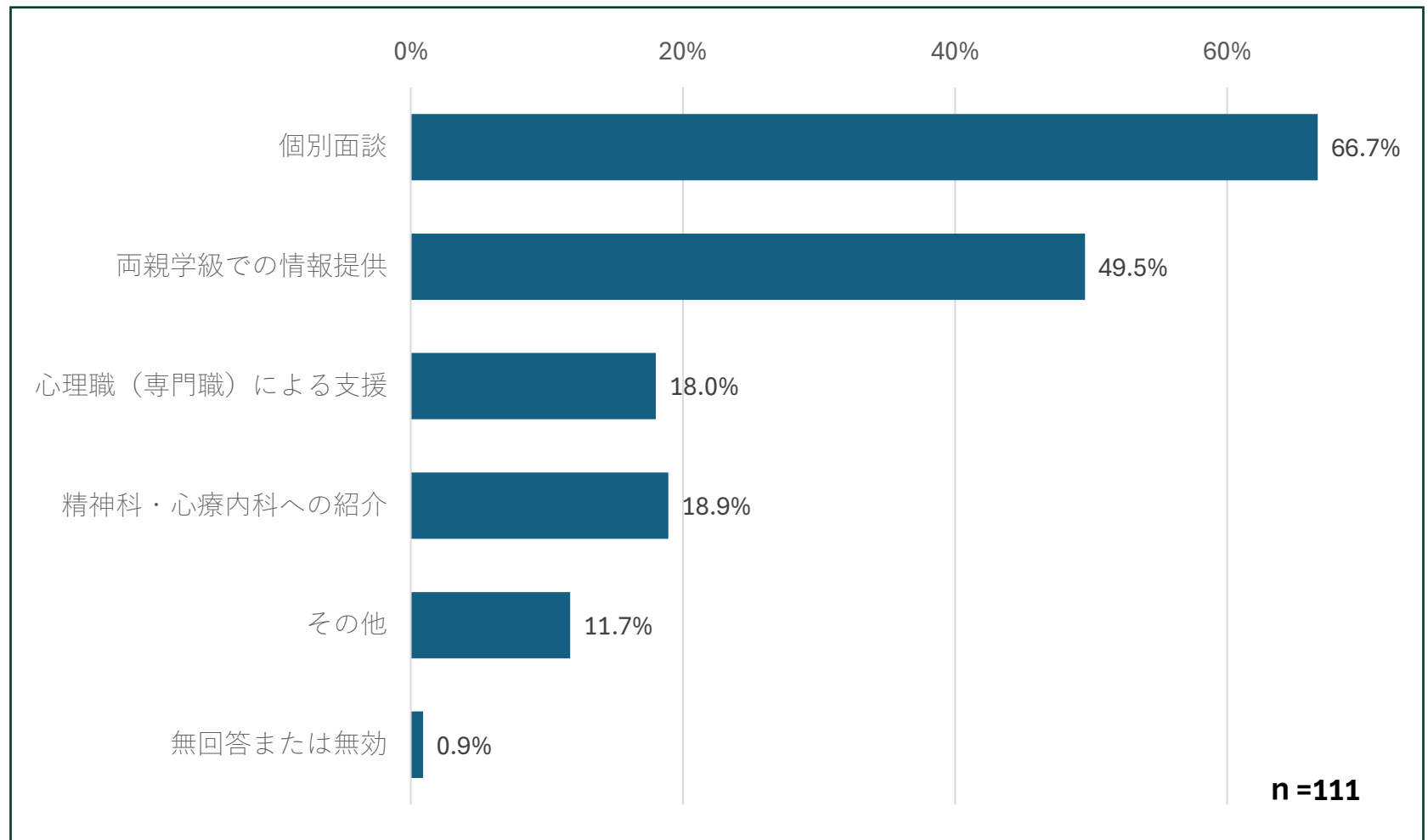
父親・パートナーのメンタルヘルスケア実施



父親・パートナーのメンタルヘルスケア実施（年次推移）



父親・パートナーのメンタルヘルスケアの内容（複数回答可）



【妊産婦のメンタルヘルスチェック】

- ・妊娠中は約8割、産後2週間は9割以上、産後1か月はほぼ全例に行われている。増加傾向は近年頭打ち。
- ・メンタルヘルスの専門職がいる施設は約3割。
- ・妊婦健診時以外でメンタルヘルスチェック/ケアを行った場合に料金請求を行っているのは1割弱。

【精神科との連携】

- ・常勤非常勤問わず精神科医師が勤務しているのは、周産期センターで約9割、病院で約5割。
- ・精神科病床をもっているのは、周産期センターで5割強、病院では3割弱。
⇒診療所でなくとも、精神科緊急時には自施設で診れない状況になりうる。
- ・緊急時にすぐにみてもらえる精神科施設があるのは約4割（周産期センター5割、病院3-4割、診療所3割）
- ・緊急を要さない場合の紹介時の待機期間は、約5割が1週間以内、約7割は2週間以内となっていた。
一方、8週間以内と回答した施設も1割強みられた。
- ・連携時の課題としては従来と同様に、受け入れ先の不足、緊急時・夜間休日対応の困難さ、受診までの待機期間の長さ、紹介ルート未整備などを挙げる回答が多かった。

☞ 妊産婦に対するメンタルヘルスチェックは、妊娠中から産後1か月まで広く実施されているものの、近年は普及率の伸びが頭打ちとなっていた。また、専門職配置は約3割にとどまり、健診外での対応に対する公的補助も乏しく、人的・時間的負担が課題となっていた。さらに、精神科との連携体制には施設間格差があり、特に緊急時対応や受け入れ先確保、待機期間、紹介ルート整備などの課題は従来と大きく変わらず継続していた。

【産後ケア事業】

- ・産後ケアを行う分娩施設は年々増加傾向にあり、今年は7割強であった。
- ・宿泊型、デイサービス型が主で、アウトリーチ型は少ない。
- ・産後ケア事業は出産後12カ月まで延長されたが、
 デイサービス型は約6割は従来どおり出産後4カ月以内としていた。出産後12カ月まで対応は約15%だった。
 宿泊型は7-8割が出産後4か月以内としていた。出産後12カ月まで対応は約13%だった。
- ・利用者数は、デイサービス/宿泊型においては約6割の施設が月3人以内だった。約1割の施設が月10人以上。
- ・約7割の施設がリピート利用されていた。
- ・産後ケアに収益性がないと回答したのは約4割で、従来と変わらない傾向。
- ・産後ケアを断ることがあると回答したのは約6割で、従来と変わらない傾向。
 理由は、空床がない、人員確保ができない、などこれも従来と同じ。

☞ 産後ケアを実施する分娩施設は年々増加し、今年は7割強に達した。一方で、サービス形態は宿泊型・デイサービス型が中心で、アウトリーチ型は依然少数であった。また、事業対象は出産後12カ月まで拡大されたものの、多くの施設では従来どおり出産後4カ月以内を主な対象としていた。利用者数は比較的少数にとどまる施設が多い一方、約7割の施設でリピート利用がみられた。さらに、収益性や受け入れ体制に関する課題は依然大きく、空床不足や人員確保困難を理由に利用を断る施設も多く、従来と大きく変わらない状況が続いていた。

【父親・パートナーのメンタルヘルス支援】

- ・父親・パートナーのメンタルヘルスチェックを行っているのは約3%だった。

行う場合は、妊娠初期～中期が多く、産後1か月健診で終了することがほとんどであった。

母親からの聞き取りのみで対応している施設も多い。

- ・父親・パートナーのメンタルヘルスケアを行っているのは1割弱で、従来と大きな変化なし。

行う場合は、両親学級での情報提供や個別面談で対応していることが多かった。精神科へ紹介するケースもあり。

☞ 父親・パートナーに対するメンタルヘルス支援は普及しているとはいえず、メンタルヘルスチェックを実施している施設は約3%、ケアを行っている施設も1割弱にとどまった。実施している場合も、妊娠期から産後1か月頃までの対応が中心で、母親からの聞き取りによる評価に依存する施設も多かった。両親学級や個別面談を通じた支援、必要時の精神科紹介などの取り組みはみられるものの、長期的フォローを含めた体制整備は十分とはいえない状況であった。